—はじめに—

日頃は弊社アグリバイオ製品をご愛用いただき、
ありがとうございます。

このたび、「出光アグリバイオ製品ガイド2015版」を
作成致しました。
本書を通じて、弊社のアグリバイオ製品を
よりご理解いただけたら幸いです。

—出光アグリバイオ製品ガイドの見方—

・本書は、2014年10月1日現在の内容（品目・農薬登録）について記載しております。
・微生物防除剤、微生物土壌改良材、天敵農薬、ＩＰＭサポート資材、殺虫殺菌剤、殺菌剤、緑化資材、肥料の順に記載しております。
・各製品には、上段に「基本データ」（登録番号、有効成分、性状、その他成分、有効年限、包装形態など）を、続いて製品の「特長」を記載しております。

主な商品ラインナップ 1

微生物防除剤

微生物のチカラを利用した病害や害虫の防除剤。

自然界に生息する微生物から、害虫や病気から
植物を守る微生物を選出し、生きたまま使いやすく工夫を施した、
人にも環境にも優しい製剤です。

バイオリサ〈カミキリ〉　ゴッツA　タフパール　ボトキラー水和剤　ボトピカ水和剤　タフブロック　タフブロックSP

微生物土壌改良材

微生物のチカラを利用した土壌改良材。

作物の育成や、土壌の生物性を改善する目的のために
微生物が持つ機能を利用した土壌改良資材です。

バイオポンプP　Drキンコン　ネギ用Drキンコンsuper　イチゴ用Drキンコンsuper　ツインガード　アグリみらい　畑の精　分解ヘルパー

主な商品ラインナップ 2

天敵農薬

対象害虫の天敵を活用した「天敵農薬」。

捕食性ダニ・昆虫製剤

ミヤコカブリダニ ハダニ類を捕食

ミヤコトップ

チリカブリダニ ハダニ類を捕食

チリトップ

ククメリスカブリダニ アザミウマ類の一齢幼虫を捕食

メリトップ

タイリクヒメハナカメムシ アザミウマ類を捕食

リクトップ

飛ばないテントウムシ2齢幼虫 ワタアブラムシ捕食中

テントップ

ナミテントウ アブラムシ類を捕食

ナミトップ

※本ページの画像は株式会社アグリ総研の著作物です。無断での使用を禁止します。

寄生性昆虫製剤

オンシツツヤコバチ オンシツコナジラミに寄生

ツヤトップ

サバクツヤコバチ コナジラミ類に寄生

サバクトップ

イサエアヒメコバチ ハモグリバエ類に寄生

ヒメトップ

コレマンアブラバチ アブラムシ類に寄生

コレトップ

※本ページの画像は株式会社アグリ総研の著作物です。無断での使用を禁止します。

IPMサポート資材

減農薬栽培や環境保全型農業をお手伝いする資材。

※IPM：Integrated Pest Management（総合的病害虫管理）

スマイルキャッチ

スマイルキャッチロール

緑化植物

独自の技術で人と緑が共存できる緑化手法を提案。

イワダレソウ（クラピア）

イワダレソウ

スマイルキャッチ・ロール設置例

スマイルキャッチロール設置例

側面外周に設置①

側面外周に設置②

側面内周に設置

施設出入口に設置

条間に設置

水平に設置

スマイルキャッチ設置方法・事例

作業効率をスピードアップする「スマイルカット」で
簡単に使用できます。

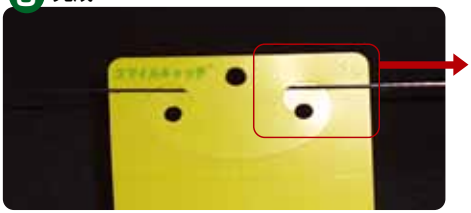
スマイルキャッチ設置方法

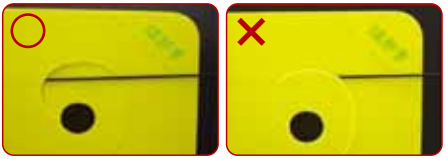
紐等に引っ掛けるだけの簡単設置。

1 カット部を手間に持ち上げて紐等に挟む

2 カット上部両側を反対側（奥）に押し込む

3 完成





カット上部が紐の奥（後ろ側）に来るまで
しっかり挟み込んで完成

スマイルキャッチ設置事例

作物の生長点付近や出入り口などを中心に設置。

番線に設置

コナジラミ等の飛翔害虫を強く誘引、捕虫

スマイルカットにより
設置作業が楽に
且つ
スピーディーに

目　次

微生物防除剤

ボトキラー水和剤 …… 2
ボトピカ水和剤 …… 7
インプレッションクリア …… 9
タフパール …… 11
タフブロック …… 13
タフブロック SP …… 18
バイオリサ・カミキリ …… 20
ゴッツA …… 23
バイオキーパー水和剤 …… 25
フィールドキーパー水和剤 …… 27
ベジキーパー水和剤 …… 29
モミホープ水和剤 …… 31

微生物土壌改良材

Dr キンコン …… 34
ネギ用 Dr キンコン super …… 36
イチゴ用 Dr キンコン super …… 38
バイオポンプ - P …… 40
ツインガード …… 42
分解ヘルパー …… 44
畑の精 …… 45
アグリみらい …… 46
Dr 豆太郎 …… 47

天敵農薬

ミヤコトップ …… 50
チリトップ …… 53
メリトップ …… 56
リクトップ …… 59
テントップ …… 62
ナミトップ／ナミトップ 20 …… 64
コレトップ …… 66
ヒメトップ …… 69
ツヤトップ／ツヤトップ 25 …… 71
サバクトップ …… 74

ＩPMサポート資材

スマイルキャッチ …… 78
スマイルキャッチロール …… 82
ＩＴシート …… 84
虫とり君 …… 86
きつつき君SA-200／きつつき君SQ-200 …… 88

殺虫殺菌剤

オレート液剤 …… 92

殺 菌 剤

イデクリーン水和剤 …… 96

緑化資材

イデトップフロアブル …… 100
イデコンポ 21S …… 102
イデコンポ EX …… 103
イデコンポ EV …… 104
イデコンポ G …… 105
イデコンポ GS-R …… 106
イデターフ …… 107
スーパーターフ …… 108
ニトルアー〈アメシロ〉 …… 109
ニトルアー〈マメコガネ〉 …… 111
クラピア …… 112
プラントメイトターフ …… 114

肥　　料

プラントメイト …… 116
グリーンマップ G …… 118
スーパーファイン 111 …… 120
エコマップ／スーパーファイン 525 …… 121
スーパーファイン 838 …… 122
ライト T111 ／ドロップライト …… 123
ライト T622 …… 124
ライト GM …… 126
フラワーライト T050 …… 128
プロメイト T222 …… 130
プロメイト T888 …… 132

参考資料

混用事例 …… 136

天敵生物・マルハナバチに
対する農薬の影響表 …… 142

微生物防除剤（生物農薬）

微生物防除剤

農林水産省登録　第 20080 号

ボトキラー® 水和剤

（バチルス　ズブチリス水和剤）

基本データ

有 効 成 分：バチルス　ズブチリス芽胞　1×10^{11}cfu/g
性　　状：類白色水和性粉末
その他成分：鉱物質微粉、界面活性剤等
包　　装：100g×50袋／ケース、500g×10袋／ケース

特　　長

- 本剤は、自然界から分離した安全性の高い有用細菌（バチルス　ズブチリス：枯草菌、納豆菌の仲間）を有効成分とする微生物防除剤です。
- 野菜類・花き類の灰色かび病、うどんこ病のほか、ぶどう、かんきつ、マンゴーの灰色かび病、なしの黒星病、稲のいもち病に対し予防効果を発揮します。
- マルハナバチ、ミツバチ、天敵昆虫に影響が少ない剤です。
- 発病前に散布することで、本剤の有効成分が作物体上に病原菌より先に住み着き、生息場所と栄養分を先に占有することで、後から来る病原菌の感染を予防します。
- 薬剤耐性菌に対しても同様の予防効果があります。化学殺菌剤と体系を組み散布することで、薬剤耐性菌の発達を抑えることができます。
- 使用回数に制限がなく、農薬成分としてカウントされませんので、特別栽培などに適しています。
- 常温で長期間の保存（有効年限3年）が可能です。
- 暖房機のダクトの風を利用し、本剤を粉体のまま散布する「ダクト内投入」が可能な国内で唯一の微生物防除剤です。水を使わないことで湿度が上昇しにくく、散布も極めて省力的に行えます。
- 更に「ダクト内投入」は、自動投入機の「きつつき君®」や専用散布機を併せて使用すると、大幅な労力削減につながります。

適用病害虫の範囲及び使用方法

通常散布

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量（10a）	使用時期	使用回数	使用方法	バチルスズブチリスを含む農薬の総使用回数
野菜類	灰色かび病 うどんこ病	1000倍	150～300ℓ	発病前～発病初期	ー	散布	ー
ぶどう	灰色かび病		200～700ℓ				
かんきつ マンゴー				開花期～幼果期			
なし	黒星病			発病前～発病初期			
稲	いもち病		200～300ℓ	穂ばらみ期～刈取前			

常温煙霧

作物名	適用病害虫名	使用量（10a）	使用液量（10a）	使用時期	使用回数	使用方法	バチルスズブチリスを含む農薬の総使用回数
野菜類	灰色かび病	300g	6～10ℓ	発病前～発病初期	ー	常温煙霧	ー

ダクト内投入

作物名	適用病害虫名	使用量（10a）	使用時期	使用回数	使用方法	バチルスズブチリスを含む農薬の総使用回数
野菜類	うどんこ病	15g/日	発病前～発病初期	ー	ダクト内投入	ー
	灰色かび病	10～15g/日				
マンゴー		10g/日				
かんきつ ぶどう		15g/日				
花き類・観葉植物		10～15g/日				

ダクト内投入とは

1日10～15gの本剤を水に希釈せず粉体のまま、暖房機の送風用ダクトの風を利用してハウス内全体に飛散・循環させる使用方法です。毎日継続してダクト内投入を行うことで、本剤の有効成分であるバチルス菌を圃場全体にムラなく、隅々まで定着させることができます。

「ダクト内投入」は岐阜県・出光興産（株）との共同開発技術（特許3986726）です。

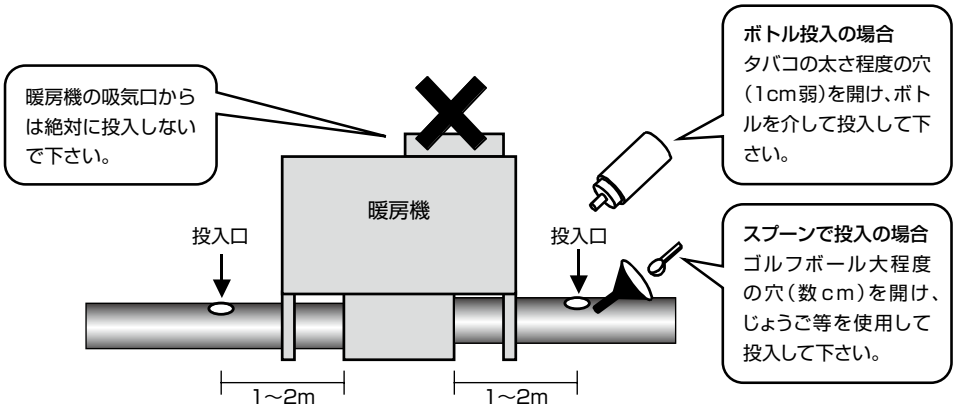
＊ダクト内投入の特徴

- 防除のタイミングを逃さず、安定した発病予防効果を発揮します。
- 水を使用しない散布方法なので、ハウス内の湿度が上昇しません。
- 散布を毎日継続することにより、灰色かび病が出にくいハウス環境へと改善・維持していきます。
- 投入（散布）方法が簡便であり、動力噴霧器などを使用する散布と比べ、非常に作業が楽です。
- 水を使わないため、天敵に対しても影響が少なく、天敵生物を導入する際の病害対策として、非常に優れた方法です。

ダクト内投入の方法

＊投入場所

- 親ダクトに投入口を開けて下さい（暖房機から1～2m）。
- 投入口は親ダクト全てに開けて下さい。



＊投入方法

- 1日あたり10～15g/10aを投入して下さい（投入量は登録内容により異なります）。
- 投入口が複数ある場合には、投入量合計が10～15g/10aとなるように分けて投入して下さい。
- 投入にはボトルやスプーンを用いる方法があります。
- 自動投入機「きつつき君®」を使用すると、自動投入が可能です（「きつつき君®」設置については p.88 ～を参照）。

＊実施手順

1．ハウス内の作業終了後、暖房機が停止していることを確認して下さい。
2．投入するボトキラー水和剤を予め秤量して下さい。
3．ボトキラー水和剤を投入後、暖房機のスイッチを入れて下さい。毎日最低2時間以上は送風させて下さい。
4．翌朝、入室する際は、天窓を開けるなど、ハウス内を十分換気してから入室して下さい。
5．投入は毎日実施し、数ヶ月間（暖房期間中）継続して下さい。

重　要 ダクト内投入によるボトキラー散布を効果的に行うには

- 毎日の散布が重要です。
- 1日当たりの送風回数を多くするほど効果が高まります。
- 本剤の使用開始時点で発病が確認される場合には、化学農薬等で治療してからダクト散布を開始して下さい。
- 散布は、発病前の早い時期から、夜間に行った方が良いです。
- 発病してしまうと効果がありませんので、病原菌が感染した果実・葉・茎などは早めの除去を心がけて下さい。
- 温度が高いほど効果が高く、最高気温が15℃以上での使用をお勧めします。
- ダクトは主ダクトと枝ダクトを、できれば各畝に配置して下さい。
- 子ダクトの吐出口は上向きに直径3～5cmにあけて下さい。風が強すぎる場合は、さらに大きな穴をあけても大丈夫です。
- 吐出口の風速は8～10m/sを確保して下さい。
- 春先、気温が上がり暖房機が稼動しなくなっても、手動で送風・投入を継続することで効果を持続させることができます。
- 雨よけ栽培でも散布は行えます。

使用上の注意事項

- 本剤の有効成分は生菌であるので、散布液調製後はできるだけ速やかに散布して下さい。また、開封後は密封して保管し、できるだけ早く使い切って下さい。
- 本剤は保護作用が強く予防効果が主体なので、散布処理を行う場合には発病前～発病初期に7～10日間隔で散布して下さい。なお、生育の早い作物に使用する場合には、散布頻度を高めて下さい。
- 低温条件下（10℃以下）では効果が劣りますので、使用を避けて下さい。
- 本剤は他剤と混用すると十分に効果が発揮されない場合がありますので、注意して下さい。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせて調節して下さい。
- 本剤の使用により葉及び果実などに汚れが生ずる恐れがありますので、収穫期の使用には気をつけて下さい。
- 常温煙霧用として使用する場合は、下記の注意を守って下さい。
  1．専用の常温煙霧機により所定の方法で煙霧して下さい。
  2．作業は密閉できる環境で行い、作業終了後6時間以上密閉して下さい。
- ダクト内へ投入する場合は、下記の点に留意して下さい。
  1．1ヶ月当たり300～450g/10aになるよう、暖房機などのダクト取り付け口付近からダクト内に投入して下さい。
  2．暖房機などが数時間以上運転される条件下で使用して下さい。
- 稲のいもち病を対象とする場合、穂ばらみ期に散布した後、7～10日間隔で計2回以上散布して下さい。

- 稲のいもち病を対象に使用する場合、出穂直後4日以内に散布した後、7日間隔で計2回以上散布して下さい。
- 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等の指導を受けて下さい。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用して下さい。なお、病害虫防除所等の指導を受けて下さい。

安全使用上の注意

- 使用の際は農薬用マスク、手袋、保護メガネ、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用して下さい。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換して下さい。
- 作業時に着用していた衣服等は、他のものとは分けて洗濯して下さい。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないように、施用した作物等との接触を避けて下さい。
- 夏期高温時の使用を避けて下さい。
- 常温煙霧中およびダクトによる散布中は、ハウス内へ入らないで下さい。また、常温煙霧およびダクトによる散布終了後はハウスを開放し、十分換気した後に入室して下さい。
- ダクトによる散布の際は、送風停止中に本剤をダクト内に投入して下さい。
- ダクトにより散布後にハウス内で作業する際は、送風機を作動させないで下さい。

保存上の注意

- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管して下さい。

農林水産省登録　第21500号

ボトピカ™水和剤

（バチルス　ズブチリス水和剤）

基本データ

有効成分：バチルス　ズブチリスMBI600株の生芽胞　2×10^{11}cfu/g
性　　状：類白色水和性粉末
その他成分：界面活性剤等
包　　装：50g×40袋/ケース、250g×8袋/ケース

特　　長

- 本剤は、自然界から分離した安全性の高い有用細菌（バチルス　ズブチリス：枯草菌、納豆菌の仲間）を有効成分とする、微生物防除剤です。
- 野菜類の灰色かび病のほか、いちご・ピーマンでのうどんこ病に予防効果を発揮します。
- マルハナバチ、ミツバチ、天敵昆虫に影響が少ない剤です。
- 発病前に散布することで、本剤の有効成分が作物体上に病原菌より先に住み着き、生息場所と栄養分を先に占有することで、後から来る病原菌の感染を予防します。
- 薬剤耐性菌に対しても同様の予防効果があります。化学殺菌剤と体系を組み散布することで、薬剤耐性菌の発達を抑えることができます。
- 使用回数に制限がなく、農薬成分としてカウントされませんので、特別栽培などに適しています。
- 常温で長期間の保存（有効年限3年）が可能です。
- 水に溶けやすく、また、散布時の作物への汚れが目立ちにくく、果実の収穫時期にも安心してお使いいただけます。

適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量（10a）	使用時期	使用回数	使用方法	バチルスズブチリスを含む農薬の総使用回数
野菜類	灰色かび病	2000～4000倍	100～300ℓ	発病前～発病初期まで	ー	散布	ー
いちご ピーマン	うどんこ病						
にら	白斑葉枯病						

使用上の注意事項

- 本剤の有効成分は生菌であるので、散布液調製後はできるだけ速やかに散布して下さい。また、開封後は密閉して保管し、できるだけ早く使い切って下さい。
- 保護作用が強く予防効果が主体なので、散布処理を行う場合には発病前～発病初期に７～１０日間隔で散布して下さい。また、生育の早い作物に使用する場合には、散布頻度を高めるなどの工夫をして下さい。
- 低温条件下では効果が出にくいので、10℃以上が確保される施設内で使用して下さい。
- 他剤と混用すると十分に効果が発揮されない場合がありますので、注意して下さい。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせて調節して下さい。
- 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等の関係機関の指導を受けて下さい。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用して下さい。なお、病害虫防除所等の関係機関の指導を受けて下さい。

安全使用上の注意

- 眼に対して刺激性がありますので、眼に入らないように注意して下さい。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けて下さい。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、保護メガネ、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用して下さい。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換して下さい。
- 作業時に着用していた衣服等は、他のものとは分けて洗濯して下さい。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないように、施用した作物等との接触を避けて下さい。
- 夏期高温時の使用を避けて下さい。

保存上の注意

- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管して下さい。

農林水産省登録　第 23473 号

インプレッションクリア

（バチルス　アミロリクエファシエンス水和剤）

インプレッションクリア® は株式会社エス・ディー・エス バイオテックの登録商標です。

基本データ

有 効 成 分：バチルス アミロリクエファシエンス　AT-332株の生芽胞（5X10^{9}cfu/g）
性　　状：類白色水和性粉末
その他成分：界面活性剤等
包　　装：（100g×10袋）×4 ／ケース

特　　長

- 本剤は、植物の根圏土壌から分離した安全性の高い有用細菌（バチリス　アミロリクエファシエンスAT-332株）を有効成分とする微生物防除剤です。
- 野菜類・豆類（種実）・いも類のうどんこ病、灰色かび病に対し防除（予防）効果を発揮します。
- 汚れが少なく、収穫期にも安心して使えます。
- 発病前に散布することで、本剤の有効成分が作物体上に病原菌より先に住み着き、生息場所と栄養分を先に占有することで、後から来る病原菌の感染を防ぎます。
- 薬剤耐性菌に対しても同様の予防効果があります。化学殺菌剤と体系を組み散布することで、薬剤耐性菌の発達を抑えることができます。
- 薬剤抵抗性発達の可能性が低く、多くの化学薬剤と混用可能です。
- マルハナバチ、ミツバチ、天敵昆虫に影響が少ない剤です。
- 使用回数に制限がなく、農薬成分としてカウントされませんので、特別栽培などに適しています。
- 常温で長期間の保存（有効期限3年）が可能です。

適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適　用 病害虫名	希釈倍数	使用液量 （10a）	使用時期	使用回数	使用方法	バチルス アミロリクエファシエンスを含む農薬の総使用回数
野菜類 豆類(種実) いも類	うどんこ病 灰色かび病	1000～ 2000倍	100～ 300ℓ	発病前から 発病初期まで	ー	散布	ー

使用上の注意事項

- 本剤の有効成分は生菌であるので、散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布してください。また、開封後は密封して保管し、できるだけ早く使い切って下さい。
- 本剤の所定量に少量の水を加えてかき混ぜ、その後所定量となるよう水を加え十分撹拌してから散布して下さい。
- 本剤は吸湿すると固化したり、効果が低下したりすることがあるので、貯蔵に当たっては湿気に注意し、特に使用残りの薬剤は密封して乾燥した冷暗所に貯蔵して下さい。
- 本剤は保護作用が強く予防効果が主体なので、発病前から発病初期に7～10日間隔で数回散布する。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認して下さい。使用方法を順守して下さい。特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けて下さい。

安全使用上の注意

- 眼に入らないように注意して下さい。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けて下さい。
- 皮ふに付着しないように注意して下さい。皮ふについた場合には直ちに石けんでよく洗い落して下さい。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用して下さい。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼、うがいをするとともに衣服を交換して下さい。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯して下さい。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触を避け下さい。
- 夏期高温時の使用を避けて下さい。

保管上の注意

- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管して下さい。

農林水産省登録　第21919号

タフパール™

（タラロマイセス　フラバス水和剤）

基本データ

有効成分：タラロマイセス　フラバス　SAY-Y-94-01株胞子　5×10^8cfu/mℓ
性　　状：褐色懸濁油状液体
その他成分：大豆油、界面活性剤
危険物表示：指定可燃物（可燃性液体類）
包　　装：100mℓ×10本/ケース

特　　長

- 本剤は、栃木県農業試験場がいちご圃場から分離した有用糸状菌（タラロマイセス　フラバス）を有効成分とする、微生物防除剤です。
- 野菜類のうどんこ病、いちごの炭疽病、なすのすすがび病、トマト・ミニトマトの葉かび病、灰色かび病に予防効果があります。
- マルハナバチ、ミツバチ、天敵昆虫に影響が少ない剤です。
- 発病前に散布することで、本剤の有用糸状菌が作物体上に病原菌より先に住み着き、生息場所と栄養分を先に占有することで、後から来る病原菌の感染を予防します。
- 薬剤耐性菌に対しても同様の予防効果があります。化学殺菌剤と体系を組み散布することで、薬剤耐性菌が蔓延した圃場の耐性菌密度を低下させることが可能です。
- 使用回数に制限がなく、農薬成分としてカウントされませんので、特別栽培などに適しています。
- 製剤は使いやすいフロアブルタイプで、果実への汚れも少なく、また室温での保管が可能です（有効年限1年6か月）。

適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量（10a）	使用時期	使用回数	使用方法	タラロマイセスフラバスを含む農薬の総使用回数
野菜類	うどんこ病	2000～4000倍	150～300ℓ	発病前～発病初期	ー	散布	ー
なす	すすかび病						
いちご	炭疽病			育苗期～収穫前日まで			
トマト ミニトマト	葉かび病 灰色かび病			発病前～発病初期			

散布液の調整について

- 本剤は有効成分が沈殿しやすいので、使用前にボトルをよく振ってから（約1分、100回程度）溶けていることを確認し、散布液に投入した後はよく撹拌して下さい。
- 低温で保管していた場合には、室温に戻してから振って下さい。
- 本剤の予防効果を安定して発揮させるため、必ず展着剤を加用して下さい。
  （例：アプローチBI、サブマージ、クミテン、マイリノー、新グラミンなど）

＊振ってもボトルに沈殿が残った場合の対処方法
ボトル内に加用する展着剤を約3cc入れ、ボトルの半分程度まで水を入れて蓋を閉め、再度よく振って下さい（水のみを入れた場合、うまく分散しない恐れがあります）。

使用上の注意事項

- 本剤の有効成分は生菌であるので、散布液調製後はできるだけ速やかに散布して下さい。また、開封後は密封して保管し、できるだけ早く使い切って下さい。
- 使用前によく振って下さい。
- 本剤は保護作用が強く予防効果が主体なので、散布処理を行う場合には発病前～発病初期に7～10日間隔で散布して下さい。
- 本剤は他剤と混用すると十分に効果が発揮されない場合があるので注意して下さい。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節して下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等の関係機関の指導を受けて下さい。

安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性がありますので、眼に入らないよう注意して下さい。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けて下さい。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用して下さい。作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換して下さい。
- 作業時に着用していた衣服等は、他のものとは分けて洗濯して下さい。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないように、施用した作物等との接触を避けて下さい。
- 夏期高温時の使用を避けて下さい。

保存上の注意

- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管して下さい。

農林水産省登録　第21920号

タフブロック™

（タラロマイセス　フラバス水和剤）

基本データ

有効成分：タラロマイセス　フラバス　SAY-Y-94-01株胞子　1×10^8cfu/g
性　　状：類白色水和性粉末
その他成分：界面活性剤、鉱物質微粉、有機質微粉
包　　装：100g×20袋/ケース、500g×10袋/ケース

特　　長

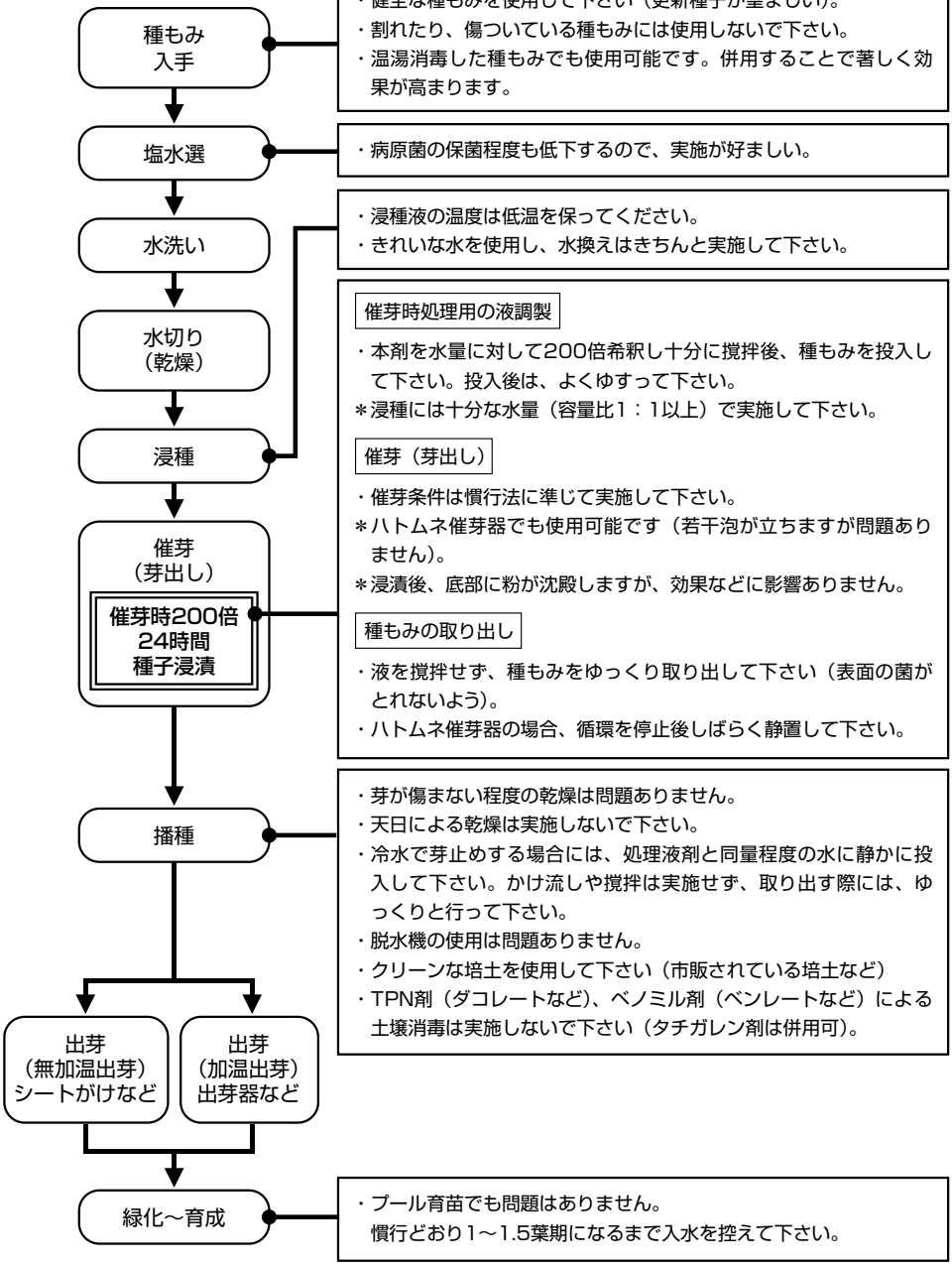
- 本剤は、栃木県農業試験場がいちご圃場から分離した有用糸状菌（タラロマイセス　フラバス）を有効成分とする、微生物防除剤です。
- 稲のばか苗病、いもち病、もみ枯細菌病、苗立枯細菌病、褐条病および苗立枯病（リゾープス菌、フザリウム菌、トリコデルマ菌）に高い予防効果を示します。
- 本剤の有用糸状菌がもみ表面に付着、増殖し、病原菌の増殖・侵入を防ぎます。生育した苗の基部のもみ殻表面には黄色いコロニーが確認できます。
- イネをはじめ、作物に対する寄生性、病原性がなく、苗の生育に悪い影響を与えません。
- 育苗時に低温などに遭遇しても効果の変動が生じにくく、苗の生育に対しても悪い影響を与えません。
- 薬剤耐性菌に対しても同様の予防効果があります。
- 温湯消毒法との組合わせにより、安定した防除効果が期待できます。
- 製剤は水に分散しやすい水和剤で、室温での保管が可能です。
- 人畜に対する高い安全性はもとより、鳥類、昆虫、水生生物、植物、土壌微生物などに対して影響が認められておらず、環境にやさしい微生物防除剤です。また、本菌は土壌中では、自然界に存在するレベルまで速やかに減衰します。
- きのこ類（しいたけ、エリンギなど）に対する影響は認められていません。

適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	使用回数	使用方法	タラロマイセスフラバスを含む農薬の総使用回数
稲	褐条病 ばか苗病 いもち病 苗立枯細菌病 もみ枯細菌病	200倍	催芽時	ー	24時間種子浸漬	ー
	ばか苗病 いもち病 苗立枯細菌病 もみ枯細菌病	200倍	催芽前		24～48時間 種子浸漬	
		種子重量の2～4%	浸種前		湿粉衣	
	苗立枯病 (フザリウム菌) 苗立枯病 (リゾープス菌) 苗立枯病 (トリコデルマ菌)	200倍	催芽時		24時間 種子浸漬	
			催芽前		24～48時間 種子浸漬	
		種子重量の4%	浸種前		湿粉衣	
	ばか苗病 いもち病 苗立枯細菌病 もみ枯細菌病	20倍	浸種前～ 催芽前		1時間 種子浸漬	
	苗立枯病 (フザリウム菌) 苗立枯病 (リゾープス菌) 苗立枯病 (トリコデルマ菌)		浸種前			
稲 (箱育苗)	苗立枯病 (リゾープス菌)	200倍	は種時覆土前		育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り希釈液 200mℓを土壌 灌注する。	

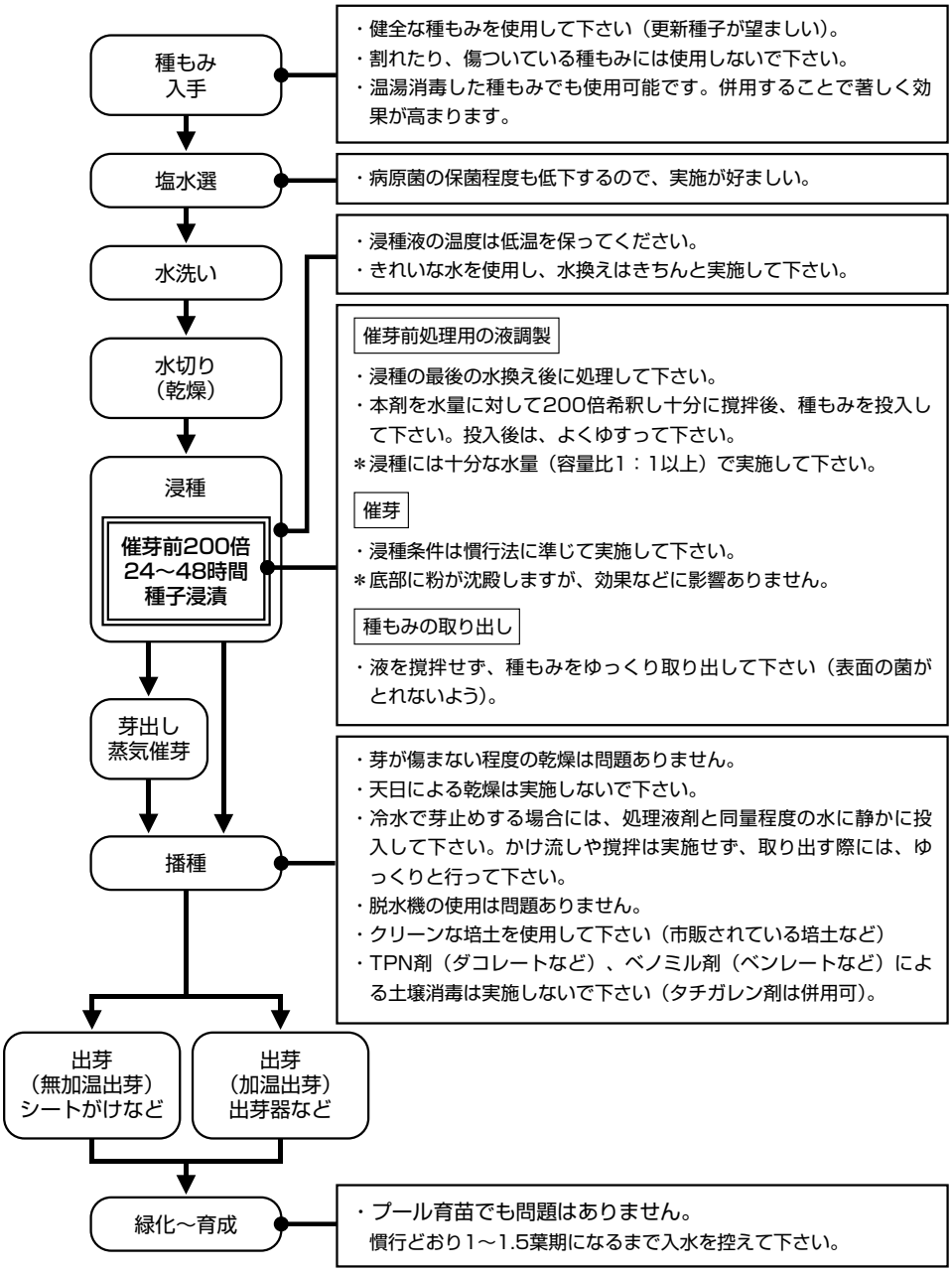
使用方法

＊浸漬催芽を行う場合



使用方法

＊蒸気催芽または播種後催芽・出芽を行う場合



＊浸種前～催芽前１時間種子浸漬の場合
- 本剤を水量に対して20倍希釈して下さい。
- 調整した液を十分に撹拌後、種もみを投入し、よくゆすって下さい。

＊湿粉衣の場合
- 湿らせた種もみに対して、2～4%粉衣（浸種前）し、よく混和して下さい。
- その後は慣行法に準じて栽培して下さい。
- 陰干しなどの乾燥は問題ありません（天日による乾燥は実施しないで下さい）。

使用上の注意事項

- 本剤の有効成分は生菌であるので、薬液調製後はできるだけ速やかに使用して下さい。また、開封後は密封して保管し、できるだけ早く使い切って下さい。
- 種籾と処理薬液の容量比は１：１以上とし、種籾は目の粗い網袋などを用い、薬液処理時によくゆすって下さい。
- 本剤は他剤と混用すると十分に効果が発揮されない場合があるので注意して下さい。
- 処理後の種籾乾燥の際は、直射日光や極端な高温を避けて下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等の関係機関の指導を受けて下さい。

安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性がありますので、眼に入らないよう注意して下さい。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けて下さい。
- 使用の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用して下さい。作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換して下さい。
- 作業時に着用していた衣服等は、他のものとは分けて洗濯して下さい。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないように、施用した作物等との接触を避けて下さい。
- 夏期高温時の使用を避けて下さい。

保存上の注意

- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管して下さい。

微生物防除剤

農林水産省登録　第 23054 号

タフブロック^{TM}SP

（タラロマイセス　フラバス水和剤）

基本データ

有 効 成 分：タラロマイセス　フラバス　SAY-Y-94-01株胞子　3×10^{8}cfu/g
性　　状：類白色水和性粉末
その他成分：界面活性剤、鉱物質微粉、有機質微粉等
包　　装：1kg×10袋/ケース、10kg袋

特　　長

- 本剤は、栃木県農業試験場のいちご圃場から分離された有用糸状菌（タラロマイセス　フラバス）を有効成分とする微生物防除剤です。
- 稲のばか苗病、いもち病、苗立枯細菌病、もみ枯細菌病、苗立枯病（リゾープス菌、トリコデルマ菌、フザリウム菌）に高い予防効果を示します。
- 本剤の有用糸状菌がもみ表面に付着、増殖し、病原菌の増殖・浸入を防ぎます。
- イネをはじめ、作物に対する寄生性、病原性がなく、苗の生育に悪い影響を与えません。
- 育苗時に低温などに遭遇しても効果の変動が生じにくく、苗の生育に対しても悪い影響を与えません。
- 薬剤耐性菌に対しても同様の予防効果があります。
- 温湯消毒法との組合わせにより、安定した防除効果が期待できます。
- 常温での保管が可能です。
- 人畜に対する高い安全性はもとより、鳥類、昆虫、水生生物、植物、土壌微生物などに対して影響が認められておらず、環境にやさしい微生物防除剤です。
- きのこ類（しいたけ、エリンギなど）に対する影響は認められていません。

適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適　用 病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	使用 回数	使用方法	タラロマイセス フラバス を含む農薬の 総使用回数
稲	いもち病 ばか苗病 苗立枯細菌病 もみ枯細菌病 苗立枯病(リゾープス菌) 苗立枯病(トリコデルマ菌) 苗立枯病(フザリウム菌)	7.5倍	乾燥種籾 1kg当り30mℓ	浸種前	―	種子吹き付け処理 (種子消毒機使用) 又は種子塗沫処理	―
		4倍	乾燥種籾 1kg当り20mℓ				
		50倍	―			10～60分間 種子浸漬	

使用上の注意事項

- 本剤の有効成分は生菌であるので、薬液調製後はできるだけ速やかに使用して下さい。また、開封後は密封して保管し、できるだけ早く使い切って下さい。
- 種子消毒は浸種前に行い、処理後は水洗いせずに浸種して下さい。
- 種子浸漬の場合、種籾と処理薬液の容量比は１：１以上とし、種籾は目の粗い網袋などを用い、薬液処理時によくゆすって下さい。
- 本剤は他剤と混用すると十分に効果が発揮されない場合があるので注意して下さい。
- 吹き付け処理の場合は種子消毒機を使用し、種籾に均一に付着させて乾燥して下さい。また、塗沫処理の場合は適当な容器内で種籾を攪拌しながら、薬液を滴下するなどして種籾に均一に付着させて下さい。
- 処理した種子は、その旨を明示し、食品などとは区別して保管し、食用、動物用飼料として用いないで下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けて下さい。

安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意して下さい。眼に入った場合には直ちに水洗いし、眼科医の手当を受けて下さい。
- 使用の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用して下さい。作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換して下さい。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯して下さい。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触を避けて下さい。
- 夏期高温時の使用を避けて下さい。

保存上の注意

- 直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管して下さい。

微生物防除剤

農林水産省登録　第 19071 号

バイオリサ™・カミキリ
バイオリサ™・カミキリスリム
（ボーベリア　ブロンニアティ剤）

基本データ

有 効 成 分：ボーベリア　ブロンニアティ　1×10^7cfu/cm^2
性　　状：類白色シート
その他成分：パルプ不織布等
包　　装：1本のサイズ　幅2.5cm×長さ50cm　1袋50本入り×2袋入/箱、10袋入/箱

特　　長

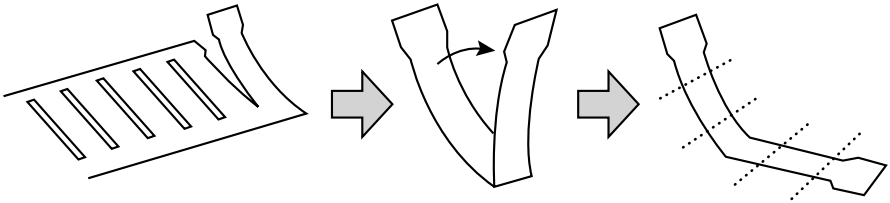
- 難防除害虫であるカミキリムシ類に有効です。殺虫効果は極めて長く、設置後約30日間持続します。
- わが国の自然界に生息する昆虫病原菌を活用した全く新しいタイプの微生物防除剤です。
- カミキリムシ成虫は、本剤に触れると有効成分である糸状菌（ボーベリア　ブロンニアティ）に感染し、約1～2週間で死亡します。
- シートは自然分解性パルプ不織布を使用しているため、回収が不要です。
- 設置方法はテープ状の本剤を木に架けるだけなので、設置作業が簡単です。

適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適　用 病害虫名	使用量	使用時期	使用回数	使用方法	ボーベリア ブロンニアティ を含む農薬の 総使用回数
果樹類	カミキリムシ類	1樹当り 1本	成虫発生初期	—	地際に近い主幹の分枝部分等に架ける	—
桑	キボシカミキリ					
かえで	ゴマダラカミキリ					
うど たらのき	センノカミキリ	2樹当り 1本			樹上部の葉柄基部又は茎等に架ける	
しいたけ	ハラアカコブカミキリ	ほだ木 10本当り 1本	産卵期 および 成虫発生初期		ほだ木上に架ける	

使用方法

＊準備



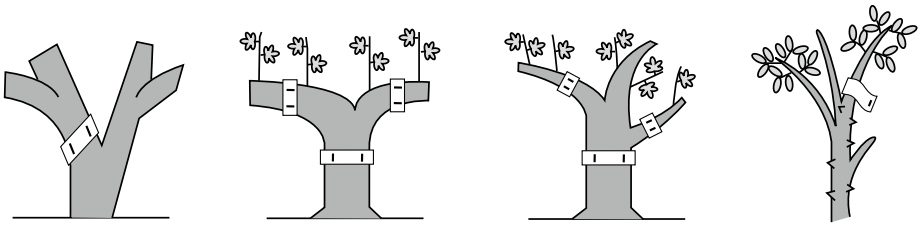
袋から本剤を取り出し端部の開いている部分から1本ずつ切り離して下さい。

本剤は折りたたまれています。端部の開いている側からはがしてください。

必要に応じて樹木の大きさに合わせたサイズに切って下さい。

＊設置

- バイオリサ™・カミキリは菌が付いている面（粉が付いている面）を表にして、幹や枝に巻き付け、ホッチキスで止めて下さい。
- カミキリムシが接触しそうな樹幹や枝の分岐部に取り付けて下さい。



かんきつの例　イチジク（一文字整枝）の例　イチジク（開心自然形）の例　たらのきの例

＊しいたけの場合

- しいたけのほだ木の上にかけて下さい。
- ほだ木の上に笠木を置く場合は、その笠木の中や下にかけて下さい。
- なお、本剤は生菌を含むため、直射日光にさらされると効果が低下するので、できるだけ直射日光が当らないような場所に架けてください。

使用上の注意事項

- 本剤はキボシカミキリ・ゴマダラカミキリ・センノカミキリ・ハラアカコブカミキリ成虫等のカミキリムシ類が本剤と接触することにより感染し、殺虫効果を示す糸状菌を不織布上に固定した製剤です。
- 本剤は使用する直前まで乾燥した冷暗所（約5℃）に保存して下さい。開封後やむを得ず保管する場合は、密封し乾燥した冷暗所（約5℃）に保存して下さい。
- 本剤は遅効性であり、また、産卵抑制効果は持たないので、カミキリムシ成虫発生初期から使用して下さい。
- しいたけに使用する場合、成虫の羽化脱出（秋期）から冬眠開始（冬期）までの成虫発生初期もしくは冬眠後の活動開始（春期）から産卵期（夏期）までの成虫活動期間に使用して下さい。
- 本剤は、羽化脱出したカミキリムシ成虫が接触するように、主幹部や主枝の分岐部等の地際に近い部分にずれ落ちないように１樹あたり１本架けて下さい。ただし、果樹類に使用する場合は、１樹当たり１本を標準とし、設置する樹木の大きさに合わせ適宜調整して下さい。又、うど、たらのきに使用する場合は、樹上部の葉柄基部又は茎などへ2樹当り１本を架けて下さい。しいたけのほだ木に使用する場合は、ほだ木10本当たり１本を架けて下さい。なお、本剤は生菌を含むため直射日光にさらされると効果が低下するので、できるだけ直射日光が当らないような場所に架けて下さい。
- 本剤の使用量は、桑では幅50mm、長さ100mm、かえでては幅25mm、長さ125mm、果樹類では幅25mm、長さ500mm、うど、たらのきでは幅25mm、長さ100mm、しいたけのほだ木では幅25mm、長さ500mmを標準とし、設置する樹木の大きさに合わせ適宜調整して下さい。
- 本剤の有効期間は30日程度ですが、高温、乾燥、多雨などの気象条件により、殺虫効果を示す期間が短くなる場合があるので、その場合は適宜新しい製剤と交換して下さい。
- 蚕の1～2齢幼虫に対し影響を及ぼす恐れがあるので、本剤を処理した桑園の桑を1～2齢の幼虫には与えないで下さい。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けて下さい。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用して下さい。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けて下さい。

安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性がありますので、眼に入らないよう注意して下さい。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けて下さい。
- 使用の際には農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して下さい。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換して下さい。
- 作業時に着用していた衣服等は、他のものとは分けて洗濯して下さい。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないように、施用した作物等との接触を避けて下さい。

保存上の注意

- 本剤は生菌を含むため、乾燥した冷暗所（約5℃）に密封して保管して下さい。

農林水産省登録　第 22172 号

ゴッツA®

（ペキロマイセス　テヌイペス乳剤）

ゴッツ A® は住友化学株式会社の登録商標です。

基本データ

有 効 成 分：ペキロマイセス テヌイペスＴ１株の分生子　5×10^8個／mℓ
性　　状：褐色懸濁可乳化油状液体
その他成分：油、界面活性剤等
危険物表示：指定可燃物（可燃性液体類）
包　　装：500mℓ×10本/ケース

特　　長

- 本剤は、日本国内の土壌から分離した昆虫病原性糸状菌（ペキロマイセス　テヌイペス）を製剤化した微生物防除剤です。
- 難防除害虫であるコナジラミ類やアブラムシ類に対して、高い殺虫効果があります。
- 各種化学農薬に対して抵抗性が発達したコナジラミ類やアブラムシ類にも効果があります。
- 本剤の有効成分である分生子がコナジラミ類やアブラムシ類の体に付着し発芽した後、菌糸を伸ばしクチクラから侵入して体内で増殖し、死に至らしめます。

適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適　用 病害虫名	希釈倍数	使用液量 （10a）	使用時期	使用回数	使用方法	ペキロマイセス テヌイペス を含む農薬の 総使用回数
野菜類 （施設栽培）	コナジラミ類	500～ 1000倍	100～ 300ℓ	発生初期	ー	散布	ー
	アブラムシ類	500倍					
	うどんこ病			発病前～ 発病初期			

薬害・効果などの注意

- 本剤は入手後冷暗所に保存し、開封後は早めに使い切って下さい。
- 本剤は貯蔵中に分離することがあるので、使用に際しては容器をよく振って下さい。
- 本剤の容器には乾燥剤が封入されているので、取り出したりしないで下さい。
- 本剤の有効成分は生菌であるので、散布液は調製後そのまま放置せず、できるだけ速やかに散布して下さい。
- 他の薬剤との混用は十分に効果が発揮されない場合があるので注意して下さい。
- 本剤に影響を及ぼす薬剤があるので、本剤の使用期間中に他剤を処理する場合は十分に注意して下さい。
- アルカリ性の強い葉面施用の肥料等との混用は避けて下さい。
- 本剤の効果を十分に発揮させるために以下の点に注意して下さい。
  ①散布液が葉裏にも十分かかるように散布して下さい。
  ②害虫の発生初期に散布を開始し、７日程度の間隔で少なくとも３～４回散布して下さい。
  ③害虫防除のためには、ある程度の湿度を必要とするため、午後遅くまたは夕方に散布し、散布当日の夜間は施設を締め切って下さい。
  ④病害に対しては予防効果が主体なので、発病前～発病初期に７日程度の間隔で散布して下さい。
- アブラムシ類は環境条件によっては増殖速度が早く、本剤による密度抑制効果を上回ることがあるため、必要に応じて散布間隔を短くして下さい。
- ミツバチに対して影響があるので、以下の点に注意して下さい。
  1．ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにして下さい。
  2．受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設等では使用を避けて下さい。なお、ミツバチを放飼する場合は散布後、１日以上たってから行って下さい。
  3．養蜂が行われている地域では周辺への飛散に注意する等、ミツバチの危害防止に努めて下さい。
- 本剤はカイコに影響があるので、桑畑が付近にある場合には桑葉にかからないように注意して下さい。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合には、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用して下さい。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けて下さい。

安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないように注意して下さい。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けて下さい。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用して下さい。作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣類を交換して下さい。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯して下さい。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないように、施用した作物等との接触を避けて下さい。
- 夏期高温時の使用を避けて下さい。

保存上の注意

- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温な場所に密封して保管して下さい。

農林水産省登録　第 19677 号

バイオキーパー®水和剤

（非病原性エルビニア　カロトボーラ水和剤）

バイオキーパー® はセントラル硝子株式会社の登録商標です。

基本データ

有 効 成 分：非病原性エルビニア　カロトボーラ CGE234M403　5×10^{10}cfu／g
性　　状：類白色水和性微粒
その他成分：鉱物質微粉、安定剤 等
有 効 年 限：5℃：4年、25℃：6ヶ月
包　　装：100ｇ×30袋、500ｇ×10袋、1ｋｇ×10袋

特　　長

- 難防除病害である各種野菜の軟腐病に対する微生物防除剤であり、マルハナバチ、ミツバチ、天敵などへの影響が少なく、環境に対する負荷の少ない環境保全型の防除剤です。
- 従来の化学合成殺菌剤とは全く異なる防除メカニズムで軟腐病を防除します。
- 降雨による影響が少なく散布後の適度な降雨は定着を促進させます。
- JAS法に適合し、農薬成分としてカウントされませんので、有機栽培・特別栽培農産物でも使用可能です。

適用病害虫の範囲及び使用方法

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適　用
病害虫名</th><th>希釈倍数</th><th>使用液量
（10a）</th><th>使用時期</th><th>使用回数</th><th>使用方法</th><th>非病原性エルビニアカロトボーラを含む農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><td>野菜類</td><td rowspan="5">軟腐病</td><td>500～2000倍</td><td rowspan="3">150～300ℓ</td><td rowspan="6">発病前～
発病初期</td><td rowspan="6">ー</td><td rowspan="3">散布</td><td rowspan="6">ー</td></tr>
<tr><td>シクラメン</td><td>1000倍</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ばれいしょ</td><td>1000～2000倍</td></tr>
<tr><td>16倍</td><td>3.2ℓ</td><td>無人ヘリコプターによる散布</td></tr>
<tr><td>かんきつ</td><td>かいよう類</td><td>1000倍</td><td>200～700ℓ</td><td>散布</td></tr>
</table>

散布方法

- 開封時に内容物が固化している場合がありますが品質には全く影響がありません。固化しているときは軽く手でもんでから少量ずつかき混ぜながら水に溶かして下さい。調製後はそのまま放置せず、出来るだけ速やかに散布して下さい。

上手な使い方

- 各作物とも発病前からの予防的散布が効果的です。
- 特に降雨・強風が予想される場合、その直前・直後の散布で高い効果が発揮されます。
- 他の軟腐病防除剤との交互散布で効果が安定します。その場合は散布間隔を3日以上あけて下さい。

使用上の注意事項

- 本剤を希釈する場合は、所定量の水に少量ずつ入れて散布液を調製して下さい。
- 本剤の有効成分は生菌であるので、開封後は全て使い切って下さい。
- 本剤は使用時期が遅れると効果が劣るので軟腐病発病前に使用して下さい。
  また7～8葉期から散布を開始し、結球初期を中心に7～10感間隔で5回程度連続散布すると効果的です。
- 本剤は他剤と混用すると十分に効果が発揮されない場合があるので注意して下さい。特に、銅剤、ストレプトマイシン剤、オキソリニック酸剤等の細菌病に有効な薬剤および乳剤等の有機溶媒を含む薬剤とは混用しないで下さい。
- 本剤散布後、長期にわたり日照りが続く場合は効果が劣る場合があるので、再度散布して下さい。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用して下さい。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けて下さい。

安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないように注意して下さい。
  眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受けて下さい。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して下さい。
  作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換して下さい。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯して下さい。
- かぶれやすい体質の人は取扱に十分注意して下さい。

貯蔵上の注意

- 直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に、食品と区別して密封して下さい。
- 夏場は冷蔵庫保存（10℃以下）して下さい。
- 一旦開封した袋は使い切って下さい。

微生物防除剤

農林水産省登録　第 22139 号

フィールドキーパー®水和剤

（バリオボラックス　パラドクス水和剤）

フィールドキーパー® はセントラル硝子株式会社の登録商標です。

基本データ

有 効 成 分：バリオボラックス　パラドクスCGF4526株　2×10^{10}cfu／g
性　　状：類白色水和性微粒及び粗粉
その他成分：鉱物質微粉、安定剤　等
有 効 年 限：5℃：2年（試験中）、25℃：6ヶ月
包　　装：100ｇ×30袋

特　　長

- 難防除病害であるはくさい、キャベツの根こぶ病に対する微生物防除剤であり、従来の殺菌剤とは異なる防除メカニズムで根こぶ病を防除します。
- JAS法に適合し、農薬成分としてカウントされませんので、有機栽培・特別栽培農産物でも使用可能です。
- 作物に対する安全性が高く、薬害の心配がありません。
- 使用方法は薬液を育苗トレイに灌注するだけなので簡単です。
- 使用濃度において、水生生物、蚕、ミツバチ、天敵昆虫等有用生物ならびに土壌中の有用微生物に対する影響がほとんどありません。

適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	使用回数	使用方法	バリオボラックスパラドクスを含む農薬の総使用回数
はくさい	根こぶ病	200倍	セル型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm、使用土壌約2.5～5ℓ)当り2ℓ	は種直後	1回	灌注	―
				は種直後及び定植前日～当日	2回		
			セル型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm、使用土壌約2.5～5ℓ)当り1ℓ				
キャベツ ブロッコリー			セル型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm、使用土壌約2.5～5ℓ)当り2ℓ	は種直後	1回		
				は種直後及び定植前日～当日	2回		

散布方法

- 所定量の水に少しずつ入れてかき混ぜながら溶かして下さい。調製後はそのまま放置せず、出来るだけ速やかに灌注して下さい。処理直後に灌水をしないで下さい。

使用上の注意事項

- 本剤を希釈する場合は、所定量の水に少量ずつ入れ、よくかき混ぜて灌注液を調製して下さい。
- 本剤の有効成分は生菌であるので、開封後は全て使い切って下さい。
- 発病の多発が予想される場合は、播種直後のみの使用では十分な防除効果が得られないことがあるので、播種直後および定植前日～当日の2回使用して下さい。
- 発病が激しい圃場では効果が劣る場合があるので、土壌処理剤などの他の防除手段を併用して下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等の関係機関の指導を受けて下さい。

安全使用上の注意

- 本剤が眼に入らないように注意して下さい。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けて下さい。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用して下さい。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換して下さい。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯して下さい。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触を避けて下さい。
- 夏期高温時の使用は避けて下さい。

貯蔵上の注意

- 常温で保存する場合、6ヶ月以内に使用して下さい。
- 直射日光を避け、なるべく冷暗所に、食品と区別して保管して下さい。
- 夏場は冷蔵庫保存（10℃以下）して下さい。

微生物防除剤

農林水産省登録　第21546号

ベジキーパー®水和剤

（シュードモナス　フルオレッセンス水和剤）

ベジキーパー® はセントラル硝子株式会社の登録商標です。

基本データ

有効成分：シュードモナス　フルオレッセンスG7090株　1×10^{10}cfu／g
性　　状：類白色水和性粗粉
その他成分：鉱物質微粉、安定剤　等
有効年限：5℃：4年、25℃：6ヶ月
包　　装：100g×30袋、500g×10袋

特　　長

- 生きた微生物で防除する。従来の殺菌剤とは異なるメカニズムのレタスの腐敗病、キャベツ・はくさいとブロッコリーの黒腐病、ブロッコリーの花蕾腐敗病防除剤です。
- 公的試験機関等で、従来の殺菌剤と同等の高い防除効果が確認されています。
- 他剤との体系散布により安定した効果が期待できます。
- JAS法に適合し、農薬成分としてカウントされませんので、有機栽培・特別栽培農産物でも使用可能です。
- 作物に対する安全性が高く、収穫前まで使用できます。
- 散布濃度において、水生生物、蚕、ミツバチ、天敵昆虫等有用生物ならびに土壌中の有用微生物に対する影響がほとんどありません。
- 降雨による影響が少なく、散布後の適度な降雨は定着を促進させます。

適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量（10a）	使用時期	使用回数	使用方法	シュードモナスフルオレッセンスを含む農薬の総使用回数
レタス 非結球レタス	腐敗病	1000倍	100～300ℓ	発病前～発病初期	ー	散布	ー
キャベツ はくさい	黒腐病						
ブロッコリー	黒腐病 花蕾腐敗病						

散布方法

- 所定量の水に少しずつ入れてかき混ぜながら溶かして下さい。調製後はそのまま放置せず、出来るだけ速やかに散布して下さい。

上手な使い方

- 各作物とも発病前からの予防的散布が効果的です。
- 特に降雨・強風が予想される場合、その直前・直後の散布で高い効果が発揮されます。
- 化学農薬との体系散布で効果が安定します。その場合は散布間隔を3日以上あけて下さい。

使用上の注意事項

- 本剤を使用する場合は、所定量の水に少量ずつ入れて散布液を調製して下さい。
- 本剤の有効成分は生菌であるので、開封後は全て使い切って下さい。
- 本剤は使用時期が遅れると効果が劣る場合があるので、できるだけ腐敗病、黒腐病発病前から散布して下さい。
- 本剤は他剤と混用すると十分に効果が発揮されない場合があるので注意して下さい。
  特に銅剤、オキソリニック酸などの細菌病に有効な薬剤及び乳剤などの有機溶媒を含む薬剤と混用しないで下さい。
- 本剤散布後、長期に日照りが続く場合は効果が劣る場合があるので、再度散布して下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等の関係機関の指導を受けて下さい。

安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないように注意して下さい。
  眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けて下さい。
- 散布の際は、農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用して下さい。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換して下さい。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯して下さい。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触は避けて下さい。
- 夏期高温時の使用は避けて下さい。

貯蔵上の注意

- 常温で保存する場合は、6ヶ月以内に使用して下さい。
- 直射日光を避け、なるべく冷暗所に、食品と区別して保管して下さい。
- 夏場は冷蔵庫保存（10℃以下）して下さい。

農林水産省登録　第21858号

モミホープ®水和剤

（バチルス　シンプレクス水和剤）

モミホープ®はセントラル硝子株式会社の登録商標です。

基本データ

有効成分：バチルス　シンプレクスCGF2856株の生芽胞　1×10^{10}cfu／g
性　　状：類白色水和性微粒及び粗粉
その他成分：鉱物質微粉等
有効年限：5℃：4年、25℃：2年
包　　装：100g×30袋

特　　長

- イネ種子のもみ枯細菌病、苗立枯細菌病に対する微生物殺菌剤です。
- 従来の種子消毒剤と異なる防除メカニズムで、高い防除効果を示します。
- 有効成分が微生物であるため、本剤に対する耐性菌は発生しません。
- 環境に対する負担が少ない環境保全型の防除剤です。
- 薬害の心配が無いので、漬種前の浸漬処理から催芽時の浸漬処理までの作業の都合に合わせてどの時期でも利用できます。
- JAS法に適合し、農薬成分としてカウントされませんので、有機栽培・特別栽培農作物でも使用可能です。

適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数又は使用量	使用時期	使用回数	使用方法	バチルスシンプレクスを含む農薬の総使用回数
稲	もみ枯細菌病 苗立枯細菌病	200倍	浸種前～催芽時	―	24時間種子浸漬	―
		乾燥種子重量の1%	浸種前		種子粉衣（湿粉衣）	

使用方法

- 化学農薬との混用処理
  - ・【薬剤調製】種籾と同量～2倍量（容積比）の水に所定量のモミホープ水和剤と混用可能な化学農薬を加え、薬剤を調製します。
  - ・【薬剤浸漬】塩水洗・水洗いし、袋詰した種籾をこの薬液に24時間浸漬します。（薬液中でよく袋をゆすること）
  - ・【浸種（予浸）】薬液より種籾を取り出しよく切って、風乾せず直ちに2倍量（容積比）の水に静かに浸種します。

- 化学農薬との近接処理
  - ・【化学農薬処理】始めに袋詰した種籾を近接可能な化学農薬の所定の方法に従って処理します。その後、種籾に2倍量（容積比）の水に浸漬します。
  - ・【モミホープ処理】所定日数後、種籾と同量（容積比）の水に調製したモミホープ水和剤の薬液に24時間浸漬処理します（薬液中で袋をよくゆすり、浸漬後は風乾しないこと）。水を交換する場合には、静かに行います。

使用上の注意事項

- 本剤を希釈する場合は、所定量の水に本剤を少しずつ投入して希釈液を調製して下さい。
  一度に多量の本剤を投入すると、ダマを生じる場合があるので注意して下さい。
- 本剤の有効成分は生菌です。開封後は全て使い切って下さい。
- 種子消毒を行った後は、水洗せずに播種して下さい。
- 種子消毒を行った後は、風乾しないで下さい。
- 粉衣処理を行う場合は、付着をよくする為、予め種子を湿らせ粉衣して下さい。
- 本剤は他剤と混用すると十分に効果が発揮されない場合があるので、注意して下さい。特に、チウラム、スターナを含む薬剤とは混用しないで下さい。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等の関係機関の指導を受けて下さい。

安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないように注意して下さい。
  眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けて下さい。
- 使用の際は、農薬用マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用して下さい。
- 作業時に着用していた衣服等は、他のものを分けて洗濯して下さい。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触を避けて下さい。
- 夏期高温時の使用は避けて下さい。

貯蔵上の注意

- 直射日光を避け、なるべく低温（10℃以下）で乾燥した場所に密閉して保管して下さい。
- 一旦開封した袋は、使い切って下さい。

微生物土壌改良材

微生物土壌改良材

政令指定 VA 菌根菌*

Drキンコン™

基本データ

包　　装：1kg×4袋/ケース

特　　長

- 本資材に含まれる有用微生物のVA菌根菌が作物の根に共生し、根張りを良くして養水分の吸収可能範囲を広げます。
- 特にリン酸を効率よく作物に供給し、ミネラル欠乏症の改善が期待できます。
- 乾燥・土壌障害等に対する抵抗力を高め、健苗の育成に役立ちます。
- 本資材のVA菌根菌は作物の根と共に生きますので、作の最終まで働きます。

対象作物

- 野菜類（アカザ科、アブラナ科等を除く）

使用方法　いずれかの時期に1回お使い下さい。

定　植　時	苗の底部(根)に株当り1～4g「根部処理」、または「植穴処理」
仮　植　時	苗の底部(根)に株当り1～2g「根部処理」、または「植穴処理」
播　種　時	1～5kg/育苗土500ℓの割合で土壌混和
	育苗箱の場合、10～20g/箱で処理

使用上の注意事項

- 規定の使用方法、使用量を守ってお使い下さい。
- 本資材が作物の根に直接触れるよう処理して下さい。
- ベンレート・トップジンMはVA菌根菌の生育に影響があります。これらの殺菌剤の土壌処理は避けて下さい。
- 土壌消毒をした場合は完全にガス抜きをした上でお使い下さい。
- リン酸含有量の極端に高い土壌に施用しても、効果の発現が期待できないことがあります。
- アブラナ科・アカザ科植物等には、効果が確認されていません。

保存上の注意

- 冷暗所に保存して下さい。
- 本資材は微生物資材ですので、できるだけ早く使用して下さい。
- 開封後は資材を残さず使い切って下さい。

＊地力増進法の定める指定土壌改良資材として政令指定されています。

微生物土壌改良材

政令指定 VA 菌根菌*

ネギ用Drキンコン™ super

基本データ

包　　装：10kg×2袋/ケース

特　　長

- 本資材に含まれる有用微生物のVA菌根菌が作物の根に共生し、根張りを良くして養水分の吸収可能範囲を広げます。
- 特にリン酸を効率よく作物に供給し、ミネラル欠乏症の改善が期待できます。
- 本資材に含まれる有用微生物は、ユリ科作物で特に効果を発揮するものを選抜したVA菌根菌です。
- 乾燥・土壌障害等に対する抵抗力を高め、健苗の育成に役立ちます。
- 本資材のVA菌根菌はユリ科作物の根と共に生きますので、作の最終まで働きます。

対象作物

- ねぎ、にら、アスパラガス

使用方法　いずれかの時期に1回お使い下さい。

定植時	10～20Kg/10aの割合で定植溝にスジ状処理
	チェーンポットに処理する場合は、「ひっぱりくん」セット後、苗の上から150～200g散布
播種時	苗床にスジ状に播種する場合、10kg/2～3aの割合で播種溝にスジ状処理
	苗床にバラマキする場合、10～20kg/2～3aの割合で土壌混和（表層5cm）
	ペーパーポット育苗の場合、1枚のポット当たり150～300gを用土（約4ℓ）に混合
土入れ・土寄せ	初回土入れ時に、10～20kg/10aの割合で株元にスジ状処理

使用上の注意事項

- 規定の使用方法、使用量を守ってお使い下さい。
- 本資材が作物の根に直接触れるよう処理して下さい。
- ベンレート・トップジンMは菌根菌の生育に影響があります。これらの殺菌剤の土壌処理は避けて下さい。
- 土壌消毒をした場合は完全にガス抜きをした上でお使い下さい。
- 有機リン酸含有量の極端に高い土壌に施用しても、効果の発現が期待できないことがあります。

保存上の注意

- 冷暗所に保存して下さい。
- 本資材は生きた微生物資材ですので、できるだけ早く使用して下さい。
- 開封後は資材を残さず使い切って下さい。

＊地力増進法の定める政令指定土壌改良資材として指定されています。

微生物土壌改良材

政令指定 VA 菌根菌*

イチゴ用Drキンコン™ super

基本データ

包　　装：5kg×4袋/ケース

特　　長

- 本資材に含まれる有用微生物のVA菌根菌が作物の根に共生し、根張りを良くして養水分の吸収可能範囲を広げます。
- 特にリン酸を効率よく作物に供給し、ミネラル欠乏症の改善が期待できます。
- 本資材に含まれる有用微生物は、バラ科作物で特に効果を発揮するものを選抜したVA菌根菌です。
- 乾燥・土壌障害等に対する抵抗力を高め、健苗の育成に役立ちます。
- クラウン充実・開花促進・樹勢向上が期待できます。
- 本資材のVA菌根菌はバラ科作物の根と共に生きますので、作の最終まで働きます。

対象作物

- いちご

使用方法　いずれかの時期に1回お使い下さい。

定　植　時	植　穴　処　理：植穴に本資材を根に直接触れるよう約3g投入
	スジまき処理：畝に本資材をスジまきし、植穴を掘った後、スジまきした本資材が株あたり約3g根に直接触れるよう苗を植えつけ
仮　植　時	植穴ごとに１つかみ（約3g）を、根に直接触れるよう処理
育　苗　時	5kg/育苗土500ℓの割合で土壌混和

使用上の注意事項

- 規定の使用方法、使用量を守ってお使い下さい。
- 本資材が作物の根に直接触れるよう処理して下さい。
- ベンレート・トップジンMはVA菌根菌の生育に影響があります。これらの殺菌剤の土壌処理は避けて下さい。
- 土壌消毒をした場合は完全にガス抜きをした上でお使い下さい。
- リン酸含有量の極端に高い土壌に施用しても、効果の発現が期待できないことがあります。

保存上の注意

- 冷暗所に保存して下さい。
- 本資材は微生物資材ですので、できるだけ早く使用して下さい。
- 開封後は資材を残さず使い切って下さい。

＊地力増進法の定める指定土壌改良資材として政令指定されています。

微生物土壌改良材

政令指定 VA 菌根菌*

バイオポンプ®-P

基本データ

包　　装：1kg×10袋/ケース

特　　長

- 本資材に含まれる有用微生物のVA菌根菌が作物の根に共生し、根張りを良くして養水分の吸収可能範囲を広げます。
- 特にリン酸を効率よく作物に供給し、ミネラル欠乏症の改善が期待できます。
- 乾燥・土壌障害等に対する抵抗力を高め、健苗の育成に役立ちます。
- 本資材のVA菌根菌は作物の根と共に生きますので、作の最終まで働きます。

対象作物

- 野菜類（アカザ科、アブラナ科等を除く）

使用方法　いずれかの時期に1回お使い下さい。

定　植　時	苗の底部（根）に株当り2～6g「根部処理」、または「植穴処理」
仮　植　時	苗の底部（根）に株当り2～4g「根部処理」、または「植穴処理」
播　種　時	10kg/育苗土500ℓの割合で土壌混和
	育苗箱の場合、10～20g/箱で処理

使用上の注意事項

- 規定の使用方法、使用量を守ってお使い下さい。
- 本資材が作物の根に直接触れるよう処理して下さい。
- ベンレート・トップジンMはVA菌根菌の生育に影響があります。これらの殺菌剤の土壌処理は避けて下さい。
- 土壌消毒をした場合は完全にガス抜きをした上でお使い下さい。
- リン酸含有量の極端に高い土壌に施用しても、効果の発現が期待できないことがあります。
- アブラナ科・アカザ科植物等には、効果が確認されていません。

保存上の注意

- 冷暗所に保存して下さい。
- 本資材は微生物資材ですので、できるだけ早く使用して下さい。
- 開封後は資材を残さず使い切って下さい。

＊地力増進法の定める指定土壌改良資材として政令指定されています。

微生物土壌改良材

ツインガード®

基本データ

包　　装：5kg×2袋/ケース

特　　長

- 本資材に含まれる有用微生物のVA菌根菌とグリオグラディウム属菌の2つの働きで、根の健全な生育を助けます。
- VA菌根菌が作物の根に共生することで、養水分の吸収可能範囲を広げ、肥効を高めます。
- グリオグラディウム属菌が作物の根の表面で力強く繁殖することで、健全な白い根を保ち、根張りが向上します。

対象作物と使用方法

作　物　名	使　用　方　法	
	播　種　時	鉢上げ・定植時
トマト な　す きゅうり メロン すいか	5kg/培土200ℓ	5g/株
いちご	–	
ね　ぎ	播種後、覆土前に150g/トレイを表層処理	スジ状処理、20kg/10a
キャベツ はくさい レタス	播種後、20～50g/トレイを表層処理	–
えだまめ そらまめ	5kg/培土100ℓ	5g/株（植穴）
ヤマトイモ しょうが	–	スジ状処理、20～25kg/10a
切　花 （キク・ストック等）	整地前表層処理　5kg/2a	–

使用上の注意事項

- 規定の使用方法、使用量を守ってお使い下さい。
- 本資材が作物の根に直接触れるよう処理して下さい。
- 土壌消毒した場合は、完全にガス抜きをした上でお使い下さい。
- ベンレート、トップジンMは根圏微生物、共生菌の働きに影響を与える恐れがありますので、これらの殺菌剤の土壌処理との併用はできません。
- リン酸含有量の極端に高い土壌に施用しても、効果の発現が期待できないことがあります。

保存上の注意

- 冷暗所に保存して下さい。
- 本資材は微生物資材ですので、できるだけ早く使用して下さい。
- 開封後は資材を残さず使い切って下さい。

微生物土壌改良材

分解ヘルパー™

（微生物相改善資材）

基本データ

保 証 成 分：窒素全量（3%）、りん酸全量（3%）、加里全量（1%）
主な含有物：有効菌群（バチルス菌など）、植物油かす、乾燥菌体、尿素、硫安、過石
包　　装：15kg/袋

特　　長

- 有機物分解効果を持つバチルス菌を生きたままの状態で含んだ資材です。
- 残さを分解することで、土壌消毒する際にムラが発生することを減らします。また素早く次の作を開始できます。
- 分解された残さは、肥料成分として次の作で作物に活用されます。
- 土壌中の微生物相を改善し、フカフカの土を作ります。

使用方法と効果

使用効果	使用量	使用方法
稲わら・野菜等残さの分解促進	3〜4袋（45〜60kg）/10a	散布、すき込み
緑肥の腐熟促進		
堆肥の発酵促進	3〜4袋（45〜60kg）/ｔ堆肥	散布、混ぜ込み
太陽熱消毒との併用	8〜10袋（120〜150kg）/10a	太陽熱消毒前に散布、すき込み
土壌消毒後の微生物相改善	8〜10袋（120〜150kg）/10a	土壌消毒後ガス抜き後に散布、すき込み

使用上の注意事項

- 規定の使用方法、使用量を守ってお使いください。
- 石灰窒素との併用や、土壌殺菌剤との同時使用はさけてください。

保存上の注意

- 多湿を避けて保管し、開封後は速やかに使用してください。

じゃがいも用

畑の精®

基本データ

包　　装：20ℓ/袋

特　　長

- 本資材は、有用糸状菌グリオグラディウム属菌の胞子を含む天然物資材です。
- グリオグラディウム属菌が作物の根の表面で力強く繁殖することで、健全な白い根を保ち、根張りが向上します。
- 連作障害の軽減にもつながります。

対象作物

- じゃがいも

使用方法

- 種いもの植え付け前に、100～300ℓ/10aの割合で土壌混和。

使用上の注意事項

- 規定の使用方法、使用量を守ってお使い下さい。
- 必ず本圃に使用して下さい。予め堆肥などに混和しておくと有効微生物の作用が低減します。
- 太陽光の影響を避けるため、まいた後は早めにすき込んで下さい。
- 圃場が極端に乾燥している場合は、有効微生物の活動を促すために散水すると効果的です。
- ガス剤と併用する場合、十分にガス抜きした後に使用して下さい。
- ベンレート・トップジンMはグリオ菌の生育に影響します。これらの殺菌剤の土壌処理は避けて下さい。

保存上の注意

- 冷暗所に保存して下さい。
- 本資材は微生物資材ですので、できるだけ早く使用して下さい。
- 開封後は資材を残さず使い切って下さい。

微生物土壌改良材

ながいも用

アグリみらい™

基本データ

包　　装：15kg

特　　長

- 本資材は、有用糸状菌グリオグラディウム属菌の胞子を含む天然物資材です。
- グリオグラディウム属菌がながいもの根の表面で力強く繁殖することで、健全な白い根を保ち、根張りが向上します。
- 連作障害の軽減にもつながります。

対象作物

- ながいも

使用方法

- 10a当たり本資材60kgを植え溝に施用し、穴もみする（植付け7日以上前）

使用上の注意事項

- 規定の使用方法、使用量を守ってお使い下さい。
- 土壌消毒した場合は、完全にガス抜きをした上でお使い下さい。
- ベンレート、トップジンMは根圏微生物、共生菌の働きに影響を与える恐れがありますので、これらの殺菌剤の土壌処理との併用はできません。
- 施用により発芽や発根が若干遅れる場合がありますが、長芋の生育に影響ありません。

保存上の注意

- 冷暗所に保存して下さい。
- 本資材は微生物資材ですので、できるだけ早く使用して下さい。
- 開封後は資材を残さず使い切って下さい。

微生物土壌改良材

えだまめ用

Dr豆太郎TM

基本データ

包　　装：10kg袋

特　　長

- 本資材は、有用微生物であるアゾスピリラム菌と根粒菌を含んだ微生物土壌改良材です。
- 根粒の着きが良くなります。
- 根張りが良くなります。

対象作物

- えだまめ

使用方法

いずれかの時期に1回お使い下さい。

定　植　時	定植ラインに苗1本当り1g程度の割合ですじまき処理（苗1本あたり1ｇ程度使用）
育　苗　時	整地した苗床表面に20m²10Kgの割合で均一散布。

使用上の注意事項

- 規定の使用方法、使用量を守ってお使い下さい。
- 窒素肥料が多すぎると根粒が着きにくくなります。適切な施肥管理をして下さい。
- 本資材を使用したすぐ後の細菌用殺菌剤は使用しないで下さい。種子粉衣の糸状菌殺菌剤との併用は問題ありません。

保存上の注意

- 冷暗所に保存して下さい。
- 本資材は微生物資材ですので、できるだけ早く使用して下さい。
- 開封後は資材を残さず使い切って下さい。

天敵農薬

捕食性ダニ製剤

農林水産省登録　第 22894 号

ミヤコトップ

（ミヤコカブリダニ剤）

基本データ

有 効 成 分：ミヤコカブリダニ　2000頭/250mℓ
学　　名：*Neoseiulus californicus*　McGregor
性　　状：淡褐色細粒
その他成分：鉱物質（石綿不検出）
包　　装：250mℓ　ポリエチレンボトル

特　　長

- 本剤は、ハダニ類の捕食性天敵であるミヤコカブリダニをボトルに封入した捕食性ダニ剤です。
- ミヤコカブリダニの定着と生育に最適な環境を整え、ハダニ類の発生前および発生初期に本剤を使用すると、ミヤコカブリダニは長期間に渡り生存できます。
- ミヤコカブリダニはハダニ類を探索し、ハダニ類の成虫や若虫、幼虫、卵を捕食します。
- ハダニ類がいないときは、花粉などを餌として生活し、ハダニ類を待ち伏せします。
- 捕食性の天敵なので、害虫の薬剤抵抗性の発達の有無に関係なく、効果があります。
- 放飼方法が簡便であり、労力の削減につながります。
- 使用回数に制限がなく、農薬の使用回数にカウントされませんので、特別栽培などに最適です。

ミヤコカブリダニについて

捕食範囲	すべての発育ステージのハダニ類
成虫の大きさ・色	雌：約0.35mm、雄：約0.28mm 体色：乳白色。ハダニ類を捕食すると胴体部が淡赤色～オレンジ色
活動最適温度	15～30℃
発育限界温度	10℃以下、33℃以上
卵から成虫までの日数	25℃：約5.5日
成虫期間	約20日
総産卵数	約50～60卵
成虫の捕食数	1日当りハダニ卵約11個、（第一）若虫約20頭、あるいは成虫5頭

適用害虫の範囲及び使用方法

作物名	適　用 病害虫名	使用量 （10a）	使用時期	使用回数	使用方法	ミヤコカブリダニを含む総使用回数
野菜類 （施設栽培）	ハダニ類	2,000～ 6,000頭	発生初期	ー	放飼	ー

放飼方法

＊放飼を行う前の注意点

- 殺虫剤及び一部の殺菌剤には、本製品天敵に強く影響するものがありますので、放飼を行う前に本天敵への影響日数等確認を行って下さい（巻末参考資料を参照）。
- 放飼を行う際、本剤ボトルの入り口などで天敵が偏在していることがあります。放飼前に10～20分ほどボトルを横に寝かせ、放飼直前にヨコにして、10～20回、タテにして10～20回ゆっくりと回転させて、ボトル内の天敵を均一にして下さい。放飼中もこの作業を時々行って下さい。

＊放飼を行う際は

- ボトル内の天敵を均一にした後、作物上からこぼれないように、内容物を作物上に落としていく感覚で放飼して下さい。一度内容物をボトルのキャップに移し、キャップから作物上に散布すると放飼が行いやすいです。
- 放飼は圃場全体に均一に、また害虫が発生しやすい場所にあらかじめ多めに行うと効果的です。

導入のタイミング

- ハダニ類の発生前、および、発生初期（１～２か所の時）から導入を開始して下さい。
- ハダニ類がいないときは、花粉などを餌として生活し、ハダニ類を待ち伏せします。
- 既にハダニ類が多発している場合は、ミヤコカブリダニに影響の少ない殺ダニ剤を処理してから導入して下さい。

使用上の注意事項

- 本剤はハダニ類を捕食する天敵ミヤコカブリダニを含有する製剤です。
- ミヤコカブリダニの生存日数は短いので、入手後直ちに使用し、使い切って下さい。
- 容器中でミヤコカブリダニが偏在していることがあるので、使用の際には容器を横にしてゆっくりと回転させた後ハダニ類が発生している葉上に容器から少量に分けて放飼して下さい。
- ハダニ類の生育密度が高くなってからの放飼は十分な効果が得られないことがあるので、ハダニ類がまだ低密度で散見された時点、あるいは、発生前から放飼をして下さい。なお、ハダニ類の発生は均一ではないので、ハダニ類の密度の高い場所へ重点的に放飼して下さい。
- 天敵としてミヤコカブリダニが有効な密度（ミヤコカブリダニ１頭当りハダニ類が10～30頭以下を保つため、１週間間隔で数回放飼して下さい。
- 本剤の使用中は、日中の施設内の平均室温を15～30℃に保って下さい。
- ミヤコカブリダニの活動に影響を及ぼす恐れがあるので、本剤の放飼前後の薬剤散布は避けて下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けて下さい。

- 容器、空袋等は圃場などに放飼せず、環境に影響のないよう適切に処理して下さい。

保存上の注意

- 本剤は天敵生物であり、生存日数が短いので、入手後直ちに使用し、保存しないで下さい。

捕食性ダニ製剤

農林水産省登録　第 20852 号

チリトップTM

（チリカブリダニ剤）

チリトップ TM は株式会社アグリ総研の登録商標です。

基本データ

有効成分：チリカブリダニ　1000頭/250㎖
学　　名：*Phytoseiulus persimilis*　Athias-Henriot
性　　状：淡褐色粒状
その他成分：鉱物質（石綿不検出）
包　　装：500㎖ポリエチレンボトル（2000頭入り）

特　　長

- 本剤は、ハダニ類の捕食性天敵であるチリカブリダニをボトルに封入した捕食性ダニ製剤です。
- チリカブリダニの定着と生育に最適な環境を整え、ハダニ類の発生初期に本剤を使用すると長期間に渡りその発生を抑制します。
- 捕食性天敵なので、害虫の薬剤抵抗性の発達の有無に全く関係なく、効果があります。
- 放飼方法が簡便であり、労力の削減につながります。
- 使用回数に制限がなく、農薬の使用回数にカウントされませんので、特別栽培などに最適です。

チリカブリダニについて

捕食範囲	すべての発育ステージのハダニ類
成虫の大きさ・色	雌：約0.5mm　雄：約0.35mm　体色：オレンジ色
活動最適温度	20～28℃
発育限界温度	12℃以下、32℃以上
卵～成虫までの日数	25℃：約4.6日
成虫期間	約48日
総産卵数	約80卵
成虫の捕食数	1日当りハダニ卵か幼虫を約20個、第一若虫約13頭、あるいは成虫約5頭
重要な特徴	高湿度（75%）を好みます。

適用害虫の範囲及び使用方法

作物名	適　用 病害虫名	使用量 （10a）	使用時期	使用回数	使用方法	チリカブリダニを含む農薬の総使用回数
野菜類 （施設栽培）	ハダニ類	6000頭	発生初期	ー	放飼	ー

放飼方法

＊放飼を行う前の注意点

- 殺虫剤及び一部の殺菌剤には、本製品天敵に強く影響するものがありますので、放飼を行う前に本天敵への影響日数等確認を行って下さい（巻末参考資料を参照）。
- 放飼を行う際、本剤ボトルの入り口などで天敵が偏在していることがあります。放飼前に10～20分ほどボトルを横に寝かせ、放飼直前にヨコにして10～20回、タテにして10～20回ゆっくりと回転させて、ボトル内の天敵を均一にして下さい。放飼中もこの作業を時々行って下さい。

＊放飼を行う際は

- ボトル内の天敵を均一にした後、作物上からこぼれないように、内容物を作物上に落としていく感覚で放飼して下さい。一度内容物をボトルのキャップに移し、キャップから作物上に散布すると放飼が行いやすいです。
- 放飼は圃場全体に均一に、また害虫が発生しやすい場所にはあらかじめ多めに行うと効果的です。

導入のタイミング

- ハダニ類の発生が、1～2か所の時から導入を開始して下さい。
- 既にハダニ類が多発生している場合は、チリカブリダニに影響の少ない殺ダニ剤を処理してから導入して下さい。

使用上の注意事項

- 本剤はハダニ類を捕食する天敵チリカブリダニを含有する製剤です。
- チリカブリダニの生存日数は短いので、入手後直ちに使用し、使い切って下さい。
- 容器中でチリカブリダニが偏在していることがあるので、使用の際には容器を横にしてゆっくりと回転させた後ハダニ類が発生している葉上に容器から少量に分けて放飼して下さい。
- ハダニ類の生息密度が高くなってからの放飼は十分な効果が得られないことがあるので、ハダニ類がまだ低密度で散見された時点で最初の放飼をして下さい。なお、ハダニ類の発生は均一ではないので、ハダニ類密度の高い場所へ重点的に放飼して下さい。
- 天敵としてチリカブリダニが有効な密度（チリカブリダニ1頭当たりハダニ類が30頭以下）を保つため、ハダニ類発生初期より約1週間間隔で数回放飼して下さい。
- 本剤の使用中は、日中の施設内の平均室温を17～30℃に保って下さい。
- チリカブリダニの活動に影響を及ぼす恐れがあるので、本剤の放飼前後の薬剤散布は避けて下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けて下さい。
- 容器、空袋等は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理して下さい。

保存上の注意

- 本剤は天敵生物であり、生存日数が短いので、入手後直ちに使用し、保存しないで下さい。

捕食性ダニ製剤

農林水産省登録　第 20851 号

メリトップTM

（ククメリスカブリダニ剤）

メリトップ TM は株式会社アグリ総研の登録商標です。

基本データ

有 効 成 分：ククメリスカブリダニ　50000頭/缶
学　　名：*Amblyseius cucumeris*（Oudemans）
性　　状：淡褐色細片
その他成分：植物片、ケナガコナダニ等
包　　装：900㎖　クラフト加工紙缶

特　　長

- 本剤は、アザミウマ類の捕食性天敵であるククメリスカブリダニをボトルに封入した捕食性ダニ製剤です。
- アザミウマ類の一齢幼虫の他、ダニ類や花粉等も摂食することができます。アザミウマ類の発生がなくとも、これらの餌が施設圃場内に存在すれば、本製品天敵を放飼し定着させることができます。
- ククメリスカブリダニの定着と生育に最適な環境を整え、アザミウマ類の発生初期に本剤を使用すると長期間に渡りその発生を抑制します。
- 捕食性天敵なので、害虫の薬剤抵抗性の発達の有無に全く関係なく、効果があります。
- 放飼方法が簡便であり、労力の削減につながります。
- 使用回数に制限がなく、農薬の使用回数にカウントされませんので、特別栽培などに最適です。

ククメリスカブリダニについて

捕食範囲	アザミウマ類の一齢幼虫、ダニ類や花粉等
成虫の大きさ・色	約0.4mm　体色：ベージュ～ピンク色
活動最適温度	20～25℃
発育限界温度	約9～10℃以下
卵～成虫までの日数	20℃：約12日
成虫期間	約20日
総産卵数	約35卵
成虫の捕食数	1日当り雌成虫一頭でミナミキイロアザミウマ一齢幼虫を1.3頭
重要な特徴	雑食性。湿度が高い場所を好みます。

適用害虫の範囲及び使用方法

作物名	適　用 病害虫名	使用量	使用時期	使用回数	使用方法	ククメリスカブリダニを含む農薬の総使用回数
野菜類 （施設栽培）	アザミウマ類	100頭/株	発生初期	ー	放飼	ー

放飼方法

＊放飼を行う前の注意点

- 殺虫剤及び一部の殺菌剤には、本製品天敵に強く影響があるものがありますので、放飼を行う前に本天敵への影響日数等確認を行って下さい（巻末参考資料を参照）。
- 放飼を行う際、本剤ボトルの入り口などで天敵が偏在していることがあります。放飼前に10～20分ほどボトルを横に寝かせ、放飼直前にヨコにして10～20回、タテにして10～20回ゆっくりと回転させて、ボトル内の天敵を均一にして下さい。放飼中もこの作業を時々行って下さい。

＊放飼を行う際は

- 本剤容器を軽く一振りした量は、0.4～0.5g（約100頭）になりますので、これを目安に散布を行って下さい。
- ボトル内の天敵を均一にした後、作物上からこぼれないように、内容物を作物上に落としていく感覚で放飼して下さい。
- 放飼は圃場全体に均一に、また害虫が発生しやすい場所にはあらかじめ多めに放飼を行うと効果的です。
- 湿度の高い時に放飼して下さい。「カップ放飼」を行うと、圃場での定着がさらに高まります。

＊カップ放飼とは

- 籾殻や米ぬか、ふすま等と、本剤内容物を入れた紙コップ等を作物の上部に設置して放飼する方法です。籾殻や米ぬか、ふすまがククメリスカブリダニの増殖場所となり、圃場へ定着しやすくなります。

導入のタイミング

- 定植直後のアザミウマ類の発生が見られないときから導入を開始して下さい。
- 既にアザミウマ類が発生している場合は、ククメリスカブリダニに影響の少ない殺虫剤を処理してから導入して下さい。

使用上の注意事項

- 本剤はアザミウマ類を捕食する天敵ククメリスカブリダニを封入した製剤です。
- ククメリスカブリダニの生存日数は短いので、入手後直ちに使用し、使い切って下さい。
- 容器中でククメリスカブリダニが偏在していることがあるので、使用の際には容器を横にしてゆっくりと回転させて均一に混在させた後に、株元もしくは葉上へ少量に分けて圃場全面に放飼して下さい。
- 一株当たりの使用量（100頭）は容器を軽く一振りした量（約0.4～0.5g）で確保できるので、それを目安に放飼して下さい。

- アザミウマ類の生息密度が高くなってからの放飼では十分な効果が得られないことがあるので、アザミウマ類が未発生もしくは低密度で散見された時点で最初の放飼をして下さい。
- 定植時またはアザミウマ類の発生初期より約1週間間隔で、ククメリスカブリダニの定着が確認されるまで数回放飼して下さい。
- 本剤の使用中は、日中の施設内の平均室温を15～30℃に保って下さい。
- ククメリスカブリダニの活動に影響を及ぼす恐れがあるので、本剤の放飼前後の薬剤散布は避けて下さい。
- ククメリスカブリダニの餌として封入されているケナガコナダニは、農作物を加害することがあるので、十分注意して使用して下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けて下さい。
- 容器、空袋等は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理して下さい。

使用時安全上の注意事項

- アレルギー体質の人は取り扱いに十分注意して下さい。

保存上の注意

- 本剤は天敵生物であり、生存日数が短いので、入手後直ちに使用し、保存しないで下さい。

捕食性昆虫製剤

農林水産省登録　第21545号

リクトップ

（タイリクヒメハナカメムシ剤）

基本データ

有効成分：タイリクヒメハナカメムシ成虫　100頭/ボトル，500頭/ボトル
学　　名：*Orius strigicollis* Poppius
性　　状：淡褐色粒状
その他成分：鉱物質（石綿不検出）
包　　装：100mℓ（100頭入り），500mℓ（500頭入り）　硬質ポリエチレンボトル

特　　長

- 本剤は、アザミウマ類の捕食性天敵であるタイリクヒメハナカメムシをボトルに封入した捕食性昆虫製剤です。
- アザミウマ類以外にもダニ類、アブラムシ類等を捕食し、植物花粉も摂食します。アザミウマ類の発生がなくても、これらの餌が施設圃場内に存在すれば、本製品天敵を放飼し定着させることができます。
- タイリクヒメハナカメムシの定着と生育に最適な環境を整え、アザミウマ類の発生初期に本剤を使用すると長期間に渡りその発生を抑制します。
- 捕食性天敵なので、害虫の薬剤抵抗性の発達の有無に全く関係なく、効果があります。
- 放飼方法が簡便であり、労力の削減につながります。
- 使用回数に制限がなく、農薬の使用回数にカウントされませんので、特別栽培などに最適です。

タイリクヒメハナカメムシについて

捕食範囲	アザミウマ類、アブラムシ類、ダニ類や花粉等
成虫の大きさ	約1.7～2.1mm
活動最適温度	25～30℃
発育限界温度	11～12℃以下
卵～成虫までの日数	雌：20℃で29日、25℃で16日
生存日数	25℃：14～30日
総産卵数	25℃：77.4卵
成虫の捕食数	1日当りアザミウマ成虫を約10頭
重要な特徴	比較的高温で繁殖力が強い天敵です。

適用害虫の範囲及び使用方法

作物名	適　用 病害虫名	使用量 （10a）	使用時期	使用回数	使用方法	タイリクヒメハナカメムシを含む農薬の総使用回数
野菜類 （施設栽培）	アザミウマ類	1000～ 3000頭	発生初期	ー	放飼	ー

放飼方法

＊放飼を行う前の注意点

- 殺虫剤及び一部の殺菌剤には、本製品天敵に強く影響があるものがありますので、放飼を行う前に本天敵への影響日数等確認を行って下さい（巻末参考資料を参照）。
- 本製品天敵の成虫に影響がなくても、次世代の産卵数が減少する殺虫剤がありますので、確認して下さい。
- 既にアザミウマ類が発生している場合は、タイリクヒメハナカメムシに影響の少ない殺虫剤を処理してから導入して下さい。

＊放飼を行う際は

- ボトルの蓋を開き、内容物を作物上に落としていく感覚で放飼して下さい。一度内容物をボトルのキャップに移し、キャップから作物上に散布すると放飼が行いやすいです。
- タイリクヒメハナカメムシの産卵植物である「ニジノタマ」や、餌である「ガ・ラン」を利用すると、本製品天敵の圃場への定着率が高まります。また、これら資材を利用する卵放飼法の活用もお勧めします。

導入のタイミング

- 作物上でアザミウマ類を確認、またはアザミウマ類の食害痕を確認した時放飼して下さい。

使用上の注意事項

- 本剤はアザミウマ類を捕食する天敵タイリクヒメハナカメムシを封入した製剤です。
- タイリクヒメハナカメムシの生存日数は短いので、入手後直ちに使用し、使い切って下さい。
- 放飼にあたっては、緩衝剤ごと葉上に静置して下さい。なお、容器でタイリクヒメハナカメムシが偏在していることがあるので、使用の際には容器を軽くたたいて緩衝剤と均一に混在させて下さい。
- できるだけ均一に放飼することが原則ですが、アザミウマ類の発生に偏りがある場合は、密度の高いところに重点的に放飼を行って下さい。
- アザミウマ類の生息密度が高くなってからの放飼では十分な効果が得られないことがあるので、低密度で散見された時点で最初の放飼をして下さい。
- アザミウマ類の発生初期より1週間間隔で、タイリクヒメハナカメムシの定着が確認されるまで数回放飼して下さい。
- 本剤の使用中は、日中の施設内の平均室温を25～30℃に保って下さい。
- タイリクヒメハナカメムシ成虫は冬期の休眠は少ないとされているが、厳冬期での捕食活動は低下するので、放飼は春期から初冬期までに行って下さい。

- タイリクヒメハナカメムシの活動に影響を及ぼす恐れがあるので、本剤の放飼前後の薬剤散布は避けて下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けて下さい。
- 容器、空袋等は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理して下さい。

保存上の注意

- 本剤は天敵生物であり、容器内での生存日数が短いので、入手後直ちに使用し、保存しないで下さい。

捕食性昆虫製剤

農林水産省登録　第 23357 号

テントップ™
（ナミテントウ剤）

テントップ ™ は株式会社アグリ総研の登録商標です。

基本データ

有 効 成 分：ナミテントウ２齢幼虫（200頭/600㎖）
学　　名：*Harmonia axyridis*（Pallas）
性　　状：淡褐色細片および黒色幼虫
その他成分：植物片
包　　装：ナミテントウ2齢幼虫200頭／カップ

特　　長

- 本剤は、アブラムシ類の捕食性天敵であるナミテントウをカップに封入した捕食性昆虫製剤です。
- アブラムシ類の発生初期に使用することで、長期間に渡りその発生を抑制します。
- 捕食性天敵なので、害虫の薬剤抵抗性の発達の有無に全く関係なく、効果があります。
- 本剤のナミテントウ2齢幼虫は、成虫になっても飛翔不能で遠くに移動することができないため、多くの野菜類で高い防除効果が期待できます。
- 放飼方法が簡便であり、労力の削減につながります。
- 使用回数に制限がなく、農薬の使用回数にカウントされませんので、特別栽培などに最適です。

ナミテントウについて

捕食範囲	主としてアブラムシ類（多種にわたるアブラムシ類やカイガラムシ類）
成虫の大きさ	4.7～8.2mm
活動最適温度	20～25℃
発育限界温度	約10℃以下、約34℃以上
卵～成虫までの日数	30℃：約14.8日
成虫期間	10～120日（休眠性がある）
総産卵数	約3800卵
成虫の捕食数	1日当り約20頭

適用害虫の範囲及び使用方法

作物名	適　用 病害虫名	使用量	使用時期	使用回数	使用方法	ナミテントウを含む農薬の総使用回数
野菜類 （施設栽培）	アブラムシ類	10～13頭/m^2	発生初期	ー	放飼	ー

放飼方法

＊放飼を行う前の注意点

- 殺虫剤及び一部の殺菌剤には、本製品天敵に強く影響があるものがありますので、放飼を行う前に本天敵への影響日数等確認を行って下さい（巻末参考資料参照）。
- 放飼を行う際は、本剤カップ内に天敵が偏在していることがあります。カップを軽くたたいて、容器内の天敵を均一にして下さい。

＊放飼を行う際は

- カップ内の天敵を均一にした後、アブラムシ発生場所付近の作物に、内容物を作物上に落としていく感覚で放飼して下さい。

導入のタイミング

- アブラムシ類の発生場所を確認した後に導入して下さい。
- コレトップ導入後ヒゲナガアブラムシ等が発生した場合、導入して下さい。

使用上の注意事項

- 本剤はアブラムシ類を捕食する天敵ナミテントウ2齢幼虫を封入した製剤です。
- 入手後直ちに使用し、使い切って下さい。
- 放飼に当っては、緩衝剤ごと葉上に静置して下さい。なお、容器内でナミテントウ2齢幼虫が偏在していることがあるので、使用の際には容器を軽くたたいて緩衝剤と均一に混在させて下さい。
- アブラムシ類の生息密度が高くなってからの放飼では十分な効果が得られないことがあるので、アブラムシ類が散見された時点で最初の放飼をして下さい。
- 天敵としてナミテントウが有効な密度を保つため、アブラムシ類の発生初期より約7～10日間隔で数回放飼して下さい。
- 本剤の使用中は、日中の施設内の平均室温を20～30℃に保って下さい。
- ナミテントウの活動に影響を及ぼす恐れがあるので、本剤の放飼前後の薬剤散布は避けて下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けて下さい。
- 容器、空袋等は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理して下さい。

保存上の注意

- 本剤は天敵生物であり、容器内での生存日数が短いので、入手後直ちに使用し、保存しないで下さい。

捕食性昆虫製剤

農林水産省登録　第 20964 号（ナミトップ）　第 21473 号（ナミトップ 20）

ナミトップ
ナミトップ20
（ナミテントウ剤）

基本データ

有 効 成 分：●ナミトップの場合
ナミテントウ成虫　100頭/カップ
●ナミトップ20の場合
ナミテントウ成虫　20頭/カップ
学　　名：*Harmonia axyridis*（Pallas）
性　　状：黒地赤紋もしくは赤地黒紋甲虫
その他成分：植物片
包　　装：●ナミトップの場合
650㎖　A-PETカップ（100頭入り）
●ナミトップ20の場合
95㎖　A-PETカップ（20頭入り）

特　　長

- 本剤は、アブラムシ類の捕食性天敵であるナミテントウをカップに封入した捕食性昆虫製剤です。
- アブラムシ類の発生初期に使用することで、長期間に渡りその発生を抑制します。
- 捕食性天敵なので、害虫の薬剤抵抗性の発達の有無に全く関係なく、効果があります。
- 本剤のナミテントウは飛翔できないため、放飼後の定着が良好（次世代成虫は飛翔可能）です。
- 本剤天敵のサイズが大きく、定着の確認がしやすいです。
- 放飼方法が簡便であり、労力の削減につながります。
- 使用回数に制限がなく、農薬の使用回数にカウントされませんので、特別栽培などに最適です。

ナミテントウについて

捕食範囲	主としてアブラムシ類（多種にわたるアブラムシ類やカイガラムシ類）
成虫の大きさ	4.7～8.2mm
活動最適温度	20～25℃
発育限界温度	約10℃以下、約34℃以上
卵～成虫までの日数	30℃：約14.8日
成虫期間	10～120日（休眠性がある）
総産卵数	約3800卵
成虫の捕食数	1日当り約20頭

適用害虫の範囲及び使用方法

作物名	適　用 病害虫名	使用量	使用時期	使用回数	使用方法	ナミテントウを含む農薬の総使用回数
野菜類 （施設栽培）	アブラムシ類	0.5～4頭/株	発生初期	ー	放飼	ー

放飼方法

＊放飼を行う前の注意点

- 殺虫剤及び一部の殺菌剤には、本製品天敵に強く影響があるものがありますので、放飼を行う前に本天敵への影響日数等確認を行って下さい（巻末参考資料参照）。
- 放飼を行う際は、本剤カップ内に天敵が偏在していることがあります。カップを軽くたたいて、容器内の天敵を均一にして下さい。

＊放飼を行う際は

- カップ内の天敵を均一にした後、アブラムシ発生場所付近の作物に、内容物を作物上に落としていく感覚で放飼して下さい。

導入のタイミング

- アブラムシ類の発生場所を確認した後に導入して下さい。
- コレトップ導入後ヒゲナガアブラムシ等が発生した場合、導入して下さい。

使用上の注意事項

- 本剤はアブラムシ類を捕食する天敵ナミテントウ成虫を封入した製剤です。
- 入手後直ちに使用し、使い切って下さい。
- 放飼に当っては、緩衝剤ごと葉上に静置して下さい。なお、容器内でナミテントウが偏在していることがあるので、使用の際には容器を軽くたたいて緩衝剤と均一に混在させて下さい。
- アブラムシ類の生息密度が高くなってからの放飼では十分な効果が得られないことがあるので、アブラムシ類が散見された時点で最初の放飼をして下さい。
- 天敵としてナミテントウが有効な密度を保つため、アブラムシ類の発生初期より約7～10日間隔で数回放飼して下さい。
- 本剤の使用中は、日中の施設内の平均室温を20～30℃に保って下さい。
- ナミテントウの活動に影響を及ぼす恐れがあるので、本剤の放飼前後の薬剤散布は避けて下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けて下さい。
- 容器、空袋等は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理して下さい。

保存上の注意

- 本剤は天敵生物であり、容器内での生存日数が短いので、入手後直ちに使用し、保存しないで下さい。

寄生性昆虫製剤

農林水産省登録　第 20885 号

コレトップTM

（コレマンアブラバチ剤）

コレトップ TM は株式会社アグリ総研の登録商標です。

基本データ

有 効 成 分：コレマンアブラバチ羽化成虫　250頭/ボトル
学　　名：*Aphidius colemani*（Viereck）
性　　状：淡褐色細片および黒色寄生蜂
その他成分：植物片
包　　装：100㎖　ポリエチレンボトル

特　　長

- 本剤は、アブラムシ類の寄生性天敵であるコレマンアブラバチをボトルに封入した寄生性昆虫製剤です。
- アブラムシ類（ヒゲナガアブラムシ類を除く）の発生初期に使用することで、長期間に渡りその発生を抑制します。
- 寄生性天敵なので、害虫の薬剤抵抗性の発達の有無に全く関係なく、効果があります。
- マミーが確認しやすく、アブラムシ防除効果が分かりやすい剤です。
- 放飼方法が簡便であり、労力の削減につながります。
- 使用回数に制限がなく、農薬の使用回数にカウントされませんので、特別栽培などに最適です。

コレマンアブラバチについて

寄生範囲	アブラムシ類
成虫の大きさ	体長：約1.7～2.2mm　体色：雌雄ともに全体的に褐色～黒褐色
活動最適温度	20～27℃
発育限界温度	約5℃以下、約30℃付近
卵～成虫までの日数	20℃：約15日
成虫期間	約6日
総産卵数（20℃）	20℃：約300卵　25℃：400卵
重要な特徴	ヒゲナガアブラムシ類などの大型のアブラムシに対しては実用的な防除効果はありません。

適用害虫の範囲及び使用方法

作物名	適　用 病害虫名	使用量 （10a）	使用時期	使用回数	使用方法	コレマン アブラバチ を含む農薬の 総使用回数
野菜類 （施設栽培）	アブラムシ類	4～8ボトル （1000～2000頭）	発生初期	ー	放飼	ー

放飼方法

＊放飼を行う前の注意点

- 殺虫剤及び一部の殺菌剤には、本製品天敵に強く影響があるものがありますので、放飼を行う前に本天敵への影響日数等確認を行って下さい（巻末参考資料参照）。
- 既にアブラムシ類が多発生している場合は、コレマンアブラバチに影響が少ない薬剤を処理してから導入して下さい。

＊放飼を行う際は

- 圃場施設内の中心に、株元など直射日光が当たらないような場所へ、本剤ボトルの蓋を開け静置します。多発している箇所がある場合、紙コップなどに小分けし発生株の株元に直接静置して下さい。
- バンカー法の活用により、長期に渡ってアブラムシ類を防除できます。

導入のタイミング

- アブラムシ類の発生が、1～2か所の時から導入して下さい。

使用上の注意事項

- 本剤はアブラムシ類に寄生する天敵コレマンアブラバチの寄生繭（マミー）および羽化成虫をボトルに封入した製剤です。
- コレマンアブラバチの生存日数は短いので、入手後直ちに使用し、使い切って下さい。
- 放飼は、アブラムシ類の発生している作物の株元で開封し、直射日光が当らない株元の地表面に7日間継続してボトルを静置しておこなって下さい。なお、コレマンアブラバチは日中に放飼すると施設の天井に集まる習性があるので夕方に放飼して下さい。
- アブラムシ類の生息密度が高くなってからの放飼では十分な効果が得られないことがあるので、アブラムシ類がまだ低密度で散見された時点で最初の放飼をして下さい。
- 天敵としてコレマンアブラバチが有効な密度（1m^{2}当たり1～2頭）を保つため、アブラムシ類の発生初期より約1週間間隔で数回放飼して下さい。
- 本剤の使用中は、日中の施設内の平均室温を20～30℃に保って下さい。
- ジャガイモヒゲナガアブラムシ等の大型アブラムシに対しては、効果が得られないので、当該アブラムシの防除を目的とした使用は避けて下さい。
- コレマンアブラバチの活動に影響を及ぼす恐れがあるので、本剤の放飼前後の薬剤散布は避けて下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けて下さい。

- 容器、空袋等は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理して下さい。

保存上の注意

- 本剤は天敵生物であり、生存日数が短いので、入手後直ちに使用し、保存しないで下さい。

寄生性昆虫製剤

農林水産省登録　第 20884 号

ヒメトップTM

（イサエアヒメコバチ剤）

ヒメトップ TM は株式会社アグリ総研の登録商標です。

基本データ

有効成分：イサエアヒメコバチ成虫　100頭/ボトル
学　　名：*Diglyphus isaea*（Walker）
性　　状：黒色寄生蜂
その他成分：ハチミツ水溶液
包　　装：100㎖　ポリエチレンボトル

特　　長

- 本剤は、ハモグリバエ類の捕食寄生性天敵であるイサエアヒメコバチをボトルに封入した製剤です。
- ハモグリバエ類の発生初期に使用することで、長期間に渡りその発生を抑制します。
- 捕食寄生性天敵なので、害虫の薬剤抵抗性の発達の有無に全く関係なく、効果があります。
- 放飼方法が簡便であり、労力の削減につながります。
- 使用回数に制限がなく、農薬の使用回数にカウントされませんので、特別栽培などに最適です。

イサエアヒメコバチについて

寄生範囲	ハモグリバエ類
成虫の大きさと特徴	約2mm
活動最適温度	20～25℃
発育限界温度	約5℃以下、約30℃以上
卵～成虫までの日数	22℃：約15.7℃
成虫期間	20℃：約32日
総産卵数	20℃：200～300卵
ホストフィーデング数	雌一頭当り約70頭

適用害虫の範囲及び使用方法

作物名	適　用 病害虫名	使用量	使用時期	使用回数	使用方法	イサエアヒメコバチを含む農薬の総使用回数
野菜類 （施設栽培）	ハモグリバエ類	2～8ボトル/10a （200～800頭）	発生初期	ー	放飼	ー

放飼方法

＊放飼を行う前の注意点

- 殺虫剤及び一部の殺菌剤には、本製品天敵に強く影響があるものがありますので、放飼を行う前に本天敵への影響日数等確認を行って下さい（巻末参考資料参照）。

＊放飼を行う際は

- ハモグリバエ類の発生している作物の株元に容器を横にして開封し、その株元の地表面に3日間継続して静置して下さい。天敵は明るい方へ誘引されるので、夕方、天窓が閉まってからの時刻に放飼することをお勧めします。

導入のタイミング

- ハモグリバエ成虫の食痕（産卵痕）が確認され始めたら導入して下さい。

使用上の注意事項

- 本剤はハモグリバエ類幼虫に寄生する天敵イサエアヒメコバチ成虫をボトルに封入した製剤です。
- イサエアヒメコバチの生存日数は短いので、入手後直ちに放飼し、使い切って下さい。
- 放飼は、直射日光が当らない株元にボトルを静置し、自然に成虫を飛び立たせることにより行うこと。なお、イサエアヒメコバチは日中に放飼すると施設の天井に集まる習性があるので、夕方に放飼して下さい。
- ハモグリバエ類の生息密度が高くなってからの放飼では十分な効果が得られないことがあるので、ハモグリバエ類がまだ低密度で散見された時点で最初の放飼をして下さい。
- 天敵としてイサエアヒメコバチが有効な密度（1m^2当り1～2頭）を保つため、ハモグリバエ類の発生初期より約1週間間隔で数回放飼して下さい。
- 本剤の使用中は、日中の施設内の平均室温を15～30℃に保って下さい。
- イサエアヒメコバチの活動に影響を及ぼす恐れがあるので、本剤の放飼前後の薬剤散布は避けて下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けて下さい。
- 容器、空袋等は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理して下さい。

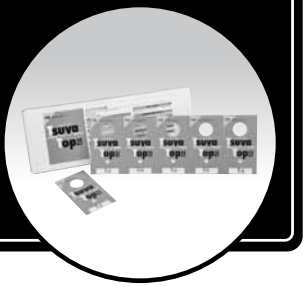
保存上の注意

- 本剤は天敵生物であり、生存日数が短いので、入手後直ちに使用し、保存しないで下さい。

寄生性昆虫製剤

農林水産省登録　第 20573 号（ツヤトップ）　第 22757 号（ツヤトップ 25）

ツヤトップ™
ツヤトップ™25
（オンシツツヤコバチ剤）



ツヤトップ ™ は株式会社アグリ総研の登録商標です。

基本データ

有 効 成 分：●ツヤトップの場合
　　オンシツツヤコバチ羽化雌成虫　50頭/カード
　　●ツヤトップ25の場合
　　オンシツツヤコバチ羽化雌成虫　25頭/カード
学　　名：*Encarsia formosa*（Gahan）
性　　状：黒色寄生蜂
包　　装：●ツヤトップの場合
　　45カード/紙箱
　　●ツヤトップ25の場合
　　100カード/紙箱

特　　長

- 本剤は、オンシツコナジラミの捕食寄生性天敵であるオンシツツヤコバチの寄生蜂（マミー）をカードに封入した製剤です。
- オンシツコナジラミの発生初期に使用することで、長期間に渡りその発生を抑制します。
- 捕食寄生性天敵なので、害虫の薬剤抵抗性の発達の有無に全く関係なく、効果があります。
- オンシツコナジラミ幼虫は本剤天敵に寄生されると黒いマミーになるため、防除効果が分かりやすいです。
- 放飼方法が簡便であり、労力の削減につながります。
- 使用回数に制限がなく、農薬の使用回数にカウントされませんので、特別栽培などに最適です。

オンシツツヤコバチについて

寄生範囲	オンシツコナジラミに選好性を示す。タバココナジラミにも寄生する。
成虫の大きさ	雌：0.6mm
活動最適温度	20～28℃
発育限界温度	約11℃以下
飛翔限界温度	17℃以下
卵～成虫までの日数	25℃：15.6日　20℃：28.2日
成虫期間	25℃：約30日
総産卵数	約300卵
ホストフィーデング数	約150頭
重要な特徴	マミーの色は黒色です。

適用害虫の範囲及び使用方法

作物名	適　用 病害虫名	使用量	使用時期	使用回数	使用方法	オンシツツヤコバチを含む農薬の総使用回数
野菜類 （施設栽培）	オンシツコナジラミ	25～30株当たり 1カード（ツヤトップ） 2カード（ツヤトップ25）	発生初期	ー	放飼	ー

放飼方法

＊放飼を行う前の注意点

- 殺虫剤及び一部の殺菌剤には、本製品天敵に強く影響があるものがありますので、放飼を行う前に本天敵への影響日数等確認を行って下さい（巻末参考資料参照）。
- 既にオンシツコナジラミが多発生している場合は、オンシツツヤコバチに影響が少ない薬剤を処理してから導入して下さい。

＊放飼を行う際は

- 外箱から本剤を取り出し、カードに貼り付けてある寄生蛹（マミー）に指で触れないよう気をつけて、ミシン目に沿ってカードを切り離します。カードは25～30株当り1カードの割合で、オンシツコナジラミの1齢幼虫が寄生している葉の付近の、直射日光が当らない葉の日陰などに吊り下げて下さい。

導入のタイミング

- 予察用として10aあたり5～10枚のスマイルキャッチを設置し、コナジラミ類の初発生を的確に捉えた後、放飼を行います。季節によりコナジラミ類の発生量・天敵の活動に違いがありますので、それにより適宜放飼回数を調整して下さい。

使用上の注意事項

- 本剤はオンシツコナジラミ幼虫に寄生する天敵オンシツツヤコバチの寄生蛹（マミー）をカードに封入した製剤です。
- オンシツツヤコバチの生存日数は短いので、入手後直ちに使用し、使い切って下さい。
- カードは25～30株当たり1カードの割合で枝などに吊り下げて放飼して下さい。
- オンシツコナジラミの生息密度が高くなってからの放飼では十分な効果が得られないことがあるので、オンシツコナジラミが散見された時点で最初の放飼をして下さい。
- 天敵としてオンシツツヤコバチが有効な密度（1株当たり約2頭）を保つため、オンシツコナジラミの発生初期より約1週間間隔で数回放飼して下さい。
- 本剤の使用中は、日中の施設内の平均室温を20～27℃に保って下さい。
- オンシツツヤコバチの活動に影響を及ぼす恐れがあるので、本剤の放飼前後の薬剤散布は避けて下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けて下さい。
- 容器、空袋等は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理して下さい。

保存上の注意

- 本剤は天敵生物であり、生存日数が短いので、入手後直ちに使用し、保存しないで下さい。

寄生性昆虫製剤

農林水産省登録　第 21511 号

サバクトップ

（サバクツヤコバチ剤）

基本データ

有効成分：サバクツヤコバチ羽化成虫　60頭/カード
学　　名：*Eretmocerus eremicus* Rosa&Zolnerowich
性　　状：淡褐色寄生蜂
包　　装：25カード/紙箱

特　　長

- 本剤は、コナジラミ類の捕食寄生性天敵であるサバクツヤコバチの寄生蜂（マミー）をカードに封入した製剤です。
- コナジラミ類の発生初期に使用することで、長期間に渡りその発生を抑制します。
- 捕食寄生性天敵なので、害虫の薬剤抵抗性の獲得有無に全く関係なく、効果があります。
- 放飼方法が簡便であり、労力の削減につながります。
- 使用回数に制限がなく、農薬の使用回数にカウントされませんので、特別栽培などに最適です。

サバクツヤコバチについて

寄生範囲	コナジラミ類
成虫の大きさ	雌：0.77mm
活動最適温度	20～30℃
発育限界温度	5℃以下
飛翔限界温度	17℃以下
卵～成虫までの日数	25℃：約19日
成虫期間	25℃：約30日
総産卵数	約150卵
重要な特徴	マミーの色は濃黄色から暗黄色で、肉眼では未寄生のものと区別が難しいです。

適用害虫の範囲及び使用方法

作物名	適　用 病害虫名	使用量 (10a)	使用時期	使用回数	使用方法	サバクツヤコバチを含む農薬の総使用回数
野菜類 (施設栽培)	コナジラミ類	50～75カード /10a	発生初期	ー	放飼	ー

放飼方法

＊放飼を行う前の注意点

- 殺虫剤及び一部の殺菌剤には、本製品天敵に強く影響があるものがありますので、放飼を行う前に本天敵への影響日数等確認を行って下さい（巻末参考資料参照）。
- 既にコナジラミ類が多発生している場合は、サバクツヤコバチに影響が少ない薬剤を処理してから導入して下さい。

＊放飼を行う際は

- 外箱から本剤を取り出し、カードに貼り付けてある寄生蜂（マミー）に指で触れないよう気をつけて、ミシン目に沿ってカードを切り離します。カードは50～75株カード／10aの割合で、コナジラミ類の1齢幼虫が寄生している葉の付近の、直射日光が当らない葉の日陰などに吊り下げて下さい。

導入のタイミング

- 予察用として10aあたり5～10枚のスマイルキャッチを設置し、コナジラミ類の初発生を的確に捉えた後、放飼を行います。季節によりコナジラミ類の発生量・天敵の活動に違いがありますので、それにより適宜放飼回数を調整して下さい。

使用上の注意事項

- 本剤はコナジラミ類幼虫に寄生する天敵サバクツヤコバチの寄生蜂（マミー）をカードに封入した製剤です。
- サバクツヤコバチの生存日数は短いので、入手後直ちに使用し、使い切って下さい。
- 10aあたり50～75カードの割合で枝などに吊り下げて放飼して下さい。
- コナジラミ類の生息密度が高くなってからの放飼では十分な効果が得られないことがあるので、コナジラミ類が散見された時点で最初の放飼をして下さい。
- 天敵としてサバクツヤコバチが有効な密度（3～4頭/m^2）を保つため、コナジラミ類の発生初期より約1週間間隔で数回放飼して下さい。
- 本剤の使用中は、日中の施設内の平均室温を20～30℃に保って下さい。
- サバクツヤコバチの活動に影響を及ぼす恐れがあるので、本剤の放飼前後の薬剤散布は避けて下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けて下さい。
- 容器、空袋等は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理して下さい。

保存上の注意

- 本剤は天敵生物であり、容器内での生存日数が短いので、入手後直ちに使用し、保存しないで下さい。

IPMサポート資材

IPM サポート資材

飛翔害虫誘引捕虫粘着板

スマイルキャッチ®

基本データ

荷　　姿：スマイルキャッチ　1袋12枚入り×100袋/ケース
　　＊1ケースは20袋入り内箱×5箱に小分けしてあります。

仕　　様：サイズ　スマイルキャッチ　100mm×258mm　厚さ0.3mm
　　材　質　ポリスチレン
　　色　　黄色
　　粘着剤　湿式粘着剤
　　構　成　12枚の黄色基盤が貼り合わされた重層タイプの粘着版
　　（1枚目と12枚目の外側面は粘着剤が塗布されていません）

特　　長

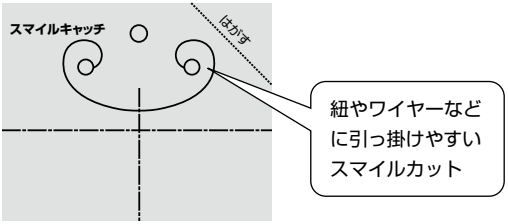
- 害虫、特にコナジラミ類を強力に誘引、捕虫します。
- 一方、天敵昆虫（寄生蜂やヒメハナカメムシ類）は誘引されにくいので、天敵防除剤と併用してお使いいただけます。
- 本資材の板は、食品包装に使用される原料を用いて仕上げました。
- 大量捕虫を目的とした場合、設置枚数を多くするにつれて害虫防除効果も高まります。
- 乾燥しない（湿式の）粘着剤を採用していますので、捕虫力は強力で長持ちします。一度の設置で長期間、害虫防除に役立ちます。
- スマイルカット（プレカット処理）の採用により、取り付け作業が簡単です。
- グリッド入りで予察にも使用できます。

色について

「黄色」といっても「うすい黄色」や「濃い黄色」など、様々な色調があります。本資材は、コナジラミ類等の飛翔害虫が強く誘引される「黄色」の色調と、寄生蜂・タイリクヒメハナカメムシなどの天敵昆虫が誘引されやすい「黄色」の色調が違うことに着目し、飛翔害虫だけが誘引される「黄色」の色調を開発、採用しています。

スマイルカットについて

- 本資材の取り付け作業を簡単にするため、特殊なプレカット処理を施しました。



誘引される主な害虫

作　物	害　　虫
野菜類	コナジラミ類・スリップス類・アブラムシ類・ハモグリバエ類・ヨコバイ類
畑作一般	タネバエ・キノコバエ
花卉類	コナジラミ類・スリップス類・アブラムシ類・ハモグリバエ類・ヨコバイ類
かんきつ類	アブラムシ類・チャノキイロアザミウマ
ぶどう	フタテンヒメヨコバイ
か　き	カキノヒメヨコバイ

10a 当たりの使用枚数の目安

大量捕虫を目的とする場合	300～1200枚（害虫の発生量に応じて使用枚数を増やして下さい）
発生予察を目的とする場合	5～10枚／週

1．大量捕虫を目的とする場合

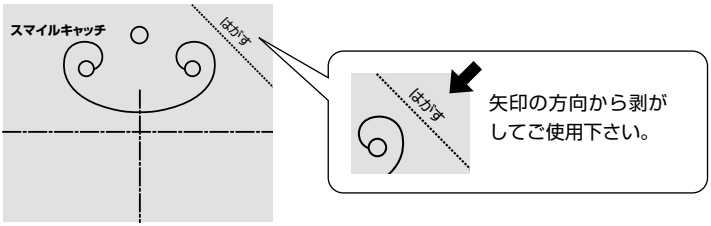
- 防除効果を上げるために、害虫の発生する前からご使用下さい。
  特にコナジラミ類の捕虫には、定植前からの設置が効果的です。
- 害虫の侵入を少なくするために、ハウスの出入り口や天窓付近に多く設置して下さい。
- 定植前は地上50cmくらいの高さに設置して下さい。定植後は新芽（成長点）の高さを目安に設置して下さい。
- 害虫が多発した場所に本資材を多く設置すると、効果的に捕虫できます。

2．発生予察を目的とする調査の場合

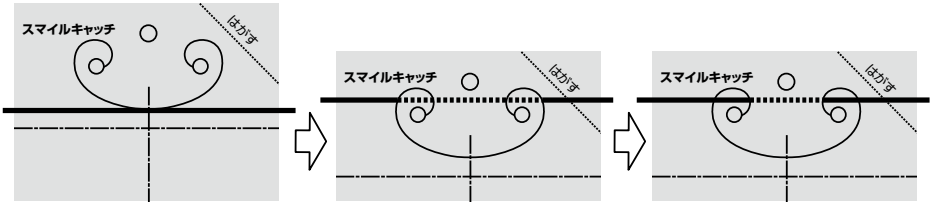
- 害虫の発生前に設置して下さい。
- 捕虫された害虫の数を数えます（5cm 画のグリッド線入り）。

設置方法

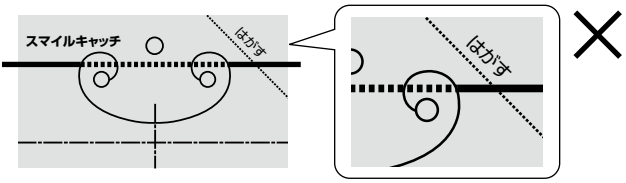
①設置位置に、紐やワイヤー等を横に張ります。
②12枚の粘着板を1枚ずつ剥がしながら設置していきます。
　剥がす時は、「ハガシしろ」から剥がして下さい。



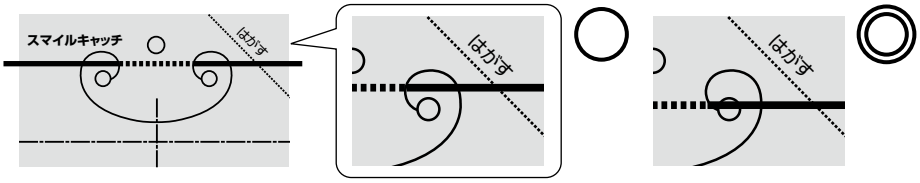
③スマイルカット（カット部分）に、横に引っ張った紐やワイヤー等を挟み込んで設置して下さい。



＊注意

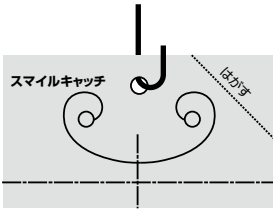


カット部に紐やワイヤー等を挟んだだけでは、風等により落下する場合があります。



カット上部が紐やワイヤー等の奥（後ろ側）に来るまでしっかり挟み込んで完成です。
両側又は片側の穴に入れると、更にはずれにくくなります。

＊別の設置法



フック・紐等で吊り下げて使用する場合は、中央の○穴部分をご使用下さい。

使用上の注意事項

- 強力な粘着板ですので、設置に当っては衣服や身体に付着しないように注意して下さい。
- 小児や愛玩動物が触れないように注意して下さい。
- 液肥や農薬等の散布液が付着すると粘着力が低下したり、粘着成分が液ダレして作物を汚す場合がありますので注意して下さい。
- 収穫物に粘着剤が付着しないように注意して下さい。
- 土粒、粉塵、油などが粘着面に付着した場合は、粘着力が低下する場合がありますので注意して下さい。（ダクト内投入によるボトキラー水和剤の粘着力への影響はありません）
- 製品は直射日光の当たる場所や高温多湿の場所を避け、冷暗所に保管して下さい。
- 粘着剤が柔らかいので長期保管すると粘着剤がはみ出すことがありますが、効果に影響はありませんので、そのままご使用下さい。
- 設置作業後は手を良く洗って下さい。
- 粘着板に多数の虫がつき粘着力が低下したら、ただちに交換して下さい。
- 使用後の廃棄は、適正に処分して下さい。

飛翔害虫誘引捕虫粘着ロール

スマイルキャッチ®ロール

基本データ

荷　　姿：4巻/ケース　＊1巻ごとに個別包装してあります。
仕　　様：サイズ　R-150 150mm幅×200M巻　厚さ0.05mm
材　質　ポリエチレン
色　　黄色
粘着剤　湿式粘着剤
構　成　普通巻ポリエチレンの粘着ロール
（最初の1周と最後の1周の外側面は粘着材が塗布されていません）

特　　長

- 害虫、特にコナジラミ類を強力に誘引、捕虫します。
- 一方、天敵昆虫（寄生蜂やヒメハナカメムシ類）は誘引されにくいので、天敵防除剤と併用してお使いいただけます。
- ロールタイプですので、裁断して自由にお使いいただけます。
- 大量捕虫を目的とした場合、設置箇所（面積）を多くするにつれて害虫防除効果も高まります。
- 乾燥しない（湿式の）粘着剤を採用していますので、捕虫力は強力で長持ちします。一度の設置で長期間、害虫防除に役立ちます。

色について

「黄色」といっても「うすい黄色」や「濃い黄色」など、様々な色調があります。本資材は、コナジラミ類等の飛翔害虫が強く誘引される「黄色」の色調と、寄生蜂・タイリクヒメハナカメムシなどの天敵昆虫が誘引されやすい「黄色」の色調が違うことに着目し、スマイルキャッチ（板）と全く同じ飛翔害虫だけが誘引される「黄色」の色調を開発、採用しています。

誘引される主な害虫

作　物	害　　虫
野菜類	コナジラミ類・スリップス類・アブラムシ類・ハモグリバエ類・ヨコバイ類
畑作一般	タネバエ・キノコバエ
花卉類	コナジラミ類・スリップス類・アブラムシ類・ハモグリバエ類・ヨコバイ類
かんきつ類	アブラムシ類・チャノキイロアザミウマ
ぶどう	フタテンヒメヨコバイ
か　き	カキノヒメヨコバイ

目的別設置方法

1．侵入害虫の捕虫を目的とする場合

- 害虫の発生前からハウス外部側面周囲に展張して下さい。
- 地上50cm、150cmの高さに2段に展張すると効果的です。
- ハウスの出入口や天窓付近にも展張して下さい。
- ハウス内部側面周囲に展張するのも効果的です。

2．ハウス内での捕虫を目的とする場合

- 防除効果を上げるために、害虫の発生する前からご使用下さい。
  特にコナジラミ類の捕虫には、定植前からの設置が効果的です。
- ハウスの出入口や天窓付近にも展張して下さい。
- 定植前は地上50cmくらいの高さに展張して下さい。定植後は新芽（成長点）の高さを目安に展張して下さい。
- 条間などに設置する場合は、付着しないよう作物から離して展張して下さい。
- 地面と水平に寝かせて放置するとハモグリバエ類に対してより効果的です。

展張方法

①直管パイプを立てる。
直管パイプを1.5～2mに切断し、2～3m間隔で打ち込む（写真1参照）。
②スマイルキャッチロールを張る。
ロールの端をパイプに巻きつけ、パッカー（フィルム止め）で留める（写真2参照）。
ロールを引き出し、パッカーで留める（写真3参照）。

写真1

写真2

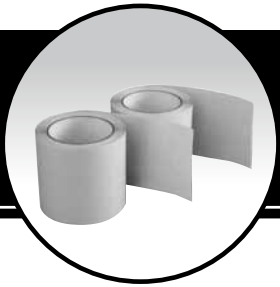
写真3

使用上の注意事項

- 強力な粘着ロールですので、設置に当たっては衣服や身体に付着しないように注意して下さい。
- 小児や愛玩動物が触れないように注意して下さい。
- 液肥や農薬等の散布液が付着すると粘着力が低下したり、粘着成分が液ダレして作物を汚す場合がありますので注意して下さい。
- 収穫物に粘着剤が付着しないように注意して下さい。
- 土粒、粉塵、油などが粘着面に付着した場合は、粘着力が低下する場合がありますので注意して下さい。（ダクト内投入によるボトキラー水和剤の粘着力への影響はありません）
- 製品は直射日光の当たる場所や高温多湿の場所を避け、冷暗所に保管して下さい。
- 粘着剤が柔らかいので長期保存すると粘着剤がはみ出すことがありますが、効果に影響はありませんので、そのままご使用下さい。
- 設置作業後は手を良く洗って下さい。
- 粘着ロールに多数の虫がつき粘着力が低下したら、ただちに交換して下さい。
- 使用後の廃棄は、適正に処分して下さい。

飛翔害虫誘引捕虫粘着シート

ITシート



基本データ

荷　　姿：20巻/ケース（イエロー・ブルー）
仕　　様：サイズ　100mm×15m

特　　長

- 害虫を誘引、物理的に捕虫します。
- ロールタイプですので、裁断して自由にお使いいただけます。
- 粘着剤で捕虫するので安全、農薬の低減にもつながります。
- 水にぬれても、乾けば粘着力はほぼ元通りになります。
- イエロー・ブルーを併用すると、効果的に幅広い種類の害虫を捕虫することが期待できます。

誘引される主な害虫

イエロー		ブルー	
作　物	害　虫	作　物	害　虫
きゅうり トマト	オンシツコナジラミ タバココナジラミ マメハモグリバエ（♂主）	きゅうり なす イチゴ	アザミウマ類
イチゴ	アブラムシ類	ピーマン	ミナミキイロアザミウマ
チンゲンサイ ブロッコリー かぶ	コナガ	メロン（施設栽培） スイカ	ミナミキイロアザミウマ
メロン（施設栽培）	タバココナジラミ	ホウレンソウ	アザミウマ類
ねぎ・たまねぎ	ネギハモグリバエ	ねぎ	ネギアザミウマ
畑作一般	ミカンキイロアザミウマ タネバエ	一般	ミナミキイロアザミウマ
菊・ガーベラ 宿根かすみ草	アブラムシ類 マメハモグリバエ（♂主）	菊・ガーベラ 宿根かすみ草	ミナミキイロアザミウマ
ぶどう	フタテンヒメヨコバイ	ぶどう	ミナミキイロアザミウマ
かんきつ類	アブラムシ類 チャノキイロアザミウマ		

効果的な設置方法

＊ハウス周辺に張って害虫の侵入を防ぐ

- 1.5～2m間隔に、支柱を立てパッカーやホチキスで押さえて下さい。
- イエローは、50cm・150cmの高さに2段に設置することをお勧めします。
- ブルーは、20cm～100cmの高さに設置します。
- 害虫が侵入しやすい、防虫ネットの内側などに設置して下さい。
- ハウスの周りの吹き溜まりに浮遊する害虫を捕らえます。

＊屋内にいる害虫を捕虫し、増やさない

- 害虫が発生する前から設置し、ハウス内で害虫が繁殖しにくい状態を保ちます。
- 害虫が集まりやすい生長点付近に設置し、効果的に害虫を捕虫します。
- 害虫の多発箇所に多く設置すると効果的です。

＊屋ハウスに出入りする害虫を捕虫する

- ハウスの出入り口付近や扉、天窓に直接貼り付け、害虫を出入りさせないようにします。

使用上の注意事項

- 強力な粘着力をもつシートですので、設置にあたっては衣服や体に付着しないようご注意下さい。
- 製品ロールは直射日光の当たる場所や高温多湿の場所を避け、暗所に保管して下さい。
- 万一、体に付着した場合はアルコールなどですみやかに拭き取って下さい。
- 薬液が付着すると誘引力が低下する場合がありますのでご注意下さい。
- 本資材はミツバチや天敵の蜂類を誘引する可能性があります。
- 愛玩動物が触れないように、注意して配置して下さい。
- 水・ほこり・土・油などが粘着面に付着した場合は、粘着特性が落ちますので注意して下さい。
- 乳幼児が触れないようご注意下さい。素肌に触れるとかぶれる恐れがあります。

飛翔害虫誘引捕虫粘着シート

虫とり君®

基本データ

色　　：イエロー・ブルー
荷　　姿：10枚/袋で30袋/ケース
仕　　様：サイズ　100mm×500mm　折り返しヘッダー付

特　　長

- 害虫を誘引、物理的に捕虫します。
- 粘着剤で捕虫するので安全、農薬の低減にもつながります。
- ワイヤー・紐等へ直接引っ掛けることができ、設置が簡単です。
- 水にぬれても、乾けば粘着力はほぼ元通りになります。
- イエロー・ブルーを併用すると、効果的に幅広い種類の害虫を捕虫することが期待できます。

誘引される主な害虫

イエロー		ブルー	
作　物	害　虫	作　物	害　虫
きゅうり トマト	オンシツコナジラミ タバココナジラミ マメハモグリバエ（♂主）	きゅうり なす イチゴ	アザミウマ類
イチゴ	アブラムシ類	ピーマン	ミナミキイロアザミウマ
チンゲンサイ ブロッコリー かぶ	コナガ	メロン（施設栽培） スイカ	ミナミキイロアザミウマ
メロン（施設栽培）	タバココナジラミ	ホウレンソウ	アザミウマ類
ねぎ・たまねぎ	ネギハモグリバエ	ねぎ	ネギアザミウマ
畑作一般	ミカンキイロアザミウマ タネバエ	一般	ミナミキイロアザミウマ
菊・ガーベラ 宿根かすみ草	アブラムシ類 マメハモグリバエ（♂主）	菊・ガーベラ 宿根かすみ草	ミナミキイロアザミウマ
ぶどう	フタテンヒメヨコバイ	ぶどう	ミナミキイロアザミウマ
かんきつ類	アブラムシ類 チャノキイロアザミウマ		

効果的な設置方法

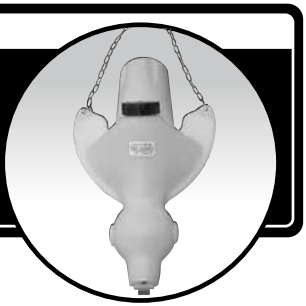
- 害虫が発生する前から設置し、ハウス内で害虫が繁殖しにくい状態を保ちます。
- 害虫が集まりやすい生長点付近に設置し、効果的に害虫を捕虫します。
- 害虫の多発箇所に多く設置すると効果的です。
- 支柱に直接刺して使用することも可能です。

使用上の注意事項

- 強力な粘着力をもつシートですので、設置にあたっては衣服や体に付着しないようご注意下さい。
- 製品ロールは直射日光の当たる場所や高温多湿の場所を避け、暗所に保管して下さい。
- 万一、体に付着した場合はアルコールなどですみやかに拭き取って下さい。
- 薬液が付着すると誘引力が低下する場合がありますのでご注意下さい。
- 本資材はミツバチや天敵の蜂類を誘引する可能性があります。
- 愛玩動物が触れないように、注意して配置して下さい。
- 水・ほこり・土・油などが粘着面に付着した場合は、粘着特性が落ちますので注意して下さい。
- 乳幼児が触れないようご注意下さい。素肌に触れるとかぶれる恐れがあります。

ボトキラー水和剤専用　自動ダクト内投入機

きつつき君® SA-200 SQ-200



SA-200

仕　　様

形　　式：SA - 200　日本製（投入機型式：SA - 200　制御盤型式：AS-01）
電　　源：AC200V　50Hz：110VA/60Hz：90VA（暖房機に接続）
外形寸法・重量：制御盤　242H×142W×120D、約1.1kg
　　投入機　500H×285W×205D、約1.6kg
制 御 形 式：24時間タイマーによる電子制御、温風暖房機ファン連動型
設 定 範 囲：投入量　1日1台あたり0～30g（0.1g単位）
　　投入機2台付属
　　投入開始時刻　任意に設定可能
　　投入間隔　3～100秒

梱包内容

①制御盤

②投入機２台

③暖房機と制御盤接続用ケーブル

④取扱い説明書

特　　長

- 農薬散布の省力技術ボトキラー「ダクト内投入」専用の自動投入機です。
- これまで毎日手作業で実施していたダクト内投入を、自動化しました。
- 毎日の投入作業から開放されるとともに、投入忘れを防止できます。
- 1回の充填で数ヶ月の連続運転が可能です。
- 投入する時刻、投入量などを任意に設定できます。
- 投入量は0.1g単位で設定できるため、あらゆるハウス条件に合わせることが可能です。
- 温風暖房機ファンと連動して投入するため、ダクト内での薬剤の滞留や、飛び散りを防止します。

SQ-200

仕　様

形　　式：SQ - 200 日本製（投入機型式：SQ - 200　制御盤型式：QS01）
電　　源：AC200V　50Hz：110VA/60Hz：90VA（暖房機に接続）
制御形式：光センサーによる電子制御、温風暖房機ファン連動型
設定範囲：投入量5～25g（投入機2台接続時）
投入開始時刻：自動モード：夜間（明るさ3ルクス以下）に暖房機ファンに連投して自動投入
手動モード：昼夜に関係なく暖房機ファン作動時に１日の規定量を自動投入
初期設定：自動モード（光センサーによる自動投入モード）

梱包内容

①制御盤

②投入機２台

③暖房機と制御盤接続用ケーブル

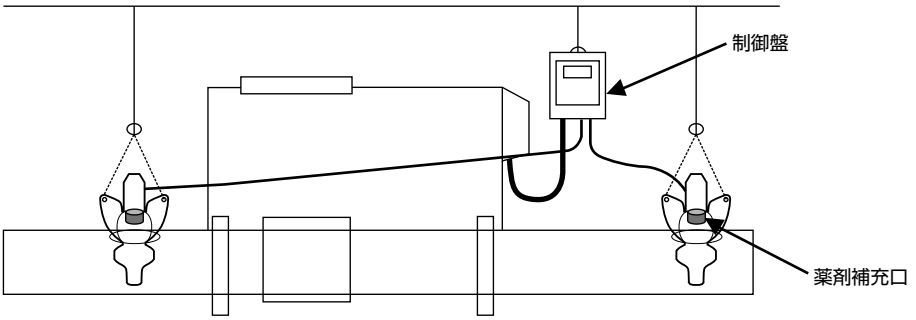
④取扱い説明書

特　長

- 農薬散布の省力化技術ボトキラー「ダクト内投入」専用の自動投入機です。
- これまで毎日手作業で実施していたダクト内投入を、自動化しました。
- SAタイプに比べ、設定を大幅に簡便化。ダイヤル操作で投入量を設定するだけで、光センサーが夜を判断し、毎日夜間に自動投入します。
- 制御盤と投入機の接続に3ピンカプラーを採用。脱着が容易になりました。
- １回の充填で数か月の連続運転が可能です（投入機の容量は SA タイプと同一です）。
- 温風暖房機ファンと連動して投入するため、ダクト内での薬剤の滞留や、飛び散りを防止します。

制御盤・投入機の設置例

- 制御盤は、暖房機付近に園芸用紐等で吊るすか、支柱や壁面に固定します。
  制御盤ケースはプラスチック製のため、暖房機本体に直接取付けないで下さい。
- 投入機本体の先端部からくびれ部分までを、ダクトに開けた穴に入れてゴムバンド等でダクトをくびれ部分に固定します。
- 投入機は園芸用紐などを利用して、ハウス内のワイヤー等に吊り下げます。
- 投入機のケーブル端子は、制御盤の設定１（出力Ａ）、設定２（出力Ａ）に接続します。
- 暖房機と制御盤附属ケーブルを接続します。
- 薬剤補充口からボトキラー水和剤を補充して、キャップを締めます。
  （投入機1台にボトキラー水和剤をおよそ1000g充填できます）
- 取り付けが完了したら、暖房機ブレーカーをONにして制御盤に通電します。
- 通電後は、制御盤の液晶に条件設定画面が表示されますので、説明書の手順にしたがって条件を入力して下さい。
- 暖房機の機種、使用状況によっては「きつつき君」が設置できない場合があります。ご購入の際は、適合可否について取扱店または弊社までお問い合わせ下さい。



使用上の注意事項

- 制御盤、投入機は水のかからない位置に設置して下さい。
- ダクト内投入の使用方法登録がある薬剤を使用して下さい。
- ハウス内の湿度等により濡れた薬剤は、正常に投入できないことがあります。

安全使用上の注意

- きつつき君はAC200V電源を使用しています。設置時は、暖房機ブレーカーを必ずOFFにする、濡れた手で作業しないなど感電には十分注意して下さい。
- ご使用になる前には、必ず付属の「取扱説明書」をよく読んで、正しくお使い下さい。
- 異常を発見した場合は、直ちに使用を中止し、速やかに購入店または弊社までご連絡下さい。

殺虫殺菌剤

殺虫殺菌剤

農林水産省登録　第 18249 号

オレート®液剤

（オレイン酸ナトリウム液剤）

オレート® は大塚アグリテクノ株式会社の登録商標です。

基本データ

有 効 成 分：オレイン酸ナトリウム　20.0%
性　　状：淡黄色澄明液体
危険物表示：第4類第二石油類（水溶性）
包　　装：1ℓ×12本/ケース　5ℓ×4本/ケース

特　　長

- 本剤の害虫に対する作用機作は、気門封鎖による窒息死です。
- 本剤のうどんこ病に対する作用機作は、細胞膜破壊によるものです。
- 本剤の有効成分であるオレイン酸ナトリウムは、食品添加物に指定されています。
- 収穫前日まで使用できます。
- 環境や天敵、ミツバチ等有益昆虫に対する影響が少ない殺虫剤です。

適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適　用 病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	オレイン酸 ナトリウム を含む農薬の 総使用回数
なし	アブラムシ類	100～200倍	200～700 ℓ/10a	発生初期～ 収穫前日まで	―	散布	―
果樹類 （なしを除く）		100倍					
野菜類 （いちごを除く）	コナジラミ類	100～300倍	100～300 ℓ/10a				
	アブラムシ類	100倍					
いちご	コナジラミ類	100～300倍					
	アブラムシ類	100倍					
	うどんこ病			発病初期～ 収穫前日まで			
きく ばら	アブラムシ類	100倍	100～300 ℓ/10a	発生初期～ 収穫前日まで			

使用上の注意事項

- 本葉6～7枚期までの散布は、薬害の出るおそれがあるので避けて下さい。
- 高温時の散布は薬害の生ずるおそれがあるので避けて下さい。
- 散布直後の降雨は効果を減ずるので、天候を見極めてから散布して下さい。
- 本剤は、アルカリ性剤のため、他の薬剤との混用または近接散布には注意して下さい。
- 本剤は、病害虫の発生が多い場合は効果が十分に発揮されないこともあるので、5日前後の間隔で連続散布して下さい。
- 薬害のおそれがあるので、周辺作物にかからないように注意して下さい。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けて下さい。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用して下さい。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けて下さい。
- 本剤は、眼に対して刺激性があるので、眼に入らないように注意して下さい。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けて下さい。使用後は洗眼して下さい。
- 本剤は魚介類に影響を及ぼしますが、通常の使用方法では問題ありません。
- 害虫に薬液がむらなくかかるよう、ていねいに散布して下さい。

保存上の注意

- 火気を避け、直射日光のあたらない低温な場所に密封して保管して下さい。
- 低温期には凝固することがありますが、融解後の成分に影響はありません。

殺菌剤

農林水産省番号　第 23045 号

イデクリーン®水和剤

（硫黄・銅水和剤）

基本データ

有 効 成 分：硫黄　25.0%　塩基性塩化銅　61.0%（銅として35.0%）
性　　状：淡緑色水和性粉末
その他成分：鉱物質微粉等
有 効 年 限：4年
包　　装：500g×20袋

特　　長

- 本剤は無機銅と硫黄を主剤とした製剤で、無機銅は広範囲の病害に対し予防散布することで高い保護作用があります。また、無機硫黄はうどんこ病などに強い殺菌効果を示します。

適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	硫黄を含む農薬の総使用回数	銅を含む農薬の総使用回数
うり類	べと病 炭疽病 うどんこ病	400～800倍	100～300ℓ/10a	―	―	散布	―	―
かぼちゃ	果実斑点細菌症	500倍						
ぺぽかぼちゃ（種子）	べと病 炭疽病 うどんこ病	400～800倍						
きゅうり	斑点細菌病	500倍						
トマト ミニトマト	疫病	400～800倍						
	うどんこ病	800倍						
	葉かび病 すすかび病	500倍						
豆類（種実・未成熟）	さび病	400～800倍						
ばれいしょ	疫病 夏疫病							
いちご	うどんこ病	800倍						
かんきつ	そうか病 かいよう病 黒点病	400～800倍	200～700ℓ/10a					
なし	黒斑病							
ぶどう	褐斑病 晩腐病							
	べと病	800倍						

使用上の注意事項

- 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布して下さい。
- マシン油乳剤との混用およびマシン油乳剤散布後14日以内の近接散布は避けて下さい。
- 広範囲の殺虫剤、殺菌剤と混用できますが、石灰硫黄合剤等強アルカリ薬剤との混用は避けて下さい。
- 高温時のうり類に対する使用は、薬害の恐れがあるので避けて下さい。
- 夏場高温時の散布は、薬害症状が激しくなることがあるので避けて下さい。
- 散布直後の降雨などがある場合、湿度上昇により薬害が発生しやすいので注意して下さい。
- そらまめ、未成熟そらまめには、薬害を生じる恐れがあるので使用を避けて下さい。
- かんきつに使用する場合、薬害（スタメラノーズ）の発生する恐れがあるので炭酸カルシウム水和剤を加用して下さい。特に果実の着生時期および雑柑への散布は厳守して下さい。
- なしに使用する場合、若葉の頃の散布は薬害を生ずる恐れがあるので有袋栽培の大袋掛以降、新梢の伸びが停止してから散布して下さい。また、二十世紀以外の品種では果実着生時の散布は薬害の恐れがあるので避けて下さい。

- いちごおよびぶどうに使用する場合は、葉に薬害を生じる恐れがあるので過度の連用を避けて下さい。また、果実に汚れが生じる恐れがあるので、着果期以降の散布には注意して下さい。
- 新梢、葉に対する薬害軽減のため、銅に弱い品種や薬害の出やすい時期に使用する場合は、必ず炭酸カルシウム水和剤を加用して下さい。
- 幼苗期の散布または過度の連用は薬害を生じる恐れがあるので避けて下さい。
- 本剤は果実に汚れが生じる恐れがあるので注意して下さい。
- 本剤は蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにして下さい。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用して下さい。
- 本剤の使用にあたっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けて下さい。

安全使用上の注意

- 誤飲、誤食などのないよう注意して下さい。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせて下さい。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けて下さい。
- 粉末は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないように注意して下さい。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けて下さい。
- 散布の際は防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用して下さい。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをして下さい。

水産動植物に関する注意事項

- 河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用して下さい（藻類）。
- 使用残りの薬液が生じないように調製し使い切って下さい。散布器具・容器の洗浄水は河川等に流さないで下さい。
  また、空袋などは水産動植物に影響を与えないよう適切に処理して下さい。

保存上の注意

- 密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼、乾燥した所に保管して下さい。

緑化資材

芝用除草剤

農林水産省登録　第 19758 号

イデトップ™フロアブル

（トリアジフラム水和剤）

基本データ

有 効 成 分：（RS）-N-[2-（3,5-ジメチルフェノキシ）-1-メチルエチル]-6-（1-フルオロ-1-メチルエチル）-1,3,5-トリアジン-2,4-ジアミン　30.0%
性　　状：類白色水和性粘稠懸濁液体
その他成分：水、界面活性剤等
包　　装：500㎖×4本/ケース

特　　長

- イネ科雑草、広葉雑草など一年生雑草に対して優れた除草効果を発揮します。
- ヤハズソウに対しては極めて高い効果を発揮します。
- 春処理、秋処理ともに残効性が長いです。
- 温度反応が小さく、芝生への安全性が高いです。
- 日本芝に対する選択性は高く、安全です。

適用雑草名と使用方法

作物名	適　用 雑草名	使用時期	使用量（10a）		使用回数	使用方法	トリアジフラムを含む農薬の総使用回数
			薬　量	希釈水量			
日本芝	一年生雑草	芝生育期 （雑草発生前但し、秋期スズメノカタビラは3葉期まで）	75～ 150㎖	200～ 300ℓ	2回以内	全面土壌散布	2回以内

使用上の注意事項

- 使用直前に容器をよく振って下さい。
- 発芽後の生育が進んだ雑草に対しては効果が劣るので、雑草の発生前（秋期スズメノカタビラは３葉期まで）に時期を失しないように散布して下さい。
- 洋芝に使用すると薬害を生じる恐れがあるので、使用しないで下さい。
- 芝張後一年以内の芝、ターフ形成の不十分な芝、又は老朽化した芝で根付きのよくないところでは薬害の生じる恐れがあるので使用しないで下さい。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせて調節して下さい。
- 土壌が極度に乾燥している場所には、事前に散水するか、又は散布水量を多めにして下さい。
- 周辺の植物にかかると薬害を生じるので、散布の際は芝生の中や付近にある草花、花木、畑作物に薬液がかからないように散布して下さい。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けて下さい。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意して下さい。眼に入った場合には直ちに水洗して下さい。使用量に合わせ薬液を調整し、使い切って下さい。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使い切って下さい。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないで下さい。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理して下さい。

保存上の注意

- 直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温な場所に密栓して保管して下さい。

機能性有機肥料

イデコンポ™21S

基本データ

種　　類：指定配合肥料
含有微生物：バチルス　ズブチリス
保証成分量：窒素全量　4.0%　　りん酸全量　3.0%　　カリウム全量　1.0%
主な成分含量：

窒素	リン酸	カリウム	ケイ酸	腐植酸	石灰	苦土	有機率
4%	3%	1%	3%	8%	11%	1%	73%

規　　格：ペレット、20Kg

特　　長

- サッチ分解能を持つバチルス菌と良質な有機質肥料を混合しています。
- 透水性・通気性を向上し、芝の地下部の生育環境を改善します。
- 病原菌の住み処であるサッチを減らすことで、病気にかかりにくい環境をつくります。
- 分解したサッチが肥料効果を発揮し、肥効が長持ちします。
- 刈りカスの減容により、集草作業等のメンテナンス作業の軽減につながります。
- 色の立ち上がりを良くしたい場合の使用に適しています。

使用方法

使 用 場 所：ゴルフ場（フェアウェイ、ティ、アプローチ）、競技場・公園芝地
標準使用量：40～50g/m^2
使 用 時 期：3～11月（通常の施肥時期）

機能性有機肥料

イデコンポ™EX

基本データ

種　　類：指定配合肥料
含有微生物：バチルス　ズブチリス、バチルス　ピュミリス
保証成分量：窒素全量　8.0%　　りん酸全量　2.0%　　カリウム全量　4.0%
主な成分含量：

窒素	リン酸	カリウム	ケイ酸	腐植酸	石灰	苦土	有機率
8%	2%	4%	3.2%	26%	2%	1%	66%

規　　格：ペレット、20Kg

特　　長

- サッチ分解能を持つバチルス菌と良質な有機質肥料を混合しています。
- 透水性・通気性を向上し、芝の地下部の生育環境を改善します。
- 病原菌の住み処であるサッチを減らすことで、病気にかかりにくい環境をつくります。
- 分解したサッチが肥料効果を発揮し、肥効が長持ちします。
- 刈りカスの減容により、集草作業等のメンテナンス作業の軽減につながります。
- 色の立ち上がりを良くしたい場合や、秋季の使用に適しています。

使用方法

使 用 場 所：ゴルフ場（フェアウェイ）、競技場・公園芝地
標準使用量：30g/m^2
使 用 時 期：3～11月（通常の施肥時期）

機能性有機肥料

イデコンポ™EV

基本データ

種　　類：指定配合肥料
含有微生物：バチルス　ズブチリス、バチルス　ピュミリス
保証成分量：窒素全量10.0%、りん酸全量2.0%、カリウム全量4.0%
主な成分含量：

窒素	リン酸	カリウム	ケイ酸	腐植酸	石灰	苦土	有機率
10%	2%	4%	3.2%	22%	1.3%	0.7%	66%

規　　格：ペレット、20Kg

特　　長

- サッチ分解能を持つバチルス菌２種類と良質な有機質肥料を混合しています。
- 透水性、通気性を向上し、芝の地下部の生育環境を改善します。
- 病原菌の住み処であるサッチを減らすことで、病気にかかりにくい環境を作ります。
- 分解したサッチが肥料効果を発揮し、肥効が長持ちします。
- 刈りカスの減容により、集草作業等のメンテナンス作業の軽減につながります。
- 色の立ち上がりを良くしたい場合や、秋季の使用に適しています。

使用方法

使 用 場 所：ゴルフ場（フェアウェイ）、競技場・公園芝地
標準使用量：30g/m^2
使 用 時 期：3～11月（通常の施肥時期）

サッチ分解促進資材

イデコンポ™G

基本データ

種　　類：微生物資材
含有微生物：バチルス　ズブチリス
その他成分：無機担体（硬質ゼオライト）
規　　格：細粒、10Kg

特　　長

- バチルス菌の働きでサッチ（ルートマット）層を構成する有機物残渣を速やかに分解します。
- 透水性・通気性を向上し、芝の生育環境を改善します。
- 細粒のため、通常の肥料散布機で容易に散布できます。

使用方法

使 用 場 所：ゴルフ場のベントグリーン、コウライグリーン
標準使用量：40～60g/m^2
使 用 時 期：3～11月
＊更新作業時の使用がより適しています。

使用上の注意事項

- キャプタン系、TPN系の殺菌剤とは混用しないで下さい。同殺菌剤を散布する場合は、前後３日空けて使用して下さい。
- 日中の地温が10℃以上の条件で使用して下さい。
- 高温多湿・直射日光を避けて保管して下さい。

サッチ分解促進資材

イデコンポ™GS-R

基本データ

種　　類：微生物資材
含有微生物：バチルス　ズブチリス、バチルス　ピュミリス
その他成分：界面活性剤、増量剤等
規　　格：250g×12袋

特　　長

- 特に好気性・分解能力に優れた2種類のバチルス菌の働きで、サッチ層（ルートマット層）を構成する有機物残渣を、安定的に分解します。
- 透水性・通気性を向上し、芝の育成環境を改善します。
- 水和タイプのため、多くの農薬や液肥等の資材と混用できます。

使用方法

使 用 場 所：ゴルフ場（グリーン、ラフ）
標準使用量：0.2g/m^2
散 布 水 量：200～300mℓ/m^2
使 用 時 期：3～11月
＊散布後はスプリンクラーで2～3分程度散布して下さい。

使用上の注意事項

- 希釈の際は、タンクに水を張った後、所定量のイデコンポGS-Rを加え、十分に撹拌し、均一に分散するように散布液を調製して下さい。
- キャプタン系、TPN系の殺菌剤とは混用しないで下さい。同殺菌剤を散布する場合は、前後3日空けて使用して下さい。
- 日中の地温が10℃以上の条件で使用して下さい。
- 吸湿性がありますので、開封後は使い切るようにして下さい。
- 保管する場合は、密封し、直射日光を避け、低湿の場所に保管して下さい。

ケイ酸供給資材

イデターフ®

基本データ

種　　類：微量要素入り生育促進剤
包　　装：5kgポリ袋×4カートン入り

特　　長

- ケイ酸含有率が高く、微量要素を含んだ、pH4.2の水和タイプの資材です。
- 二価鉄の効果でクロロフィルが増加し、光合成能がアップすることにより黄化しにくい芝を作ります。
- フェアウェイに使用した場合、時期により次のような効果が期待できます。
  - ・6～7月　夏期の成長を促すと同時に梅雨期軟弱化を防止します。
  - ・9～11月　貯蔵用分の蓄積と色持ちの維持
  - ・12月～2月　春先の芽吹きを促進しすり切れを防止する。

成　　分

窒素	リン酸	カリ	ケイ酸	石灰	苦土	マンガン	酸化鉄	pH
0.05%	0.08%	0.38%	29.6%	0.41%	0.78%	0.07%	16.70%	4.2

使用方法

使 用 場 所：ゴルフ場（フェアウェイ、グリーン）
標準使用量：2～4ｇ／㎡（フェアウェイ）、1～2ｇ／㎡（グリーン）

使用上の注意事項

- 強アルカリ性の農薬や液肥との混用は避けてください。使用する場合は前後3日空けてください。
- ゴーレット水和剤、リラークＤＦとの混用は避けてください。
- 使用量に合わせ薬液を調整し、使い切ってください。
- 撹拌を行いながら散布し、散布終了後はタンクを十分洗浄してください。
- 噴口の小さいもの（スプレーヤーなど）は詰まる可能性がありますので注意してください。
- タンク車での散布の際は、タイヤ跡が残る場合がありますので注意してください。

活性土壌改良剤

スーパーターフ®

スーパーターフ® はチリ化成株式会社の登録商標です。

基本データ

種　　類：微量要素入り生育促進剤
包　　装：5kgポリ袋×4カートン入り

特　　長

- 土壌の養分で根に吸収されにくい（不可給態）塩基（カリ・アンモニウム）や、リン酸に直ちに作用して可給態に変化させ、根からの吸収を促進します。
- 根群の育成、伸長が促進され、活性根（白い根）の増加は絶大です。
- サッチ等の有機残渣の分解を早め、根腐れを防止します。
- 黄化現象の予防及び治療に効果大です。
- 葉数は増加し踏圧によるスリ切れ等を予防します。
- ミミズの糞塚が減少し、モグラの進入抑止に好評を得ております。
- 藻、苔の発生も抑制されます。
- 水に溶解しやすく散布作業の効率を良くします。

成　　分

窒素	リン酸	カリ	ケイ酸	石灰	苦土	マンガン	酸化鉄	pH
0.02%	0.08%	0.09%	15.06%	3.53%	0.28%	0.66%	23.12%	4.9

使用方法

使 用 場 所：ゴルフ場（フェアウェイ、グリーン）
標準使用量：2～4ｇ/㎡（フェアウェイ）、1～2ｇ/㎡（グリーン）

使用上の注意事項

- 強アルカリ性の農薬や液肥との混用は避けてください。使用する場合は前後3日空けてください。
- ゴーレット水和剤、リラークＤＦとの混用は避けてください。
- 使用量に合わせ薬液を調整し、使い切ってください。
- 撹拌を行いながら散布し、散布終了後はタンクを十分洗浄してください。
- 噴口の小さいもの（スプレーヤーなど）は詰まる可能性がありますので注意してください。
- タンク車での散布の際は、タイヤ跡が残る場合がありますので注意してください。

フェロモン製剤

農林水産省登録　第 20652 号

ニトルアー™〈アメシロ〉

（フォールウェブルア剤）

基本データ

有 効 成 分：（3Z,6Z,9S,10R）-シス-9,10-エポキシ-3,6-ヘニコサジエン　0.58mg/枚
（3Z,6Z,9S,10R）-シス-9,10-エポキシ-1,3,6-ヘニコサトリエン　0.49mg/枚
（9Z,12Z,15Z）-9,12,15-オクタデカトリエン-1-アール　4.3mg/枚

性　　状：片面黒色、片面白色の張り合わせシート

その他成分：ポリエステルフィルム、ポリエステル樹脂等

有 効 期 間：常温で約3か月

容器及び内容：内装　製剤1枚ごとをポリエチレンビニルアルコール製フィルムに密封
外装　内装2枚を、クラフト化工紙に入れる

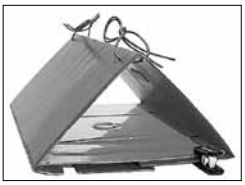
特　　長

- 性フェロモンの強力な誘引力を利用し、専用トラップ（捕獲器）でオス成虫を大量に捕獲します。
- 次世代のアメリカシロヒトリ幼虫（毛虫）の発生を抑制します。
- 捕獲数から被害状況や防除適期を予測（発生予測）できます。
- 自然への影響が少なく環境を保全、作業者にも安全です。
- 人体・有用昆虫・魚介類・植物等にはほとんど影響がありません。
- 人通りの多い歩道の街路樹や公園・住宅地での使用に最適です。

適用害虫の範囲及び使用方法

作物名	使用目的	適用病害虫名	使用量	使用時期	使用方法
樹木類	誘引	アメリカシロヒトリ	直線使用（街路樹など）40m当り1個以上	成虫発生初期から発生後期	本剤をトラップ1台当り1個貼付け、地上1～6mの高さに設置する
			面使用（公園など）10a当り3個以上		

専用トラップ（別売り）



ハウストラップ

モストラップ

使用上の注意事項

- 本剤はアメリカシロヒトリの雄成虫を誘引して、本剤と併用するトラップにより成虫を捕獲し、次世代のアメリカシロヒトリ幼虫の被害を低減させることを目的としています。
- 本剤はフェロモンを利用したもので、アメリカシロヒトリ雄成虫の誘引を目的としており、直接致死させることを目的としたものではありません。このため本剤使用中に幼虫が大量発生した場合には、薬剤散布・剪定などの有効な防除手段を併用して講じて下さい。
- アメリカシロヒトリの発生期間はおよそ4月から9月の約6か月間であるので、発生時期に応じて製剤を使用して下さい。最大の効果を得るためにはアメリカシロヒトリの第1回成虫（越冬世代）の発生前から施用を開始し、発生終了までの全世代に対して誘引捕獲を行って下さい。但し本剤の有効期間は常温で約3か月であり、高温・乾燥・多雨・日光照射などの気象条件により誘引効果を示す期間が短縮される場合があるので、適宜新しい製剤と交換して下さい。
- 本剤は使用する直前に開封し、併用するトラップに貼付し、周辺の樹木などに、地上より1～6mの高さに吊り下げて下さい。本剤を貼付したトラップの使用量は街路樹などの様な直線的に施用する場合は、40m当り1個以上、公園などの様な面的に施用する場合は10a当り3個以上として下さい。
- 本剤は使用する直前まで乾燥した冷暗所（約5℃）に保存して下さい。
- 本剤の使用にあたっては、使用量、使用時期、使用方法などに注意し、特に初めて使用する場合には、害虫防除所など関係機関の指導を受けて下さい。

害虫モニタリングシステム

ニトルアー™〈マメコガネ〉

基本データ

商品名	対象害虫	フェロモン誘引剤			適用トラップ（捕虫器）
		フェロモン	1セット個数	有効期間	
ニトルアー〈マメコガネ〉	マメコガネ	(R,Z)-(-)-5-(1-デセニル)オキサシクロペンタン-2-オン	1（芳香誘引剤2個）	6か月	コガネムシ用トラップ

特　　長

- 性フェロモンの誘引力を利用し、専用トラップ（捕獲器）でオス成虫を捕獲します。
- 捕獲数から被害状況や防除適期を予測（発生予測）できます。
- 自然への影響が少なく環境を保全、作業者にも安全です。
- 人体・有用昆虫・魚介類・植物等にはほとんど影響がありません。

使用上の注意事項

- フェロモン誘引剤は専用のコガネムシ用トラップと組み合わせてご使用下さい。
- フェロモン誘引剤は5℃以下の冷暗所に密封して保管して下さい。
- トラップは、10m以上離して設置して下さい。
- 捕虫量が容器の半分以上になった場合、捕獲缶の廃棄を行って下さい。

クラピア®

クラピア ® は株式会社グリーンプロデュースの登録商標です。

基本データ

学　　名：*Lippia nodiflora* L.
原 産 地：栃木県宇都宮市峰町351　宇都宮大学雑草科学研究センター
種苗登録：品種登録番号（第15871号、第16143号）
育成者権者：倉持仁志

特　　長

- 本植物は、クマツヅラ科に属する多年草植物イワダレソウの在来種を元にした改良品種です。似た名前のヒメイワダレソウは外来種（原産地ペルー）です。
- 被覆スピードは芝の十数倍です。
- 被覆密度が高く、雑草の侵入を抑えます。
- 花をつけますが、種子は作りません。そのため、植栽した場所でしか繁茂しません。
- pH4.5～9.0で生育します。耐塩性もあり、EC20程度でも生育します。
- 匍匐性があり丈が低いので、刈込み頻度を少なくできます。
- 雑草の繁茂を抑制するため除草作業が低減できます。
- 耐踏圧性があり、適度に踏まれることにより根の張りが活発になります。
- 開花期（5～8月）が長く、ピンクまたは白い花を楽しむことができます。
- ランナーの節目から発根し、土中深く根を張ります。地表を密に被覆して表土を多い、土壌流出を防止します。

商品規格

種　類	規　格	寸　法	梱　包（1箱当り）
S1（白花） S2（ピンク花） K5（薄ピンク花）	ミニ苗	28×58cm　72株入り	144株
	ポット苗	直径9cmビニールポット	40ポット

※納期についてはお問い合わせ下さい。

施工事例

- 工場緑化
- 河川・道路緑化
- 園庭・校庭緑化
- 畦畔緑化
- 屋上緑化
- 駐車場緑化
- 公園緑化

植栽方法

①植栽地の土壌確認
　土壌の硬度により、必要に応じ耕転を行います。
②植栽方法
　緑化の目的、植栽時期によって植栽方法を決定します。
③植栽の前作業
　除草、施肥などが必要です。
④植栽直後の管理方法
　定植後１０日間は充分な潅水を行って下さい。
⑤年間管理方法
　生育の様子を見ながら、晩秋に追肥や適宜刈込みをして下さい。

使用上の注意事項

- クラピアは種苗法による登録品種です。無断で栽培、増殖、譲渡、販売、輸出入はできません。また違法行為は処罰の対象となることがあります。
- ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みの上、適切に植栽してください。
- 製品仕様は、改良のため予告なしに変更することがあります。
- クラピアの枯れ補償は行っておりません。

登録番号　生第８５７５６号

プラントメイト®ターフ

（液体微量要素複合肥料）

基本データ

成　　分：有機酸、キトサン、糖類
肥料としての有効成分：水溶性マンガン0.30%、水溶性ほう素0.10%、水溶性苦土1.0%
包　　装：10ℓ入りバッグインボックス

特　　長

- 有機酸を供給し、難溶性ミネラル、リン酸が可溶化され、吸収が促進されます。
- 微量要素（苦土、マンガン、ほう素）を供給し、欠乏症を回避します。
- 土壌環境を改善し、ＶＡ菌資材などの効果を向上させます。
- 芝の活力を向上、根張りを向上し、ストレスに強い丈夫な芝を育成。

対　　象

芝

使用方法

水に希釈して散布

標準倍率	散布水量	使用頻度
500～1,000倍	0.5～１ℓ	１～２回／月

使用上の注意事項

- 用量、用法を守って使用してください。
- 皮膚に触れないよう、必要に応じて保護具を着用ください。万一眼に入ったり皮膚に触れた場合は、直ちに大量の水に洗い流し、医師の手当てを受けてください。
- アルカリ性薬剤、塩素系薬剤、銅剤との混用は行わないでください。
- その他薬剤は肥料と混用する場合は、少量で確認後、使用してください（原液同士の混用付加）

肥料

登録番号　生第 85756 号　液体微量要素複合肥料

プラントメイト®

基本データ

成　　分：有機酸、キトサン、糖類

肥料としての有効成分：水溶性マンガン0.30%、水溶性ほう素0.10%、水溶性苦土1.0%

包　　装：1ℓ×10本/箱、10ℓ/箱

特　　長

- 有機酸を供給し、作物の樹勢を向上させます。
- 微量要素を供給し、苦土・マンガン・ほう素の欠乏症を回避します。
- 有機酸により、難溶性ミネラル・リン酸が可溶化され、吸収が促進されます。
- 土壌環境を改善し、VA菌資材等の効果を向上させます。

対象作物

- 野菜類、果樹類、花卉類

使用方法

＊定植後の生育時、樹勢低下時に7～10日間隔で4～5回

散布方法	希釈倍数	1回の散布液量
土壌潅注	500～1000倍	500～1000ℓ/10a
葉面散布	500～1000倍	100～200ℓ/10a

使用上の注意事項

- 用量、用法を守って使用して下さい。
- 皮膚に触れないよう、必要に応じ保護具を着用下さい。万一眼や皮膚に触れた場合は、ただちに大量の水で洗い流し、医師の手当てを受けて下さい。
- アルカリ性薬剤、塩素系薬剤、銅剤との混用は行わないで下さい。その他の肥料や薬剤と混用する場合は、一度確認して使用して下さい。
- 本剤は飲用することはできません。

保管上の注意

- 子供の手の届かない安全な場所に保管して下さい。
- 冷暗所に保管し、開封後は早めに使用して下さい。
- 保存条件により、若干褐色が濃くなる場合がありますが、成分には問題ありません。

農林水産省登録　輸第 13156 号

グリーンマップ®G

グリーンマップ ® はセントラル硝子株式会社の登録商標です。

基本データ

種　　類：化成肥料
保証成分量：アンモニア性窒素（6.0%）、く溶性りん酸（36.0%）、内水溶性りん酸（6.0%）、く溶性加里（6.0%）、内水溶性加里（4.0%）、く溶性苦土（16.0%）
規　　格：9kg（MS：1.4-3.0mm、SS：0.6-1.3mm）

特　　長

- 土壌水分や温度の影響を受けにくい緩効性の肥料成分を主体に、初期生育に必要な速効性成分も備えた肥料です。
- 植物の根から分泌される有機酸により肥料成分が緩やかに溶け出すので、肥料焼けや根痛みの心配が少なく、植物を健全に育てます。
- 花壇苗、野菜苗、鉢花、ハーブ、花木、花壇、プランターを始め、法面・造園緑化や培土にも好適な肥料です。

使用方法

使 用 用 途：花壇苗、緑化
使 用 時 期：春、秋
標準使用量：

■花・野菜（ポット用土１リットル当たり）

シクラメン・ベコニア	パンジー・ビオラ	カーネーション	葉ボタン	野菜類
2〜3g	3〜4g	3〜4g	3〜5g	2〜3g

■樹木（１本当たり）

高木（樹高3m以上）	中・低木（樹高3m以下）
100〜400g	50〜150g

■法面（１m^2当たり）

草本・木本植物混播
80〜150g

施用上の注意事項

- 肥効期間の目安は3～6ヶ月ですが、植物の種類・用土・潅水方法・栽培期間等により肥効は変動します。
- 強いアルカリ資材や除草剤とは混用しないで下さい。
- 機械による施肥を行う場合は、出光アグリ株式会社へご相談下さい。

保存上の注意

- 直射日光、高温を避け、乾燥した場所に保管して下さい。
- 開封後保管する場合は、密封して下さい。
- 乳幼児の手の届かない所に保管して下さい。
- 吸湿することで、固結や簡単に崩壊する可能性がありますが、肥効には影響ありません。

農林水産省登録　輸第 13161 号

スーパーファイン111

基本データ

種　　類：化成肥料
保証成分量：窒素全量（10.0%）、内アンモニア性窒素（2.0%）、く溶性りん酸（10.0%）、内水溶性りん酸（6.0%）、く溶性加里（10.0%）、内水溶性加里（9.0%）、く溶性苦土（2.0%）
規　　格：9kg、10kg（SS：0.6-1.3mm）

特　　長

- 微細粒肥料ですので、土に均一に混ざります。
- 窒素原料は、ウレアホルムですので、穏やかな肥効が持続します。

使用方法

使用用途：野菜用培養土
使用時期：通年
標準使用量：20～30g/m^2

施用上の注意事項

- 肥効期間の目安は1～2ヶ月ですが、植物の種類・用土・潅水方法・栽培期間等により肥効は変動します。
- 強いアルカリ資材や除草剤とは混用しないで下さい。
- 機械による施肥を行う場合は、出光アグリ株式会社へご相談下さい。

保存上の注意

- 直射日光、高温を避け、乾燥した場所に保管して下さい。
- 開封後保管する場合は、密封して下さい。
- 乳幼児の手の届かない所に保管して下さい。
- 吸湿することで、固結や簡単に崩壊する可能性がありますが、肥効には影響ありません。

農林水産省登録　輸第 13157 号

エコマップ スーパーファイン525

基本データ

種　　類：化成肥料
保証成分量：アンモニア性窒素（5.0%）、く溶性りん酸（25.0%）、内水溶性りん酸（5.0%）、く溶性加里（5.0%）内水溶性加里（4.0%）、く溶性苦土（12.0%）
規　　格：エコマップ…9kg、10kg（MS：1.4-3.0mm）
スーパーファイン 525…9kg、10kg（SS：0.6-1.3mm）

特　　長

- 微細粒ですので、土に均一に混ざります。
- 植物の出す根酸によって溶け、植物の成長に合わせ吸収されます。
- 温度による溶出速度も少なく、高温時に急激に溶出する事はありません。

使用方法

使用用途：園芸用培養土
使用時期：通年
標準使用量：20～30g/m^2

施用上の注意事項

- 肥効期間の目安は1～2ヶ月ですが、植物の種類・用土・潅水方法・栽培期間等により肥効は変動します。
- 強いアルカリ資材や除草剤とは混用しないで下さい。
- 機械による施肥を行う場合は、出光アグリ株式会社へご相談下さい。

保存上の注意

- 直射日光、高温を避け、乾燥した場所に保管して下さい。
- 開封後保管する場合は、密封して下さい。
- 乳幼児の手の届かない所に保管して下さい。
- 吸湿することで、固結や簡単に崩壊する可能性がありますが、肥効には影響ありません。

農林水産省登録　輸第 13337 号

スーパーファイン838

基本データ

種　　類：化成肥料
保証成分量：窒素全量（18.0%）、可溶性りん酸（3.0%）、水溶性加里（18.0%）、水溶性苦土（1.0%）
規　　格：10kg（SS：0.6-1.3mm）

特　　長

- 微細粒肥料ですので、芝生の中に肥料が入りやすく均一な散布が可能です。
- 窒素原料は、ウレアホルム主体ですので、穏やかな肥効が持続します。

使用方法

使用用途：ゴルフ場、グリーン
使用時期：春
標準使用量：20～30g/m^2

施用上の注意事項

- 肥効期間の目安は1～2ヶ月ですが、植物の種類・用土・潅水方法・栽培期間等により肥効は変動します。
- 強いアルカリ資材や除草剤とは混用しないで下さい。
- 機械による施肥を行う場合は、出光アグリ株式会社へご相談下さい。

保存上の注意

- 直射日光、高温を避け、乾燥した場所に保管して下さい。
- 開封後保管する場合は、密封して下さい。
- 乳幼児の手の届かない所に保管して下さい。
- 吸湿することで、固結や簡単に崩壊する可能性がありますが、肥効には影響ありません。

農林水産省登録　輸第 13163 号

ライトT111
ドロップライト

基本データ

種　　類：化成肥料
保証成分量：窒素全量（10.0%）、可溶性りん酸（10.0%）、内水溶性りん酸（6.5%）、水溶性加里（10.0%）、水溶性苦土（1.0%）、水溶性マンガン（0.10%）、水溶性ほう素（0.05%）
規　　格：ライトT111……9kg（L：2.0g、M：1.0g、S：0.5g）
ドロップライト…9kg（△型：1.5g）

特　　長

- ウレアホルム含有肥料です。
- 肥料成分が水平で、バランスがよく、植物を選ばず全般に使用できます。

使用方法

使 用 用 途：苗物、鉢物全般
使 用 時 期：通年
標準使用量：

肥料の形状 / 鉢の規格	L品	M品	S品
2.5号	—	—	1錠
3号	—	1錠	1〜2錠
4号	1錠	1〜2錠	—
5号	1〜2錠	1〜2錠	—

施用上の注意事項

- 肥効期間の目安は１～２ヶ月ですが、植物の種類･用土･潅水方法･栽培期間等により肥効は変動します。
- 肥料は植物より出来るだけ離し、用土に軽く押し込む様に施肥して下さい。
- 特に高温時には、濃度障害を起こす可能性がありますので、施肥量や施肥時期には充分注意願います。
- 強いアルカリ資材や除草剤とは混用しないで下さい。

保存上の注意

- 直射日光、高温を避け、乾燥した場所に保管して下さい。
- 開封後保管する場合は、密封して下さい。
- 乳幼児の手の届かない所に保管して下さい。
- 吸湿することで、固結や簡単に崩壊する可能性がありますが、肥効には影響ありません。

農林水産省登録　輸第 13160 号

ライトT622

基本データ

種　　類：化成肥料
保証成分量：窒素全量（6.0%）、内アンモニア性窒素（1.5%）、く溶性りん酸（12.0%）、内水溶性りん酸（1.0%）く溶性加里（12.0%）、内水溶性加里（11.0%）、く溶性苦土（5.0%）、く溶性マンガン（0.15%）
規　　格：9kg、10kg（L：2.0g、M：1.0g、S：0.5g）

特　　長

- ウレアホルム含有肥料です。窒素を抑えた穏やかな肥効です。
- シクラメンの夏越し・花芽分化時期の追肥に使用します。
- 苺のポット苗にも使用できます。

使用方法

使 用 用 途：シクラメン、苺、鉢物
使 用 時 期：初夏～秋
標準使用量：

肥料の形状 / 鉢の規格	L品	M品	S品
2.5号	—	—	1錠
3号	—	1錠	1～2錠
4号	1錠	1～2錠	—
5号	1～2錠	1～2錠	—

施用上の注意事項

- 肥効期間の目安は2～3ヶ月ですが、植物の種類・用土・潅水方法・栽培期間等により肥効は変動します。
- 肥料は植物より出来るだけ離し、用土に軽く押し込む様に施肥して下さい。
- 特に高温時には、濃度障害を起こす可能性がありますので、施肥量や施肥時期には充分注意願います。
- 強いアルカリ資材や除草剤とは混用しないで下さい。

保存上の注意

- 直射日光、高温を避け、乾燥した場所に保管して下さい。
- 開封後保管する場合は、密封して下さい。
- 乳幼児の手の届かない所に保管して下さい。
- 吸湿することで、固結や簡単に崩壊する可能性がありますが、肥効には影響ありません。

農林水産省登録　輸第 13158 号

ライトGM

基本データ

種　　類：化成肥料
保証成分量：アンモニア性窒素（5.0%）、く溶性りん酸（30.0%）、内水溶性りん酸（5.0%）、く溶性加里（5.0%）内水溶性加里（3.0%）、く溶性苦土（15.0%）、内水溶性苦土（1.0%）
規　　格：9kg、10kg（LL：10g、L：2.0g、M：1.0g、S：0.5g）

特　　長

- グリーンマップGの錠剤型肥料で、錠剤では最も緩効性タイプです。
- シクラメン等夏に使用する肥料です。

使用方法

使用用途：緑化（苗木の植栽）、花木、シクラメン、苗物、山上げ時追肥、栽培期間の長い植物
使用時期：春〜夏
標準使用量：

肥料の形状 / 鉢の規格	L品	M品	S品
2.5号	—	—	1錠
3号	—	1錠	1〜2錠
4号	1錠	1〜2錠	—
5号	1〜2錠	1〜2錠	—

施用上の注意事項

- 肥効期間の目安は3～5ヶ月ですが、植物の種類・用土・潅水方法・栽培期間等により肥効は変動します。
- 肥料は植物より出来るだけ離し、用土に軽く押し込む様に施肥して下さい。
- 特に高温時には、濃度障害を起こす可能性がありますので、施肥量や施肥時期には充分注意願います。
- 強いアルカリ資材や除草剤とは混用しないで下さい。

保存上の注意

- 直射日光、高温を避け、乾燥した場所に保管して下さい。
- 開封後保管する場合は、密封して下さい。
- 乳幼児の手の届かない所に保管して下さい。
- 吸湿することで、固結や簡単に崩壊する可能性がありますが、肥効には影響ありません。

農林水産省登録　輸第 13159 号

フラワーライトT050

基本データ

種　　類：化成肥料
保証成分量：窒素全量（10.0%）、内アンモニア性窒素（6.0%）、く溶性りん酸（15.0%）、内水溶性りん酸（1.0%）く溶性加里（10.0%）、内水溶性加里（9.0%）、く溶性苦土（6.0%）
規　　格：9kg（L：2.0g、M：1.0g）

特　　長

- ウレアホルム含有肥料です。硫安が含まれており、高温時の使用は不可です。
- 肥料食いの植物に適しています。

使用方法

使用用途：肥料食いの植物、苗物
使用時期：晩秋〜春
標準使用量：

肥料の形状 / 鉢の規格	L品	M品	S品
2.5号	—	—	1錠
3号	—	1錠	1〜2錠
4号	1錠	1〜2錠	—
5号	1〜2錠	1〜2錠	—

施用上の注意事項

- 肥効期間の目安は1～2ヶ月ですが、植物の種類・用土・潅水方法・栽培期間等により肥効は変動します。
- 肥料は植物より出来るだけ離し、用土に軽く押し込む様に施肥して下さい。
- 特に高温時には、濃度障害を起こす可能性がありますので、施肥量や施肥時期には充分注意願います。
- 強いアルカリ資材や除草剤とは混用しないで下さい。

保存上の注意

- 直射日光、高温を避け、乾燥した場所に保管して下さい。
- 開封後保管する場合は、密封して下さい。
- 乳幼児の手の届かない所に保管して下さい。
- 吸湿することで、固結や簡単に崩壊する可能性がありますが、肥効には影響ありません。

農林水産省登録　輸第 13164 号

プロメイトT222

基本データ

種　　類：化成肥料
保証成分量：窒素全量（12.0%）、く溶性りん酸（12.0%）、内水溶性りん酸（4.0%）、水溶性加里（12.0%）、く溶性苦土（1.0%）、く溶性マンガン（0.10%）、く溶性ほう素（0.05%）
規　　格：10kg（中：1.5g、小：0.8g）

特　　長

- ウレアホルム含有肥料です。
- ライトT111よりも、初期溶出が多いタイプです。
- カーネーションなど肥料食いの植物に適しています。

使用方法

使 用 用 途：苗物、カーネーション
使 用 時 期：春、秋
標準使用量：

肥料の形状 / 鉢の規格	大粒品	小粒品
2.5号	—	1錠
3号	—	1錠
4号	1錠	2錠
5号	2錠	2〜3錠

施用上の注意事項

- 肥効期間の目安は中粒では1〜1.5ヶ月、小粒では3週〜1ヶ月ですが、植物の種類・用土・潅水方法・栽培期間等により肥効は変動します。
- 肥料は植物より出来るだけ離し、用土に軽く押し込む様に施肥して下さい。
- 特に高温時には、濃度障害を起こす可能性がありますので、施肥量や施肥時期には充分注意願います。
- 強いアルカリ資材や除草剤とは混用しないで下さい。

保存上の注意

- 直射日光、高温を避け、乾燥した場所に保管して下さい。
- 開封後保管する場合は、密封して下さい。
- 乳幼児の手の届かない所に保管して下さい。
- 吸湿することで、固結や簡単に崩壊する可能性がありますが、肥効には影響ありません。

農林水産省登録　輸第 13162 号

プロメイトT888

基本データ

種　　類：化成肥料
保証成分量：窒素全量（8.0%）、く溶性りん酸（8.0%）、内水溶性りん酸（4.0%）、
く溶性加里（8.0%）、内水溶性加里（6.0%）、く溶性苦土（1.0%）、
く溶性マンガン（0.10%）、く溶性ほう素（0.05%）
規　　格：10kg（中：1.5g、小：0.8g）

特　　長

- ウレアホルム含有肥料です。
- ライトT111肥料よりも、初期溶出が多いタイプです。

使用方法

使 用 用 途：苗物、鉢物
使 用 時 期：春、秋
標準使用量：

鉢の規格 ＼ 肥料の形状	大粒品	小粒品
2.5号	—	1錠
3号	—	1錠
4号	1錠	2錠
5号	2錠	2〜3錠

施用上の注意事項

- 肥効期間の目安は中粒では1.5〜2ヶ月、小粒では1〜1.5ヶ月ですが、植物の種類・用土・潅水方法・栽培期間等により肥効は変動します。
- 肥料は植物より出来るだけ離し、用土に軽く押し込む様に施肥して下さい。
- 特に高温時には、濃度障害を起こす可能性がありますので、施肥量や施肥時期には充分注意願います。
- 強いアルカリ資材や除草剤とは混用しないで下さい。

保存上の注意

- 直射日光、高温を避け、乾燥した場所に保管して下さい。
- 開封後保管する場合は、密封して下さい。
- 乳幼児の手の届かない所に保管して下さい。
- 吸湿することで、固結や簡単に崩壊する可能性がありますが、肥効には影響ありません。

参考資料

参考資料

イデクリーン水和剤 混用事例

<殺虫剤>

2014年6月1日現在

薬剤名	きゅうり	トマト	ミニトマト	いちご	かぼちゃ	すいか	そらまめ	小豆	ぶどう	かんきつ
EPN乳剤					○					
アーデント水和剤				○					○	
アグロスリン乳剤					○					
アタブロン乳剤				○						
アディオン水和剤									○	
アディオン乳剤		○	○		○		○			
アドマイヤー顆粒水和剤	○	○				○		○		○
アドマイヤー水和剤		○				○				
アドマイヤーフロアブル							○		○	
アニキ乳剤		○								
アファーム乳剤	○	○	○	○	○			○		
アプロードエースフロアブル	○	○								○
アプロードフロアブル		○								
アルバリン顆粒水溶剤									○	
ウララDF		○				○				
エスマルクDF		○	○							
エルサン乳剤					○					
オリオン水和剤40										○
オルトラン水和剤								○		
オレート乳剤		○								
カスケード乳剤	○									
カネマイトフロアブル				○	○	○		○		○
コテツフロアブル	○	○			×			○	○	○
コルト顆粒水溶剤		○								
コロマイト水和剤				○					○	
コロマイト乳剤		○				○		○		
サブリナフロアブル		○		○						
サムコルフロアブル10									○	
サンクリスタル乳剤		○	○	○	○					
サンマイト水和剤										○
サンマイトフロアブル	○	○	○		○	○		○	○	
ジェイエース水溶剤									○	
スタークル顆粒水溶剤	○	○								
スターマイトフロアブル				○						○
スピノエース顆粒水和剤	○	○		○						
スピノエースフロアブル										○
スプラサイド水和剤									○	
スプラサイド乳剤40										○
スミチオン水和剤40									○	
スミチオン乳剤		○		○	○		○	○		
スミロディー乳剤	○	○			○					
ゼンターリ顆粒水和剤				○						
ダイアジノン乳剤40					○					
ダニトロンフロアブル								○		
ダニサラバフロアブル				○		○				○
ダントツ水溶剤	○	○	○						○	○
チェス顆粒水和剤		○	○	○						
テデオン乳剤				○						
テルスター水和剤								○		

＜殺虫剤＞

薬剤名	きゅうり	トマト	ミニトマト	いちご	かぼちゃ	すいか	そらまめ	小豆	ぶどう	かんきつ
トリガード液剤		○	○							
トルネードフロアブル				○						
トレボン乳剤	○	○						○		
ニッソラン水和剤								○		
ノーモルト乳剤		○								
パダンSG水溶剤									○	
ハチハチ乳剤						○				
ハチハチフロアブル		○								
ハッパ乳剤	○				○					
バリアード顆粒水和剤				○		○				
バロックフロアブル				○		○		○		
ピラニカEW				○		○		○		
フェニックス顆粒水和剤	○	○		○					○	
プレオフロアブル	○	○		○						
プレバソンフロアブル5		○		○						
ベストガード水溶剤		○	○							
マイトコーネフロアブル				○						
マッチ乳剤		○	○							
マトリックフロアブル			○							
マブリック水和剤20		○				○				
マブリックEW									○	
マラソン乳剤		○		○	○	○	○			
モスピラン顆粒水溶剤								○		
モスピラン水溶剤		○	○	○		○			○	
ランネート45DF					○					
ロディー乳剤				○	○			○		
ロムダンフロアブル				○						

＜殺菌剤＞

薬剤名	きゅうり	トマト	ミニトマト	いちご	かぼちゃ	すいか	そらまめ	小豆	ぶどう	かんきつ
アフェットフロアブル		○		○						
アミスター20フロアブル		○				○				
エムダイファー水和剤										○
オーソサイド水和剤		○		○		○				
カンタスドライフロアブル				○						
サンヨール乳剤				○						
ジーファイン水和剤		×		○						
ジマンダイセン水和剤	×	×								
シグナム顆粒水和剤						○				
ジャストフィットフロアブル									○	
ジャストミート顆粒水和剤				○						
ストロビーフロアブル		○		○						
セイビアーフロアブル20	○									
ダイマジン水和剤		○								
ダコニール1000	○	○	○			○				
タフパール		○	○							
テーク水和剤						○				
トップジンM水和剤					×					
トリフミン水和剤				○						

＜殺菌剤＞

薬剤名	きゅうり	トマト	ミニトマト	いちご	かぼちゃ	すいか	そらまめ	小豆	ぶどう	かんきつ
ファンタジスタ顆粒水和剤								○		
フルピカフロアブル		○	○	○						
フロンサイドSC										○
ベトファイター顆粒水和剤									○	
ベフドー水和剤					○					
ベルクート水和剤		○	○		○					
ベルクートフロアブル						○				
ペンコゼブ水和剤	×	×								
ベンレート水和剤					×					
ボトキラー水和剤		○	○			○				
ホライズンドライフロアブル		○								
ポリオキシンAL水和剤				○						
ポリベリン水和剤						○				
モレスタン水和剤				○		○				
ライメイフロアブル		○							○	
ラリー水和剤				○						
ランマンフロアブル		○	○							
リドミルゴールドMZ						○				
レーバスフロアブル									○	
ロブラール水和剤		○	○	○				○		○
ロブラール500アクア		○		○						

※表中の丸印は薬害が出ないことを保証するものではありません。

タフパール 近接散布事例

＜殺虫剤＞

混用事例あり			
アーデント水和剤	カルホス乳剤	ディプテレックス乳剤	プレオフロアブル
アカリタッチ乳剤	コテツフロアブル	テデオン乳剤	ベストガード水溶剤
アクタラ顆粒水溶剤	コロマイト水和剤	テルスター水和剤	ボタニガードES
アグロスリン乳剤	コロマイト乳剤	トクチオン乳剤	マイトコーネフロアブル
アタブロン乳剤	サイハロン乳剤	トリガード液剤	マシン油乳剤
アディオン乳剤	サンクリスタル乳剤	トルネードフロアブル	マッチ乳剤
アドマイヤー水和剤	サンマイトフロアブル	トレボン乳剤	マトリックフロアブル
アドマイヤーフロアブル	除虫菊乳剤	ニッソラン水和剤	マブリック水和剤20
アファーム乳剤	スタークル顆粒水溶剤	ニッソランV乳剤	マラソン乳剤
アプロードエースフロアブル	スターマイトフロアブル	粘着くん液剤	マリックス乳剤
アプロード水和剤	スピノエース顆粒水和剤	ノーモルト乳剤	モスピラン水溶剤
ウララDF	スミチオン乳剤	ハクサップ水和剤	ラービンフロアブル
オサダン水和剤25	ダイアジノン乳剤40	ハチハチ乳剤	ランネート45水和剤
オルトラン水和剤	ダニサラバフロアブル	バリアード顆粒水和剤	ロディー乳剤
オレート液剤	ダニトロンフロアブル	バロックフロアブル	ロムダンフロアブル
カウンター乳剤	ダニメツフロアブル	ピラニカEW	BT剤全般
カスケード乳剤	チェス水和剤	ファルコンフロアブル	
カネマイトフロアブル	ディプテレックス乳剤	フェニックス水和剤	

1日以上の間隔を空ける
マイトクリーン

＜殺菌剤＞

混用事例あり
アグリメック
アフェットフロアブル
イオウフロアブル
オレート液剤
ガッテン乳剤
カンタスドライフロアブル
サンクリスタル乳剤
ジャストフィットフロアブル
ファンタジスタ顆粒水和剤
ボトキラー水和剤
ボトピカ水和剤
ホライズンドライフロアブル
ポリオキシンAL水溶剤
ポリオキシンAL水和剤
ポリオキシンAL乳剤
ライメイフロアブル
ランマンフロアブル
レーバスフロアブル
レンテミン液剤
Zボルドー

3日以上の間隔を空ける
アミスター20フロアブル
オキシンドーフロアブル
カリグリーン
キノンドーフロアブル
サプロール乳剤
サンヨール
サンリット水和剤
ジーファイン水和剤
ジャストミート顆粒水和剤
スコア顆粒水和剤
ストロビーフロアブル
スミブレンド水和剤
スミレックス水和剤
セイビアーフロアブル20
ドキリンフロアブル
トリフミン水和剤
ハーモメイト水溶剤
バイコラール水和剤
バリダシン液剤5
パンチョTF顆粒水和剤
フルピカフロアブル
モレスタン水和剤
ラリー水和剤
ルビゲン水和剤
ロブラール500アクア
ロブラール水和剤

7日以上の間隔を空ける
アントラコール顆粒水和剤
オーソサイド水和剤80
キャプタン80水和剤
ゲッター水和剤
ジマンダイセン水和剤
デランフロアブル
トップジンM水和剤
ベンレート水和剤
ポリキャプタン水和剤
リドミルMZ水和剤

10日以上の間隔を空ける
オキシラン水和剤
カーゼートPZ水和剤
キャプレート水和剤
ダイセド水和剤
ダイマジン
ドーシャスフロアブル
ビスダイセン水和剤
ファンベル顆粒水和剤
フェスティバル水和剤
フォリオブラボ顆粒水和剤
ブリザード水和剤
ベルクート水和剤
ペンコゼブフロアブル

＜展着剤＞

混用事例あり	
アイヤー20	新リノー
アビオンC	スカッシュ
アビオンE	スプレースチッカー
アプローチBI	ネオエステリン
クミテン	ハイテンA
グラミンS	ブレイクスルー
サブマージ	ブラボー
サンクトテン40、80	マイリノー
新グラミン	ミックスパワー

1日以上の間隔を空ける
アグラー
ダイコート
ニーズ

ボトキラー水和剤・ボトピカ水和剤 混用事例

＜殺菌剤＞

薬剤名	混用
アフェットフロアブル	○
アミスター20フロアブル	○
イオウフロアブル	○
カリグリーン	○
カンタスDF	○
ゲッター水和剤	○
サプロール乳剤	○
サンヨール乳剤	○
サンリット水和剤	○
ジーファイン水和剤	○
ジャストミート顆粒水和剤	○
ストロビーフロアブル	○
スミブレンド水和剤	○
スミレックス水和剤	○
セイビアーフロアブル	○
ダイアメリットDF	○
ダイマジン水和剤	○
ドキリンフロアブル	○
トップジンM水和剤	○
トリフミン水和剤	○
ハーモメイト水溶剤	○
バイコラール水和剤	○
バリダシン液剤5	○
パンチョTF顆粒水和剤	○
ビスダイセン水和剤	○
フルピカフロアブル	○
ベルクート水和剤	○
ベルクートフロアブル	○
ベンレート水和剤	○
ホライズンDF	○
ポリオキシンAL水溶剤	○
ポリオキシンAL水和剤	○
ポリオキシンAL乳剤	○
モレスタン水和剤	○
ライメイフロアブル	○
ラリー水和剤	○
ランマンフロアブル	○
ルビゲン水和剤	○
ロブラール500アクア	○
ロブラール水和剤	○

＜殺虫剤＞

薬剤名	混用
EPN乳剤	○
アーデント水和剤	○
アクテリック乳剤	○
アグロスリン乳剤	○
アタブロン乳剤	○
アディオン乳剤	○
アドマイヤー顆粒水和剤	○
アドマイヤー水和剤	○
アファーム乳剤	○
アプロードエースフロアブル	○
アプロード水和剤	○
ウララDF	○
エスマルクDF	○
オサダン水和剤	○
オサダンフロアブル	○
オレート液剤	○
カスケード乳剤	○
カネマイトフロアブル	○
コテツフロアブル	○
コロマイト水和剤	○
コロマイト乳剤	○
サイアノックス乳剤	○
サイハロン乳剤	○
サンクリスタル乳剤	○
サンマイトフロアブル	○
除虫菊乳剤	○
スターマイトフロアブル	○
スピノエース顆粒水和剤	○
スミチオン乳剤	○
ダイアジノン水和剤	○
ダニトロンフロアブル	○
ダントツ水和剤	○
チェス水和剤	○
ディプテレックス乳剤	○
デス（DDVP乳剤）	○
テデオン水和剤	○
テルスター水和剤	○
トリガード液剤	○
トリガードフロアブル	○
トレボン乳剤	○
ニッソラン水和剤	○
粘着くん液剤	○

＜殺虫剤＞

薬剤名	混用
ノーモルト乳剤	○
ハクサップ水和剤	○
ハチハチ乳剤	○
バッサ乳剤	○
バリアード顆粒水和剤	○
バロックフロアブル	○
ピラニカEW	○
プレオフロアブル	○
ベストガード水溶剤	○
フェニックス顆粒水和剤	○
マイトコーネフロアブル	○
マッチ乳剤	○
マブリック水和剤20	○
マラソン乳剤	○
モスピラン水溶剤	○
ラノー乳剤	○
ランネート45水和剤	○
ロディー乳剤	○

＜展着剤＞

薬剤名	混用
アプローチBI	○
クミテン	○
グラミンS	○
サブマージ	○
サントクテン80	○
新グラミン	○
スカッシュ	○
ダイコート	○
展着剤アイヤー	○
展着剤アグラー	○
ニーズ	○
ネオエステリン	○
ハイテンパワー	○
ブラボー	○
ブレイクスルー	○
まくぴか	○
ミックスパワー	○

ゴッツA 混用影響性

影響なし			
殺虫剤･殺ダニ剤		殺菌剤	展着剤
アーデント水和剤	ゼンターリ顆粒水和剤	イオウフロアブル	アイヤー
アカリタッチ乳剤	ダニトロンフロアブル	インプレッション水和剤	アグラー
アクタラ顆粒水溶剤	ダントツ水溶剤	カリグリーン	アドミックス
アグロスリン乳剤	チェス水和剤	カンタスドライフロアブル	アビオン-E
アタブロン乳剤	テルスター水和剤	スミレックス水和剤	アプローチB1
アディオン乳剤	トリガード液剤	トリフミン水和剤	クミテン
アドマイヤー顆粒水和剤	トレボン乳剤	バイオキーパー水和剤	グラミン
アドマイヤー水和剤	ニッソラン水和剤	バイコラール水和剤	グラミンS
アファーム乳剤	粘着くん液剤	バイレトン水和剤5	サブマージ
アプロードエースフロアブル	ノーモルト乳剤	バリダシン液剤5	サントクテン80
アプロード水和剤	ハクサップ水和剤	パンチョTF顆粒水和剤	新グラミン
ウララDF	バリアード顆粒水和剤	フェスティバルC水和剤	シンダイン
エスマルクDF	バロックフロアブル	フルピカフロアブル	スカッシユ
オサダン水和剤	ビルク水和剤	ボトキラー水和剤	ダイン
オルトラン水和剤	フェニックス顆粒水和剤	ポリオキシンAL水和剤	ハイテンパワー
カウンター乳剤	プレオフロアブル	ホライズンドライフロアブル	プラテン80
カネマイトフロアブル	ベストガード水溶剤	ポリベリン水和剤	ブラボー
コテツフロアブル	マイトコーネフロアブル	ラリー水和剤	ベタリンーA
コロマイト乳剤	マッチ乳剤	ランマンフロアブル	ベタンV
サンクリスタル乳剤	マブリック水和剤20	リドミル銅水和剤	マイリノー
サンマイトフロアブル	モスピラン水和剤	ルビゲン水和剤	まくぴか
スタークル顆粒水溶剤	ラノー乳剤	Zボルドー水和剤	ミックスパワー
スピノエース顆粒水溶剤	ロディー乳剤		ラビデン3S
除虫菊乳剤			Yーハッテン

影響あり		
殺菌剤		展着剤
アミスター20フロアブル	ダイマジン	ニーズ
オーソサイド水和剤80	ダコニール1000	
カスミンボルドー水和剤	ダコニールエース	
カーゼートPZ水和剤	デランK	
コサイドDF	ドイツボルドーA	
コサイドボルドー水和剤	ドーシャスフロアブル	
ゲッター水和剤	トップジンM水和剤	
サプロール乳剤	ハーモメイト水溶剤	
ジマンダイセン水和剤	ビスダイセン水和剤	
ジマンダイセンフロアブル	フェスティバルM水和剤	
ジャストミート顆粒水和剤	ベンレート水和剤	
ストロビーフロアブル	リドミルMZ水和剤	
スミブレンド水和剤	ロブラール水和剤	
セイビアーフロアブル20	ロブラール500アクア	

※**混用影響性**：現在、上記の薬剤でゴッツAと混用した場合のコナジラミに対する効力への影響の有無が確認されています。
「影響あり」とされた薬剤、展着剤との混用は避けてください。

天敵生物・マルハナバチに対する農薬の影響表

●天敵生物・マルハナバチに対する農薬の影響表の見方

※数字は残効日数を示しており、その日数は天敵あるいはマルハナバチに影響があります。「－」は未調査で、影響に関しては不明です。

※ナミテントウに関して、「非常に強い」「強い」などと表記してあるのものは、具体的な影響日数は不明ですが、凡その目安として以下をご参考ください。

非常に強い：（2～3ヶ月程度）　強　い：（1ヶ月程度）
中　程　度：（2週間程度）　弱　い：（2～3日程度）
極めて弱い：（1日程度）

●天敵生物およびマルハナバチに対する残効日数もしくは影響の程度【殺虫剤】

農薬商品名	オンシツツヤコバチ	サバクツヤコバチ	チリカブリダニ	ミヤコカブリダニ
アーデント水和剤	－	－	成虫の死亡率高い	成虫の死亡率高い
アカリタッチ乳剤	薬液乾燥後は各種天敵生物に対して影響ない			
アクタラ顆粒水溶剤	－	－	成虫の死亡率高い	0
アクタラ粒剤５	－	－	－	－
アクテリック乳剤	56	－	28	成虫の死亡率高い
アグロスリン水和剤／アグロスリン乳剤	84	84	84	成虫の死亡率高い
アタックオイル	0	－	成虫の死亡率高い	28
	※直接薬液がかかると死亡率高い			
アタブロン乳剤	0	－	1	9
アディオン乳剤	84	84	84	成虫の死亡率高い
アドバンテージ粒剤	－	－	7	－
アドマイヤー１粒剤	30	0	0	0
アドマイヤー顆粒水和剤／アドマイヤー水和剤／アドマイヤーフロアブル	35	幼虫・成虫の死亡率高い	0	0
アニキ乳剤	28	0	7	3
アファームエクセラ顆粒水和剤	21 以上	－	卵・成虫の死亡率高い	卵・成虫の死亡率高い
アファーム乳剤	21	－	卵・成虫の死亡率高い	卵・成虫の死亡率高い
アプロード水和剤	7	0	0	0
アルバリン顆粒水溶剤／アルバリン粒剤	長期間残効する可能性ある			
アントム顆粒水溶剤	長期間残効する可能性ある			
ウララＤＦ	0	ほとんど影響ない	0	卵・成虫に影響ない
エコピタ液剤	薬液乾燥後は各種天敵生物に対して影響ない			
エスマルクＤＦ	0	0	0	0
オサダン水和剤 25	0	0	0	0
オルトラン水和剤	28	28	28	21
オルトラン粒剤	30	－	－	－
オレート液剤	0	－	0	0
	※直接薬液がかかると死亡率高い			
カウンター乳剤	0	－	0	－
カスケード乳剤	0	成虫に影響ある	0	卵の死亡率高い

注）影響がないとされる薬剤も、散布後、薬液が乾燥するまでは影響がある場合があるのでご注意ください。

イサエアヒメコバチ	ククメリスカブリダニ	タイリクヒメハナカメムシ	コレマンアブラバチ	ナミテントウ（成虫）	ナミテントウ（幼虫）
－	21 以上	－	－	非常に大きい	非常に大きい
薬液乾燥後は各種天敵生物に対して影響ない					
－	－	－	－	非常に大きい	非常に大きい
－	－	－	－	－	－
成虫の死亡率高い	56	－	マミー・成虫の死亡率高い	－	－
84	84	84	84	非常に大きい	非常に大きい
成虫の死亡率高い	－	－	－	－	－
※直接薬液がかかると死亡率高い					
0	9	14 以上	0	－	－
84	84	84	84	非常に大きい	非常に大きい
成虫の死亡率高い	－	－	－	－	－
21	0	42	0	大きい	－
14	0	14 以上	マミー・成虫の死亡率高い	大きい	大きい
3	3	0	0	極めて小さい	－
成虫の死亡率高い	6 以上	14 以上	7 以上	中程度	－
成虫の死亡率高い	6	7	7	中程度	非常に大きい
0	0	0	0	小さい	－
長期間残効する可能性ある					非常に大きい
長期間残効する可能性ある					非常に大きい
0	0	0	0	極めて小さい	小さい
薬液乾燥後は各種天敵生物に対して影響ない					
0	0	0	0	極めて小さい	小さい
0	0	0	0	極めて小さい	－
28	28	幼虫・成虫の死亡率高い	成虫の死亡率高い	非常に大きい	非常に大きい
49	－	－	－	－	－
幼虫・成虫にほとんど影響ない	－	－	－	極めて小さい	極めて小さい
※直接薬液がかかると死亡率高い					
0	－	幼虫に影響ある	0	－	－
0	0	28	成虫に影響ない	小さい	中程度

●天敵生物およびマルハナバチに対する残効日数もしくは影響の程度【殺虫剤】

農薬商品名	オンシツツヤコバチ	サバクツヤコバチ	チリカブリダニ	ミヤコカブリダニ
ガスタード微粒剤	－	－	－	－
ガゼット粒剤	長期間残効する可能性ある			
カネマイトフロアブル	ほとんど影響ない	－	0	0
クオークフロアブル	0	0	0	0
クリアオール水和剤	－	－	成虫の死亡率高い	成虫の死亡率高い
クリアザールフロアブル	ほとんど影響ない	成虫に影響ない	84	卵、成虫の死亡率高い
コテツフロアブル	－	－	－	7
コルト顆粒水和剤	－	－	ほとんど影響ない	ほとんど影響ない
コロマイト水和剤	－	－	－	1
	※直接薬液がかかると死亡率高い			
コロマイト乳剤	1	0	－	1
	※直接薬液がかかると死亡率高い			
サイアノックス乳剤	死亡率高い			
サイハロン水和剤／サイハロン乳剤	－	－	卵、成虫の死亡率高い	卵、成虫の死亡率高い
サンクリスタル乳剤	薬液乾燥後は各種天敵生物に対して影響ない			
サンスプレーＵＦＯライトマシン	0	－	1	－
	※直接薬液がかかると死亡率高い			
サンマイトフロアブル	21	－	－	成虫の死亡率高い
シーマージェット	－	－	－	－
ジェイエース水溶剤	28	28	28	21
ジェイエース粒剤	30	－	－	－
ジェネレート水溶剤	28	28	28	21
ジェネレート粒剤	30	－	－	－
ジメトエート乳剤／ジメトエート粒剤	84	成虫の死亡率高い	56	成虫の死亡率高い
スカウト乳剤／スカウトフロアブル	－	－	－	卵、成虫の死亡率高い
スタークル顆粒水溶剤／スタークル粒剤	長期間残効する可能性ある			
スターマイトフロアブル	成虫にほとんど影響ない	－	卵・雌成虫にほとんど影響ない	卵・雌成虫にほとんど影響ない
スピノエース顆粒水和剤	42	成虫に影響ある	成虫に影響ない	成虫に影響ない
スプラサイド水和剤	56	－	21	卵、成虫の死亡率高い
スプレーオイル	0	－	1	－
	※直接薬液がかかると死亡率高い			
スミチオン乳剤	56	－	成虫の死亡率高い	卵・成虫の死亡率高い
スミフェート粒剤	30	－	－	－
ゼンターリ顆粒水和剤	0	0	0	0
ダイアジノン水和剤 34 ／ダイアジノン乳剤 40	42	成虫の死亡率高い	7	14
ダイアジノン粒剤５	－	－	－	－
ダニサラバフロアブル	0	－	0	卵・成虫にほとんど影響ない
ダニトロンフロアブル	成虫の死亡率高い	成虫の死亡率高い	－	幼虫に影響ある
ダントツ水溶剤	－	－	成虫に影響ある	0
	※長期間残効する可能性ある			

注）影響がないとされる薬剤も、散布後、薬液が乾燥するまでは影響がある場合があるのでご注意ください。

イサエアヒメコバチ	ククメリスカブリダニ	タイリクヒメハナカメムシ	コレマンアブラバチ	ナミテントウ（成虫）	ナミテントウ（幼虫）
－	－	－	－	－	－
長期間残効する可能性ある					－
ほとんど影響ない	ほとんど影響ない	－	ほとんど影響ない	－	－
0	0	0	0	極めて小さい	－
－	21 以上	－	－	－	－
ほとんど影響ない	卵、成虫の死亡率高い	ほとんど影響ない	成虫に影響ない	小さい	小さい
成虫の死亡率高い	6	0	－	中程度	中程度
－	ほとんど影響ない	成虫に影響ある	－	小さい	－
－	成虫の死亡率高い	－	－	小さい	－
※直接薬液がかかると死亡率高い					
3	7	0	－	小さい	－
※直接薬液がかかると死亡率高い					－
死亡率高い					－
－	－	－	－	－	－
薬液乾燥後は各種天敵生物に対して影響ない					中程度
成虫の死亡率高い	－	－	－	－	－
※直接薬液がかかると死亡率高い					
21	成虫の死亡率高い	14	成虫の死亡率高い	小さい	－
－	－	－	－	－	－
28	28	幼虫・成虫の死亡率高い	成虫の死亡率高い	非常に大きい	非常に大きい
49	－	－	－	－	－
28	28	幼虫・成虫の死亡率高い	成虫の死亡率高い	非常に大きい	非常に大きい
49	－	－	－	－	－
成虫の死亡率高い	84	幼虫・成虫の死亡率高い	マミー・成虫の死亡率高い	－	－
－	－	－	－	－	－
長期間残効する可能性ある					－
－	－	成虫にほとんど影響ない	成虫にほとんど影響ない	小さい	小さい
成虫の死亡率高い	15	幼虫・成虫の死亡率高い	成虫の死亡率高い	小さい	小さい
成虫の死亡率高い	56	14	マミー・成虫の死亡率高い	大きい	－
－	－	－	－	－	－
※直接薬液がかかると死亡率高い					
－	56	成虫の死亡率高い	－	大きい	－
49	－	－	－	－	－
0	0	0	0	極めて小さい	中程度
成虫の死亡率高い	21	幼虫・成虫の死亡率高い	マミー・成虫の死亡率高い	大きい	－
－	－	－	－	－	－
－	0	0	1	－	－
成虫の死亡率高い	－	0	－	小さい	中程度
－	－	－	－	－	－
※長期間残効する可能性ある					

●天敵生物およびマルハナバチに対する残効日数もしくは影響の程度【殺虫剤】

農薬商品名	オンシツツヤコバチ	サバクツヤコバチ	チリカブリダニ	ミヤコカブリダニ
チェス顆粒水和剤／チェス水和剤	0	0	0	0
ディアナＳＣ	42	成虫に影響ある	成虫に影響ない	成虫に影響ない
ディプテレックス乳剤	－	－	14	卵、成虫の死亡率高い
テデオン乳剤	7	－	0	－
デミリン水和剤	0	－	0	0
テルスタージェット	－	－	7	－
テルスター水和剤／テルスターフロアブル	36	84	84	成虫の死亡率高い
デルフィン顆粒水和剤	0	0	0	成虫に影響ない
トクチオン乳剤	－	－	－	成虫の死亡率高い
トモノールＳ	0	－	1	－
	※直接薬液がかかると死亡率高い			
トリガード液剤	0	0	0	0
トルネードフロアブル	0	成虫に影響ない	0	0
トレボンＭＣ	－	－	－	－
トレボン乳剤	35	－	成虫に影響ある	卵、成虫の死亡率高い
ニッソラン水和剤	0	0	0	0
ネマトリン粒剤	－	－	0	－
粘着くん液剤	薬液乾燥後は各種天敵生物に対して影響ない			
ノーモルト乳剤	0	0	0	0
バイデートＬ粒剤	0	－	成虫の死亡率高い	－
ハチハチ乳剤／ハチハチフロアブル	成虫の死亡率高い	成虫の死亡率高い	－	14
バリアード顆粒水和剤	3	－	卵の死亡率高く、成虫に影響ある	成虫に影響ある
バロックフロアブル	－	－	10 以上	卵の死亡率高い
ピラニカＥＷ	成虫に影響ある	マミー・成虫に影響ない	卵・成虫の死亡率高い	14
ファルコンフロアブル	成虫に影響ないが、マミーの死亡率高い	－	ほとんど影響ない	－
フェニックス顆粒水和剤／フェニックスジェット	0	－	ほとんど影響ない	－
プリファード水和剤	ほとんど影響ない			
プレオフロアブル	ほとんど影響ない			
プレバソンフロアブル５	ほとんど影響ない			
フローバックＤＦ	0	0	0	0
ベストガード水溶剤	30	－	5	卵の死亡率高く、成虫に影響ある
ベストガード粒剤	28	－	－	－
ボタニガードＥＳ	薬液乾燥後は各種天敵生物に対して影響ない（※直接薬液がかかると死亡率高い）			
マイコタール	0	－	0	成虫にほとんど影響ない
マイトコーネフロアブル	ほとんど影響ない	成虫に影響ない	0	0
マッチ乳剤	マミー・成虫に影響ない	0	0	0
マトリックフロアブル	マミー・成虫に影響ない	成虫に影響ない	0	0
マブリックジェット	－	－	－	－
マブリック水和剤 20	7	マミー・成虫の死亡率高い	42	卵、成虫の死亡率高い
マラソン乳剤	84	84	14	卵、成虫の死亡率高い

注）影響がないとされる薬剤も、散布後、薬液が乾燥するまでは影響がある場合があるのでご注意ください。

イサエアヒメコバチ	ククメリスカブリダニ	タイリクヒメハナカメムシ	コレマンアブラバチ	ナミテントウ（成虫）	ナミテントウ（幼虫）
0	0	幼虫・成虫に影響ある	0	小さい	小さい
成虫の死亡率高い	15	幼虫・成虫の死亡率高い	成虫の死亡率高い	小さい	小さい
成虫の死亡率高い	14	幼虫・成虫の死亡率高い	成虫の死亡率高い	―	―
0	成虫に影響ない	―	成虫に影響ある	小さい	小さい
幼虫に影響ある	0	幼虫に影響ある	0	―	―
―	―	―	―	―	―
84	84	84	84	―	―
0	0	0	0	小さい	中程度
成虫の死亡率高い	卵の死亡率高い	幼虫の死亡率高い	―	大きい	―
成虫の死亡率高い	―	―	―	―	―
※直接薬液がかかると死亡率高い					
0	0	成虫に影響ない	マミー・成虫に影響ない	小さい	小さい
0	幼虫・成虫に影響ない	0	0	―	―
―	―	―	―	―	―
21	―	14 以上	―	非常に大きい	―
0	0	0	0	小さい	小さい
42	―	―	―	―	―
薬液乾燥後は各種天敵生物に対して影響ない					
0	0	14	成虫に影響ない	小さい	中程度
0	0	成虫の死亡率高い	成虫に影響ない	―	―
―	14	―	成虫の死亡率高い	―	非常に大きい
―	―	―	―	―	―
―	10 以上	―	―	―	―
成虫に影響ある	成虫の死亡率高い	7	成虫の死亡率高い	小さい	小さい
ほとんど影響ない	―	15	ほとんど影響ない	小さい	小さい
ほとんど影響ない	ほとんど影響ない	ほとんど影響ない	0	小さい	大きい
ほとんど影響ない					―
ほとんど影響ない					中程度
ほとんど影響ない					小さい
0	0	0	0	極めて小さい	―
成虫の死亡率高い	―	―	―	大きい	―
―	―	28 以上	―	―	―
薬液乾燥後は各種天敵生物に対して影響ない（※直接薬液がかかると死亡率高い）					非常に大きい
0	0	成虫に影響ある	―	―	―
ほとんど影響ない	成虫に影響ない	幼虫・成虫に影響ない	ほとんど影響ない	小さい	―
成虫の死亡率高い	0	14	成虫に影響ない	小さい	大きい
成虫に影響ない	0	成虫に影響ない	成虫に影響ない	小さい	小さい
―	―	―	―	―	―
成虫の死亡率高い	卵・成虫の死亡率高い	幼虫・成虫の死亡率高い	成虫に影響ある	非常に大きい	非常に大きい
84	84	幼虫・成虫の死亡率高い	84	大きい	非常に大きい

●天敵生物およびマルハナバチに対する残効日数もしくは影響の程度【殺虫剤】

農薬商品名	オンシツツヤコバチ	サバクツヤコバチ	チリカブリダニ	ミヤコカブリダニ
マラバッサ乳剤	死亡率高い			
ムシラップ	薬液が直接かかると影響ある			
モスピラン顆粒水溶剤／モスピラン水溶剤	24	成虫の死亡率高い	成虫に影響ないが、卵に影響ある	成虫に影響ないが、卵に影響ある
モスピランジェット	24	−	−	−
モスピラン粒剤／モスピランワン粒剤	−	−	−	−
モベントフロアブル	ほとんど影響ない	ほとんど影響ない	長期間影響を及ぼす	死亡率高い（長期間影響を及ぼす）
ラービンフロアブル	マミー・成虫の死亡率高い	マミー・成虫の死亡率高い	卵、成虫の死亡率高い	卵、成虫の死亡率高い
ラグビーＭＣ粒剤	−	−	−	−
ラノー乳剤	1	−	0	−
ルビトックス乳剤	84	−	成虫の死亡率高い	成虫の死亡率高い
ロディーくん煙顆粒	−	−	−	−
ロディー乳剤	84	84	84	−
ロムダンフロアブル	−	−	0	0

注）影響がないとされる薬剤も、散布後、薬液が乾燥するまでは影響がある場合があるのでご注意ください。

●天敵生物およびマルハナバチに対する残効日数もしくは影響の程度【殺菌剤】

農薬商品名	オンシツツヤコバチ	サバクツヤコバチ	チリカブリダニ	ミヤコカブリダニ
アカリタッチ乳剤	薬液乾燥後は各種天敵生物に対して影響ない			
アフェットフロアブル	−	−	−	成虫に影響ない
アミスター 20 フロアブル	成虫に影響ある	成虫に影響ない	0	幼虫・成虫に影響ない
アリエッティＣ水和剤／アリエッティ水和剤	成虫に影響ない	−	0	0
アントラコール顆粒水和剤	28	0	7	−
イオウフロアブル	3	7	0	卵・成虫に影響ない
硫黄粉剤 50	ほとんど影響ない			
エコピタ液剤	薬液乾燥後は各種天敵生物に対して影響ない			
オーソサイド水和剤 80	0	0	0	0
オキシラン水和剤	マミー・成虫に影響ない	成虫に影響ない	卵・成虫に影響ない	卵・成虫に影響ない
オレート液剤	0	−	0	0
	※直接薬液がかかると死亡率高い			
カーゼートＰＺ水和剤	成虫に影響ある	−	成虫の死亡率高い	−
ガスタード微粒剤	−	−	−	−
カスミンボルドー	−	−	−	−
カリグリーン	成虫に影響ある	成虫に影響ない	成虫に影響ない	成虫に影響ない
カンタスドライフロアブル	薬液乾燥後は各種天敵生物に対して影響ない			
クムラス	ほとんど影響ない			
グリーンダイセンM水和剤	0	0	0	0
ゲッター水和剤	0	−	−	−
サーガ水和剤	マミーに影響ない	−	−	−
サプロール乳剤	0	0	0	0
サンクリスタル乳剤	薬液乾燥後は各種天敵生物に対して影響ない			
サンヨール	0	−	0	−

注）影響がないとされる薬剤も、散布後、薬液が乾燥するまでは影響がある場合があるのでご注意ください。

イサエアヒメコバチ	ククメリスカブリダニ	タイリクヒメハナカメムシ	コレマンアブラバチ	ナミテントウ（成虫）	ナミテントウ（幼虫）
死亡率高い					―
薬液が直接かかると影響ある					―
成虫の死亡率高い	0	幼虫の死亡率高い	成虫に影響ない	大きい	非常に大きい
―	―	―	―	―	―
―	―	42	―	―	―
ほとんど影響ない	長期間影響を及ぼす	ほとんど影響ない	ほとんど影響ない	小さい	小さい
幼虫・成虫の死亡率高い	卵・成虫の死亡率高い	幼虫・成虫の死亡率高い	マミー・成虫の死亡率高い	非常に大きい	非常に大きい
―	―	―	ほとんど影響ない	―	―
成虫に影響ないが、幼虫に影響ある	成虫に影響ない	0	―	―	―
―	成虫の死亡率高い	14	―	―	―
―	―	―	―	―	―
84	84	84	84	―	非常に大きい
―	―	0	―	小さい	―

イサエアヒメコバチ	ククメリスカブリダニ	タイリクヒメハナカメムシ	コレマンアブラバチ	ナミテントウ（成虫）	ナミテントウ（幼虫）
薬液乾燥後は各種天敵生物に対して影響ない					1
―	0	幼虫に影響ない	―	―	―
0	幼虫・成虫に影響ない	幼虫・成虫に影響ない	成虫に影響ない	小さい	小さい
0	―	幼虫に影響ない	―	―	―
成虫の死亡率高い	成虫の死亡率高い	成虫に影響ない	成虫に影響ない	―	―
7	成虫に影響ある	0	マミー・成虫に影響ある	―	―
ほとんど影響ない					―
薬液乾燥後は各種天敵生物に対して影響ない					
成虫の死亡率高い	0	0	成虫に影響ない	小さい	―
―	―	―	―	―	―
幼虫・成虫にほとんど影響ない	―	―	―	―	―
※直接薬液がかかると死亡率高い					
―	―	―	―	―	―
―	―	―	―	―	―
―	―	―	―	―	―
成虫に影響ない	成虫に影響ない	成虫に影響ない	成虫に影響ない	小さい	―
薬液乾燥後は各種天敵生物に対して影響ない					―
ほとんど影響ない					―
0	0	0	0	小さい	―
―	―	―	―	―	―
―	0	―	成虫に影響ない	―	―
0	7	0	0	小さい	―
薬液乾燥後は各種天敵生物に対して影響ない					中程度
―	―	成虫に影響ないが、幼虫に影響ある	0	―	小さい

●天敵生物およびマルハナバチに対する残効日数もしくは影響の程度【殺菌剤】

農薬商品名	オンシツツヤコバチ	サバクツヤコバチ	チリカブリダニ	ミヤコカブリダニ
ジーファイン水和剤	−	−	−	−
シーマージェット	−	−	−	−
ジマンダイセン水和剤	0	0	0	0
スコア顆粒水和剤	−	−	−	−
ストロビーフロアブル	成虫に影響ない	−	成虫に影響ない	−
スミブレンド水和剤	−	−	−	−
スミレックス水和剤	0	0	0	0
セイビアーフロアブル 20	0	−	0	−
ダコニール 1000	0	0	0	0
テーク水和剤	−	−	−	−
デランフロアブル	0	−	成虫に影響ない	成虫に影響ない
ドーシャスフロアブル	0	−	ほとんど影響ない	ほとんど影響ない
トップジンM水和剤	0	0	21	−
トモノールS	0	−	1	−
	※直接薬液がかかると死亡率高い			
トリフミン水和剤	0	0	0	0
ハーモメイト水溶剤	−	−	−	−
バイオトラスト水和剤	−	−	−	−
ハチハチ乳剤／ハチハチフロアブル	成虫の死亡率高い	成虫の死亡率高い	−	14
パンチョTF顆粒水和剤	ほとんど影響ない			
ビスダイセン水和剤	−	−	−	−
ピラニカEW	成虫に影響ある	マミー・成虫に影響ない	卵､成虫の死亡率高い	14
ファンタジスタ顆粒水和剤	−	−	1	1
ファンベル顆粒水和剤	−	−	−	−
フェスティバル水和剤	成虫に影響ない	−	成虫に影響ない	−
フォリオブラボ顆粒水和剤	−	−	−	−
ブリザード水和剤	−	−	−	卵・成虫に影響ない
フルピカフロアブル	0	−	幼虫・成虫に影響ある	−
プロポーズ顆粒水和剤	ほとんど影響ない	−	ほとんど影響ない	ほとんど影響ない
ベルクート水和剤	マミーに影響ない	−	−	−
ペンコゼブ水和剤	0	0	卵・幼虫に影響ある	−
ペンコゼブフロアブル	0	0	卵・幼虫に影響ある	−
ベンレート水和剤	0	0	21	−
ホライズンドライフロアブル	ほとんど影響ない	−	ほとんど影響ない	−
ポリオキシンAL水和剤／ポリオキシンAL乳剤	−	−	−	−
モレスタン水和剤	5	−	28	成虫の死亡率高い
ヨネポン	−	−	−	−
ライメイフロアブル	−	−	成虫に影響ない	成虫に影響ない
ラリー水和剤	−	−	0	0
ランマンフロアブル	0	−	0	0
リゾレックス水和剤	−	−	−	−
リドミルMZ水和剤	マミー・成虫に影響ない	−	0	0

注）影響がないとされる薬剤も、散布後、薬液が乾燥するまでは影響がある場合があるのでご注意ください。

イサエアヒメコバチ	ククメリスカブリダニ	タイリクヒメハナカメムシ	コレマンアブラバチ	ナミテントウ（成虫）	ナミテントウ（幼虫）
―	―	―	―	―	―
―	―	―	―	―	―
0	0	0	0	小さい	―
成虫に影響ない	―	―	―	―	―
成虫に影響ない	―	幼虫・成虫に影響ない	マミー・成虫に影響ない	―	―
成虫に影響ない	―	―	―	―	―
0	0	0	0	小さい	―
―	―	―	―	―	―
0	0	0	0	小さい	―
―	―	―	―	―	―
―	―	成虫に影響ない	成虫に影響ない	―	―
0	ほとんど影響ない	0	0	小さい	―
0	21	0	マミー・成虫に影響ない	小さい	―
強い	―	―	―	―	―
※直接薬液がかかると死亡率高い					
成虫に影響ない	0	0	0	小さい	小さい
―	―	―	―	―	―
―	―	―	―	―	―
―	14	―	成虫の死亡率高い	―	非常に大きい
ほとんど影響ない					―
―	―	―	―	―	―
成虫に影響ある	成虫の死亡率高い	7	成虫の死亡率高い	小さい	小さい
―	―	―	1	―	―
―	―	―	―	―	―
―	―	幼虫の死亡率高い	成虫に影響ない	―	―
―	―	―	―	―	―
―	―	―	―	―	―
―	―	幼虫・成虫に影響ない	成虫に影響ない	―	―
―	―	ほとんど影響ない	―	―	―
―	0	―	成虫に影響ない	―	―
0	0	幼虫に影響ある	0	―	―
0	0	幼虫に影響ある	0	―	―
0	21	0	0	小さい	―
―	―	―	―	―	―
成虫に影響ない	―	0	―	―	小さい
0	0	0	マミー・成虫に影響ない	―	小さい
―	0	0	―	―	―
―	―	成虫に影響ない	―	―	―
―	0	0	―	―	―
0	0	0	0	―	―
―	―	―	―	―	―
―	成虫に影響ない	―	―	―	―

●天敵生物およびマルハナバチに対する残効日数もしくは影響の程度【殺菌剤】

農薬商品名	オンシツツヤコバチ	サバクツヤコバチ	チリカブリダニ	ミヤコカブリダニ
リドミル粒剤２	マミー・成虫に影響ない	―	0	―
ルビゲン水和剤	0	0	0	0
レーバスフロアブル	―	―	ほとんど影響ない	―
ロブラール 500 アクア／ ロブラール水和剤	0	0	0	0
Ｚボルドー	―	―	―	卵・成虫に影響ない

注）影響がないとされる薬剤も、散布後、薬液が乾燥するまでは影響がある場合があるのでご注意ください。

イサエアヒメコバチ	ククメリスカブリダニ	タイリクヒメハナカメムシ	コレマンアブラバチ	ナミテントウ（成虫）	ナミテントウ（幼虫）
―	―	―	―	―	―
0	0	0	0	小さい	―
―	ほとんど影響ない	ほとんど影響ない	ほとんど影響ない	―	―
0	0	0	0	小さい	小さい
―	―	―	―	―	―

農薬適正使用運動

1．使用前にラベルや説明書をよく読んでください。
2．マスク・手袋など防護具を着用してください。
3．圃場の外に飛散・流出しないよう使用してください。
4．空容器は正しく処分してください。
5．食品と区別し、カギをかけて保管してください。